

文書番号	標題	年代	形態	数量	内容	備考
1-1	〔諸書類〕	年月日未詳		1括(3通3枚3袋1纏め)		1-1-1~10一括
1-1-1	〔実名・花押授与状〕	文久2年11月	縦紙	1通	実名「伴臣」 嚴櫃本主人→林欣二	茶封筒入り
1-1-2	〔「倉敷日報」記事切り抜き〕	年未詳 11月25日	23.3×10.2	1枚	「郷土の人物考証 倉敷治績の開拓者勤王志士(二) 梧蔭林孚一伝」	茶封筒入り
1-1-3	〔孚一扇面〕	年月日未詳	扇面	1枚	歌・画	茶封筒入り
1-1-4	〔書状一括〕	年月日未詳		1袋(3通)		1-1-4-1~3一袋 茶封筒入り
1-1-4-1	〔林孚一宛石坂堅壮質問状〕	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)	かじかとかはづの違について	罫紙 封筒あり(上書)「林孚一様 拝復」(裏書)「石坂堅壮」
1-1-4-2	〔返答書〕	年月日未詳	縦紙	1通	かじかとかはづの違について	罫紙
1-1-4-3	〔上田昌三郎宛山本六郎書状〕	平成15年8月16日	縦紙	1通	1-1-4-1・1-1-4-2の質問状の書き下し文	
1-1-5	〔林源十郎宛結城素明書状一括〕	昭和15年		1袋(2通)		1-1-5-1~2一袋 茶封筒入り
1-1-5-1	〔林源十郎宛結城素明書状〕	昭和15年年6月26日	24.3×16.1	1通(2枚)	内田魯庵の親類青木氏の事について外	罫紙 封筒あり(上書)「倉敷市本町 林源十郎様 侍史」(裏書)「本郷西片町一〇 結城素明 六月廿六日」
1-1-5-2	〔林源十郎宛結城素明書状〕	昭和15年1月9日	24.3×16.0	1通	佐藤正持翁のことなど	封筒あり(上書)「倉敷市本町 林源十郎様 座下」(裏書)「昭和十五年一月九日 結城素明 東京市本郷区駒込西片町10」
1-1-6	〔衣笠豪谷の写真〕	明治22年4月	10.9×6.5	1枚	(裏書)「明治廿二年四月中浣写照 衣笠豪谷 三十八年九箇月」	茶封筒入り 碑文を印字した包紙あり
1-1-7	〔林孚一宛日柳終吉書状校訂書〕	年未詳5月1日	24.3×33.4	1通	「皇国千字文」上梓の御礼	茶封筒入り 倉敷自治顕彰会専用罫紙
1-1-8	〔『備作医人伝』の写し〕	昭和34年4月1日	18.1×25.7	1通(2枚)	林孚一に関する記述	茶封筒入り
1-1-9	〔林源十郎通税金匿名納税関係資料〕(コピー)	明治43年	18.0×13.0	1纏め	上申書・新聞記事	1-1-9-1~3一纏め 茶封筒入り
1-1-10	梧蔭林君墓碣	明治29年11月	半・縦	1冊	西毅一撰 印刷同封	
1-2	〔林孚一関係書類〕	明治16年~昭和18年		1括(1冊1通仮3冊)		1-2-1~5一括
1-2-1	林孚一・鴨井熊山・立石孫一郎・森田節齋・佐藤正持略伝	昭和18年4月3日	14.3×21.1	1冊		印刷物 「以上調査記述・倉敷市栄町 合同新聞倉敷支社内備中史談会」とあり
1-2-2	林孚一翁逸事	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙
1-2-3	〔林家の祖先について〕	年月日未詳	24.1×16.5	1通(2枚)	易安大人からの聞き書き	原稿用紙 「林甫三認す」とあり
1-2-4	ありのまま	明治16年12月5日	24.1×16.5	仮1冊	林孚一の遺書(写)	原稿用紙
1-2-5	〔林孚一叙位関係書類写〕	(明治16年12月6日~22年6月18日)	24.1×16.5	仮1冊	林孚一の叙位に関するもの	原稿用紙
1-3	〔幕末風聞書ほか諸書類〕	(文久2年2月19日)~明治14年1月		1括(5冊5通仮9冊)		1-3-1~19一括
1-3-1	辞表	明治14年1月	半・縦	仮1冊	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六・岡山県大書記官津田	(端書)「扣」
1-3-2	〔天誅組の変に関する書付〕	亥(文久3)年9月7日~29	半・縦	仮1冊		
1-3-3	二月十九日 異国将より差出し候書翰之大意	(文久2年2月19日~3月6日)	半・縦	1冊	生麦事件に関する風聞書	
1-3-4	二月十九日 英国舟将より差出し候書翰之大意	(文久2年2月19日~3月6日)	半・縦	仮1冊	生麦事件に関する風聞書	1-3-3とほぼ同じ 1-3-4は途中で終わっている
1-3-5	〔長州藩の処置に関する書類写〕	丙寅(慶応2)年1月22日~26日	半・縦	仮1冊	長州藩の処置についての勅許 禁門の変に関する長州藩・毛利家に対する処置についての奏上文	
1-3-6	江戸出火	亥年9月10日	縦切紙	1通	九月四日夜の江戸の火事で焼失した町名等	刷物
1-3-7	〔風聞書〕	(文久3年5月15日~6月6日)	半・縦	仮1冊	「三条大橋詰塗板二張付有之書附写」「鈴木庄左衛門重胤より来状之写」「下関某より来状写」外	
1-3-8	元治元年甲子夏五月 一揆概略 海間氏	元治元年5月	半・縦	1冊	真忠組騒動・天狗党の乱について	
1-3-9	丙寅八月 長防御伐入之風説	丙寅(慶応2)年8月	半・縦	1冊	東城より借用	
1-3-10	湯原日記	年未詳5月12日~6月10日	半・縦	1冊	旅日記	
1-3-11	証書	明治7年3月7日	縦紙	1通	郵便取扱(金子入書状)で不都合が起きた時の弁償につき御名印→源十郎	罫紙 綴じ穴あり
1-3-12	寄留御願書	明治6年11月20日	縦紙	1通	林源十郎外出中孚一代判→戸長副	罫紙 綴じ穴あり
1-3-13	証書	明治7年3月7日	縦紙	1通	郵便取扱(金子入書状)で不都合が起きた時の弁償につき御名印→源十郎	罫紙 綴じ穴あり
1-3-14	〔墮胎圧殺之悪風取締につき書付〕	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)		倉敷県専用罫紙
1-3-15	〔林孚一家訓〕	明治5年8月	半・縦	仮1冊	林孚一	罫紙 破損
1-3-16	〔長州勢外諸勢力之動向につき書付〕	丙寅(慶応2)年7月26日	半・縦	仮1冊	矢懸宿役人→川辺・板倉御役人中	
1-3-17	〔風聞書〕	年未詳8月16日~9月3日	半・縦	仮1冊	因藩正議党・鈴木重胤殺害・領内警衛につき江戸急触・天誅組のことなど	
1-3-18	〔三郷惣年寄宛越前・壹岐御触書写〕	亥年1月7日~16日	半・縦	仮1冊	来二月從江戸上洛・松平春嶽三郷江逗留について	
1-3-19	嘉永異聞 二	年月日未詳	半・縦	1冊	「亜米利加来翰和蘭陀文和解」外	
1-4	〔趣法講関係書類〕	明治8年11月~9年		1括(4冊)		1-4-1~4一括
1-4-1	明治八年乙亥十二月 講会雑記	明治8年	美・横列	1冊		(裏表紙)「林源十郎」
1-4-2	明治九年丙子十一月 趣法講落札并二間金渡帖	明治9年11月	美・横列	1冊		(裏表紙)「林源十郎」
1-4-3	趣法講入札控	明治9年11月日~20年11	半・横長	1冊		
1-4-4	明治八年乙亥十一月 趣法講金会計簿 (朱筆)「市中」	明治8年11月	美大・横長	1冊		

1-5	〔催合講関係書類〕	明治8年～20年		1括(7冊12通仮15冊1括り)		1-5-1～35一括
1-5-1	講金請取証	明治8年12月20日	縦紙	1通	仕法講元掛金拾六円六拾六錢七厘の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→黒瀬与三郎	(包紙上書)「林源十郎 金拾六円六拾六錢七厘受取証 黒瀬様」
1-5-2	講金請取証	明治8年12月20日	縦紙	1通	仕法講元掛金貳拾五円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→藤波堂次郎	(包紙上書)「林源十郎 金貳拾五円受取証 藤波様」
1-5-3	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講元掛金五拾円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→大久保尚平	(包紙上書)「林源十郎 金五拾円請取証」
1-5-4	講金請取証	明治8年12月20日	縦紙	1通	仕法講元掛金五拾円の請取 講主林源十郎・会計幹事黒瀬道二郎・同木山精一→植田孫太郎	(包紙上書)「林源十郎 金五拾円受取証 植田様」
1-5-5	金仮請取	明治8年12月14日	横切紙	1通	林源十郎仕法講加入金貳拾五円の仮請取 黒瀬道次郎→大橋秀太郎	(包紙上書)「仮請取」
1-5-6	講金請取証	明治8年12月20日～17年8月12日	縦紙	1通	講主林源十郎・金預植田孫太郎→植田鶴次郎	羽栗純次宛林源十郎譲り渡につき名義変更
1-5-7	三宅 催合講勘定帳 趣法講勘定帳	(明治8年12月)	半・横半折	仮1冊		
1-5-8	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講元掛金二十五円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→大橋秀太郎	
1-5-9	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・植田孫太郎→都志一郎	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 酒津都志一郎殿」
1-5-10	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→高杉一郎	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 高杉一郎殿」
1-5-11	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→難波景二	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 難波景二殿」
1-5-12	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・植田孫太郎→秋岡素平	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 秋岡素平殿」
1-5-13	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→神々和太郎	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 神々和太郎殿」
1-5-14	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→神々和太郎	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 神々和太郎殿」
1-5-15	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→横溝丈七	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 横溝丈七殿」
1-5-16	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→大塚寿吉	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 大塚寿吉殿」
1-5-17	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→木村九三郎	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 (墨線抹消)「屋葺恒衛殿」 木村九三郎殿」
1-5-18	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→榎尾傳二郎外	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 榎尾傳二郎殿外」
1-5-19	催合講受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→大塚精一	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 大塚精一殿」
1-5-20	催合講受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→大塚寿吉	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 大塚寿吉殿」
1-5-21	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→楠戸常三	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 楠戸常三殿」
1-5-22	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・植田孫太郎→高尾仙作	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 高尾仙作殿」
1-5-23	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→守安慎三郎外	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 守安慎三郎殿外」
1-5-24	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講元掛金貳拾五円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→内藤清蔵	(包紙上書)「林源十郎 金貳拾五円受取証 内藤氏」
1-5-25	講金請取証	明治8年12月20日	縦紙	1通	仕法講元掛金貳拾五円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→妹尾又玄	(包紙上書)「林源十郎 金貳拾五円受取証 妹尾様」
1-5-26	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講元掛金拾六円六拾六錢七厘の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→小野蔚	(包紙上書)「林源十郎 金拾六円六拾六錢七厘受取証」(裏書)「小野氏」
1-5-27	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講元掛金五拾円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→大橋友三	(包紙上書)「林源十郎 金五拾円受取証 大橋氏」
1-5-28	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講元掛金拾六円六拾六錢七厘の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→加藤忠七	(端裏書)「加藤氏」
1-5-29	〔入札一括〕	年月日未詳		1括り(11通)		1-5-29-1～11帯封・紐一括り
1-5-29-1	入札	年月日未詳	横切紙	1通	高谷栄三	
1-5-29-2	〔金子書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「壱口二付 一金百拾八円四拾錢」と有る	
1-5-29-3	入札	年月日未詳	横切紙	1通	岡嶋寿太郎	
1-5-29-4	入札	年月日未詳	横切紙	1通	守屋甚三郎「一百三拾五円 内壱円八十錢引」	
1-5-29-5	投票	年月日未詳	横切紙	1通	「正味百拾五円 手形」陶浪保太→宛名なし	罫紙
1-5-29-6	入札	年月日未詳	横切紙	1通	「壱口二付 百七十五円 今札五十錢引」窪津大紀	
1-5-29-7	入札	年月日未詳	横切紙	1通	「金高二六五掛ケ 内壱円五十五錢引」原田広四郎	
1-5-29-8	記(手取金百三拾八円九拾八錢について)	巳年11月20日	横切紙	1通	友野静太郎	(端裏書)「友の」
1-5-29-9	〔入札〕	年月日未詳	横切紙	1通	「林御氏講入札 一見込金高五分七厘」江口品治郎	
1-5-29-10	入札	年月日未詳	横切紙	1通	「一口二付 百四拾九円八十錢」福井村渡辺順平	
1-5-29-11	〔手取金差引につき書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	大塚寿吉	
1-5-30	明治十三年 催合講入札控帖 第貳号	明治13年	半・横長	1冊		
1-5-31	丙子十二月 催合講第一回掛金書出	丙子年12月	半・横長	1冊		
1-5-32	〔講金勘定帳〕	(明治12年11月2日～13年1月7日)	半・横長	1冊	「小野隆太郎 一四百拾九円九拾錢」外	
1-5-33	丁丑十二月 催合講第二回掛金扣	丁丑(明治10)年12月	半・横長	1冊		
1-5-34	明治八年乙亥十一月 催合講金会計簿 (朱筆)「凹屋郡」	明治8年11月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「林源十郎」
1-5-35	明治八年乙亥十一月 催合講金会計簿 (朱筆)「各郡」	明治8年11月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「林源十郎」
1-6	〔仕法講関係書類〕	明治8年11月～9年1月		1括(4冊1通仮19冊1袋)		1-6-1～25一括

1-6-1	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→植田鶴次郎	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 植田鶴次郎殿」
1-6-2	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→植田孫太郎	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 植田孫太郎殿」
1-6-3	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→原唯七	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 原唯七殿」
1-6-4	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→小松原善平	(袋上書)「明治八年十一月 林源十郎 仕法講勘定通 小松原善平殿」
1-6-5	各郡講集金仮預帖	丙子9年1月	美・横長	仮1冊	林源十郎→植田孫太郎	(袋上書)「九年一月 林源十郎 各郡講集金仮預ヶ帳入 植田孫太郎殿」
1-6-6	当郡講集金仮預ヶ証	明治9年1月	美・横長	仮1冊	林源十郎→植田孫太郎	(袋上書)「九年一月 林源十郎 当郡講集金仮預ヶ証 植田孫太郎殿」
1-6-7	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→大久保尚平	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 大久保尚平殿」
1-6-8	催合講金受取通	明治8年12月	美・横長	仮1冊	講主林源十郎・金預植田孫太郎→高谷栄三	(袋上書)「乙亥年 林源十郎 講金通袋 高谷栄三殿」
1-6-9	[仕法講関係書類一括]	明治8年11月～12月		1袋(仮1冊1通)		1-6-9-1～2一袋 (袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 高橋由信殿」
1-6-9-1	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→高橋由信	
1-6-9-2	講金請取証	明治8年12月	縦紙	1通	仕法講金貳拾五円の請取 講主林源十郎・金預植田孫太郎→高橋由信	
1-6-10	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→黒瀬與三郎	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 黒瀬與三郎殿」
1-6-11	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→藤浪常二郎	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 藤浪常二郎殿」
1-6-12	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→大橋秀太郎	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 大橋秀太郎殿」
1-6-13	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→大橋友三	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 大橋友三殿」
1-6-14	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→石井又三郎	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 石井又三郎殿」
1-6-15	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→石坂堅壮	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 石坂堅壮殿」
1-6-16	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→木山精一	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 木山精一殿 御請」
1-6-17	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→木邨和吉	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 木邨和吉殿」
1-6-18	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→河原宇平	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 河原宇平殿」
1-6-19	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→羽栗淵	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 羽栗淵殿」
1-6-20	仕法講勘定通	明治8年11月	美・横長	仮1冊	林源十郎→小野蔚	(袋上書)「明治八年乙亥十一月 林源十郎 仕法講勘定通袋 小野蔚殿」
1-6-21	講金預り仮証	明治8年12月	縦紙	1通	黒瀬道次郎→林源十郎	
1-6-22	仕法講議定帳	明治8年11月	美大・縦	1冊		
1-6-23	催合講議定書	明治8年12月	美大・縦	1冊		
1-6-24	催合講議定書	明治8年12月	美大・縦	1冊		
1-6-25	仕法講議定帳	明治8年11月	半・縦	1冊		
1-7	[林孚一関係書類]	明治8年7月4日～25年3月		1括(15通4袋仮2冊)		1-7-1～21一括
1-7-1	現今民間實際之悪弊	明治10年5月16日	小・縦	仮1冊	備中国正副区戸総代副区長森田佐平・区長林孚一→岡山県令高崎五六	第十五大区会議所専用罫紙
1-7-2	[林源十郎宛林孚一書状]	年未詳7月14日	縦紙	1通(2枚)	原田氏来訪二付松原一件・以後ノ会計如何ヲ尋候儀についてなど	封筒虫損あり 封筒あり(上書)「倉敷本町 林源十郎殿 至急」(裏書)「東京川瀬石町壱番地 清澤平治口 〇月十四日発ス 林孚一」罫紙
1-7-3	[大坂屋御老候宛池村久衛書状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	弾台之儀・薩長土三藩申合之儀・矢野玄道先生外同志之者早春東京へ出張についてなど	(端裏書)「池村」
1-7-4	[林孚一・源十郎宛石坂堅壮書状]	年未詳11月15日	縦紙	1通	老母老病下婢帰国につき御心添依頼	封筒あり(上書)「林孚一様 林源十郎様 東京麹町区富士見町二丁目四拾三番地 石坂堅壮」罫紙
1-7-5	[各様宛林孚一書状]	明治8年6月27日	縦紙	1通(2枚)	東京と京坂との比較など	罫紙
1-7-6	倉敷村教諭所諸記之俣ヲ記ス	年月日未詳	小・縦	仮1冊		罫紙
1-7-7	宮中月並御歌題	明治25年	横切紙	1通	「一月 田上雪」外	封筒あり(上書)「明治二十五年壬辰宮中月次之御題」
1-7-8	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	大政御一新につき神仏引分仰付により拙僧還俗并境内之天満宮神職就任願について	
1-7-9	[醇平宛孚一書状]	明治23年7月2日	横切紙	1通	本村撰拳人五十九名不残足下を撰拳之由について	

1-7-10	〔辞職願〕	明治15年12月		1袋(2通)		1-7-10-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「明治十五年十二月辞表」
1-7-10-1	辞職御願	明治15年12月	縦紙	1通	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六代理岡山県小書記官	罫紙
1-7-10-2	〔郡吏員解職願上御差免につき御礼状〕	年月日未詳	縦紙	1通		岡山県窪屋郡役所専用罫紙
1-7-11	〔源十郎宛孚一書状〕	明治8年6月14日	縦紙	1通	東京丸での船旅外東京までの道中についてなど	封筒あり(上書)「備中倉敷本町 林源十郎殿 無事要用」(裏書)「東京桜田太左衛門町越前屋佐太郎二而 六月十四日発 封筒あり(上書)「雑職之由来尋遣し候時 小杉榎村大人の答書」(内封筒上書)「備中倉敷町二百三十一番地 林孚一殿」(裏書)「東京日本橋区大八洲学会 仮事務所本石町一丁目壹
1-7-12	〔雑・幟之由来につき答書〕	(明治)22年5月31日	縦紙	1通	小杉榎村→林孚一	1-7-13-1~2一袋 1-7-13-1を折った間に1-7-13-2が入っていた 封筒あり(上書)「詠進之雛形 明治二十三年」(裏書)「国所姓名 宮内省御歌所御中 詠進歌在中」
1-7-13	〔詠進歌関係一括〕	明治23年		1袋(2通)		罫紙
1-7-13-1	〔詠進歌書式書付〕	年月日未詳	縦紙	1通	詠進料紙・詠進書式について	
1-7-13-2	〔林孚一詠進歌〕	年月日未詳	縦紙	1通	歌題雪埋松 岡山県備中窪屋郡倉敷村平民林孚一	
1-7-14	〔源十郎宛孚一書状〕	年未詳6月25日	横継紙	1通	松原・白神氏の事外	
1-7-15	辞表	明治13年	縦紙	1通	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	封筒あり(上書)「明治十三年庚辰十二月又明治十四年辛巳十二月 両度之辞表控」 罫紙
1-7-16	〔林孚一宛野崎武吉郎書状〕	年未詳9月26日	横継紙	1通	植田氏家政之義ニ付金子取替手續について	封筒あり(上書)「備中窪屋郡倉敷村 林孚一様 親展拝酬」(裏書)「備前児島郡味野村 野崎武吉郎 九月二十六日認
1-7-17	〔林源十郎宛林孚一書状〕	明治8年7月4日	縦紙	1通(3枚)	浪花山田氏との醇平に関する電信についてなど	封筒あり(上書)「備中倉敷本町 林源十郎殿 平安急報」(裏書)「東京川瀬石町壱番地 清澤平治宅二而林孚一」 罫紙
1-7-18	〔林源十郎宛林孚一書状〕	明治8年7月11日	縦紙	1通(2枚)	醇平の様子についてなど	封筒あり(上書)「備中倉敷本町 口源十郎殿 平信書」(裏書)「東京川瀬石町壱番地 清澤平治宅二而林孚一 七月十一日
1-7-19	〔出詠依頼外一括〕	明治25年3月		1袋(6通)		1-7-19-1~6一袋 封筒あり(上書)「明治二十五年所々月次題」
1-7-19-1	詩歌兼題	明治25年3月	縦紙	1通	出詠依頼 讃岐国那珂郡琴平山崇敬講社本部	印刷物
1-7-19-2	〔長・短歌恵贈依頼〕	年月日未詳	横切紙	1通	中島年光の還暦祝の為出詠依頼 玉詠届所中島博光・同水穂会内	印刷物
1-7-19-3	七十自祝三首韻用古来稀字	年月日未詳	21.0×17.3	1通	快堂老人結城秀伴	印刷物
1-7-19-4	広告	明治25年	横切紙	1通	浅口郡吉備村大谷発起者小野慎一郎・中島久間太 金の神社奉納和歌兼題	印刷物
1-7-19-5	明治廿五年月次献詠歌題	明治25年	横切紙	1通	出詠依頼 備後国沼隈郡鞆町 沼名前神社々務所	印刷物
1-7-19-6	詩歌兼題	明治25年3月	縦紙	1通	出詠依頼 讃岐国那珂郡琴平山 崇敬講社本部	1-7-19-1と同じ 印刷物
1-7-20	〔林源十郎宛林孚一書状〕	年月日未詳	縦紙	1通	木村・原両家への返答・帳面への証印についてなど	封筒あり(上書)「林源十郎殿 同孚一 酬書」
1-7-21	〔鈴木重胤文書の写真〕	年月日未詳	写真	1袋(22枚)	「林欣二伴臣生涯之心得」「養心神訣」など	1袋に計22枚の写真が入っている
1-8	〔諸書類〕			1括(5冊2通版11冊1纏め1包)		1-8-1~20一括
1-8-1	口書	年未詳4月	横継紙	1通	倉敷陣屋・浅尾陣屋襲撃につき 長州藩榎部坂太郎・丑之介三男西岡龍太・弾正二男長尾清熊→御名	(端裏書)「(朱印)丙寅」
1-8-2	布告	辛未年12月(明治4年)	半・縦	仮1冊	負債取納めの事外 哲多郡矢戸村外十二村村々役人中→元倉敷県	包紙あり(上書)「布令書 哲多郡矢戸村始」 倉敷県専用罫紙
1-8-3	〔幕末風聞書〕	年月日未詳	半・横	仮1冊	「文久三亥年二月廿三日京都三条河原木像首さらし有之候次第書之写」外	
1-8-4	〔幕末風聞書〕	年未詳2月	半・横長	仮1冊	「二月朔日 和泉守家来呼可渡書付」外	
1-8-5	〔安江村貯穀関係書類〕	明治11年12月~12年1月		1包(2通)		1-8-5-1~2一包 (包紙上書)「林孚一殿 安江村平民原四郎書状」
1-8-5-1	記(村貯穀につき取調願外)	明治11年12月7日	縦継紙	1通	原四郎→議員御衆中	
1-8-5-2	村方不勘定御願	明治12年1月19日	縦継紙	1通	安江村平民原四郎→倉敷郡長林孚一	
1-8-6	明治十二年十一月 虎列良病流行之際抜群勉勵之者上申控 窪屋郡長林孚一	明治12年11月	半・縦	1冊	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	
1-8-7	カント以後智識論之骸骨	年月日未詳	半・縦	仮1冊	カント・ジャコビー・フヒテ等について	罫紙
1-8-8	具申(庶務掛と徴税掛の兼務につき)	明治12年9月29日	半・縦	仮1冊	郡書記植田基三郎→窪屋郡長林孚一	岡山県窪屋郡役所専用罫紙
1-8-9	改租惣代兼地籍取調掛伺	年月日未詳	半・縦	仮1冊		第十五大区窪屋郡専用罫紙
1-8-10	未年郡中大割金勘定	壬申年4月	半・縦	仮1冊	屋葺留太郎→旧倉敷県議事掛・郡中惣代	
1-8-11	御請書	明治13年2月28(力)日	縦紙	1通	窪屋郡有城村藤森孫太郎→林孚一	
1-8-12	御尋二付上申	明治11年8月	半・縦	仮1冊	笹沖村副戸長神崎就吾・秋岡素平・神崎愛三郎→区長林孚	第十五大区窪屋郡専用罫紙
1-8-13	正風社定納	年月日未詳	半・縦	仮1冊	村中交際を相除く対象とその程度	第十五大区会議所専用罫紙
1-8-14	〔謙三郎殿組合に相成受取書付送付依頼書〕	年未詳3月13日	縦紙	1通	藤森孫太郎→林孚一	
1-8-15	上申(汐入川の儀につき)	明治19年12月	半・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村地主総代山形富治郎・児原常之・木村和吉・松尾千治郎・小河原文平→窪屋郡長森田佐平	窪屋郡倉敷村戸長役場用紙
1-8-16	建白 生坂小学在勤目黒篤敬	明治11年11月	半・縦	1冊	教育過程について 生坂小学在勤五級訓導補目黒篤敬→学区取締林孚一	生坂小学専用罫紙
1-8-17	尋問二付御答書	年未詳2月8日	半・縦	仮1冊	村貯穀之義立入庄屋取計別紙帳面差出しの事外 安江村元百姓代原惣平・同原還衛→窪屋郡役所	備中国窪屋郡専用罫紙
1-8-18	村方不勘定御願	明治11年12月~12年1月	半・縦	仮1冊	諸勘定取計のお願い 安江村平民原四郎→窪屋郡長林孚一	

1-8-19	現今民間實際之悪弊	明治10年5月16日	半・竪	仮1冊	備中国正副区長総代副区長森田佐平・同区長林孚一・備前国正副区長総代副区長鷺江小文太・同区長水谷亥孝太→岡山県令高崎五六 代言代書人の悪弊につき	(奥書)「(朱筆)此分不出 石黒文作之方ヲ差出ス」
1-8-20	傍聴日記	明治8年6月20日～7月15	小・竪	1冊	地方官会議の傍聴録	
1-8-21	呈 林翁書草	明治6年3月30日	半・竪	1冊	凝州化史斗守昂謹撰并書	落款あり
1-9	[詩画帳]	年月日未詳	折本	1帖	易堂 香楠居主人 瓦礫ほか	
1-10	[詩画帳]	辛亥～甲寅	折本	1帖	琢堂 半煙 蓮室 雲窓 万亮ほか	
1-11	臥游帖(詩画帳)	年月日未詳	折本	1帖	石泉 空山人 秋郎 成斎 橋松洞 伴臣 清軒ほか	
1-12	[画帳]	乙亥年初冬	折本	1帖	天香 鳳山 翠山 豊洲 山洋 楳林ほか	
1-13	[詩画帳]	年月日未詳	折本	1帖	竹軒 春江 拜山ほか	
1-14	[詩画帳]	年月日未詳	折本	1帖	白松坡 王治梅 鉄梅ほか	
1-15	[画帳]	年月日未詳	折本	1帖		
1-16	[画帳]	年月日未詳	折本	1帖	薫 石泉ほか	
1-17	嘉永七年甲寅正月日 毎歳売高覧競帳	弘化3年～明治23年	半・横	1冊		(裏書)「大坂屋源介」
1-18	好事雑報	明治11年6月23日～12年3月20日	竪帳	1冊	歴史・博物関係	雑誌 第一号～二十号 (奥付)「本局(中略)弘文社 社主石阪堅壮 同大島守人 編輯人忍峽稜威兄 印刷人守屋性質」
1-19	柳東日柳先生著 皇国千字文 吉備僊松楼蔵梓	明治3年3月	小・竪	1冊		(奥書)「讀岐 日柳長次郎著 明治三年庚午三月梓 備中倉敷本町 大坂屋源介」印刷物
1-20	天文歌 完	明治7年2月	小・竪	1冊	岡山石坂秋朗著	(奥書)「吉備倉敷小学明倫館蔵梓 (中略) 製本発兌 大阪心斎橋柳原喜兵衛 備中倉敷林源十郎」印刷物
1-21	[詩画帳]	年月日未詳	折本	1帖	秋郎 竹軒 石泉 松洞 興恕	
1-22	[詩画帳]	年月日未詳	折本	1帖	空山人 玄溪 松洞 寛頭ほか	
1-23	[画帳]	年月日未詳	折本	1帖	榴堂ほか	
1-24	[画帳]	年月日未詳	折本	1帖	榴堂ほか	
1-25	[詩画帳]	年月日未詳	折本	1帖	西村伊作 寛(与謝野) しもとり さわべ 柏亭ほか	
1-26	[講関係書類]	明治8年～24年		1箱(仮1冊68通 1枚8袋3包)		1-26-1～81一箱 坂角惣本舗の箱
1-26-1	[封筒]	年月日未詳	28.7×20.2	1枚		封筒のみ
1-26-2	[林源十郎宛中村源蔵書状]	明治24年1月7日	はがき	1通	御礼	(表紙)「岡山県備中国窪屋郡倉敷村 源十郎様」
1-26-3	記(代金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	「一、四千五百六拾六円 五錢三厘 右地方債借用預り共々元」外	
1-26-4	記(代金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	「一、 建家一ヶ所附もの一切」外	
1-26-5	記(代金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	「一、 四千五百六拾六円五錢三厘 右ハ地方借入預り共元	罫紙
1-26-6	家代金受取証	明治9年2月7日	竪紙	1通	林源十郎旧宅売渡代金の受取証 幹事 黒瀬道次郎→多田興一	
1-26-7	[各人宛林源十郎書状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	催合講前取御出金御渡しの依頼	
1-26-8	記(代金受取)	乙亥年9月17日	竪紙	1通	黒瀬道二郎→林源十郎	
1-26-9	[小野隆太郎外二名宛木山精一書状]	22年11月	竪紙	1通	林源十郎の催合講会評決事項	罫紙
1-26-10	金受取証	明治10年6月16日	竪紙	1通	林源十郎へ払い入れた負債の受取 林改革幹事之内黒瀬道次郎→多田興一	罫紙
1-26-11	証(負債残金受取)	明治10年8月1日	竪紙	1通	幹事之内黒瀬道次郎→林源十郎	罫紙
1-26-12	仮受取証	8年10月22日	横切紙	1通	代金受取 黒瀬道次郎→林源十郎	
1-26-13	記(落札金受取)	年未詳11月30日	横切紙	1通	児島徳平治→林源十郎	
1-26-14	金預証巻之事	明治8年11月19日	竪紙	1通	物品売払代金の受取 黒瀬道次郎→林源十郎	罫紙
1-26-15	金受取証	明治9年12月31日	竪紙	1通	仕法金御出金の受取 幹事之内黒瀬道次郎→多田興一	罫紙
1-26-16	催合講加入株譲渡届書	明治19年1月24日	竪紙	1通	岡谷村友野静太郎外1名→林源十郎	罫紙
1-26-17	証(負債残金受取)	明治10年6月4日	竪紙	1通	黒瀬道次郎→林孚一・同源十郎	罫紙
1-26-18	割戻シ金	年月日未詳	小半・竪	仮1冊	「五十一錢三厘 児島」外21筆	罫紙
1-26-19	[間野久外十六名宛林源十郎書状]	明治21年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「林源十郎 講会御案内」(裏書)「催合講」
1-26-20	[松原照夫外三十一名宛講主林源十郎書状]	年未詳11月	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内」(裏書)「倉敷 林源十郎」
1-26-21	[小野隆太郎外六名宛林源十郎書状]	明治10年11月14日	横切紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「林源十郎 講会御案内」(裏書)「別之分」
1-26-22	[小野隆太郎外五名宛林源十郎書状]	明治21年11月14日	横切紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内」(裏書)「別之分」
1-26-23	[小野隆太郎外八名宛林源十郎書状]	明治16年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 別之分 (印字)備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治十六年十一月十七日」
1-26-24	[窪津大紀外二十三名宛林源十郎書状]	明治16年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治十六年十一月十五日」(端裏書)「郊外」
1-26-25	[間野久外十五名宛林源十郎書状]	明治20年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 林源十郎」(裏書)「市外」(端裏書)「市外」
1-26-26	[小野隆太郎外二名宛林源十郎書状]	明治22年11月14日	横切紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 林源十郎」(裏書)「別」(端裏書)「別」
1-26-27	[窪津大紀外二十八名宛林源十郎書状]	辛巳年11月17日	横継紙	1通	催合講会案内	包紙あり(上書)「講会御案内 林源十郎」
1-26-28	[講会案内状]	明治19年11月14日		1袋(2通)		1-26-28-1～2一袋 封筒あり(上書)「講会御案内 林源十郎」(裏書)「市外」
1-26-28-1	[窪津大紀外十七名宛林源十郎書状]	明治19年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	(端裏書)「市外」
1-26-28-2	[大橋友三外十名宛林源十郎書状]	明治19年11月14日	横継紙	1通	趣法講会案内	(端裏書)「市中」

1-26-29	〔講会案内状〕	明治22年11月15日		1袋(2通)		1-26-29-1~2一袋 巻き込み一括 封筒あり(上書)「講会御案内 林源十郎」(裏書)「赴法講」(端裏書)「町」
1-26-29-1	〔大橋平右衛門外七名宛林源十郎書状〕	明治22年11月15日	横継紙	1通	趣法講案内	(端裏書)「町」
1-26-29-2	〔瀬尾又玄外二名宛木山精一書状〕	年未詳11月20日	横切紙	1通	林源十郎趣法講につき	
1-26-30	〔木村光太郎外十一名宛林源十郎書状〕	明治22年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 林源十郎」(裏書)「催合講」(端裏書)「市外」
1-26-31	〔小野隆太郎外五名宛林源十郎書状〕	明治20年11月14日	横切紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会案内 林源十郎」(裏書)「市中」(端裏書)「別之分」
1-26-32	〔大橋友三外十五名宛林源十郎書状〕	明治17年11月14日	横継紙	1通	趣法講会案内 記1通同封	(端裏書)「市中」
1-26-33	〔石井英太郎外二十二名宛講主林源十郎書状〕	年未詳11月	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内」(裏書)「倉敷 林源十郎」
1-26-34	〔大橋平右衛門外七名宛林源十郎書状〕	明治21年11月14日	横継紙	1通	赴法講会案内	封筒あり(上書)「林源十郎→講会御案内」(裏書)「趣法講」
1-26-35	〔小野隆太郎外七名宛林源十郎書状〕	明治17年11月13日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「林源十郎 講会御案内」(裏書)「別之分」(端裏書)「別」
1-26-36	〔窪津大紀外二十二名宛林源十郎書状〕	明治17年11月13日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「林源十郎 講会御案内」(裏書)「市外」(端裏書)「市外」
1-26-37	〔小野隆太郎外七名宛林源十郎書状〕	明治18年11月11日	横切紙	1通	催合講会案内	(端裏書)「別分」
1-26-38	〔窪津大紀外二十名宛林源十郎書状〕	明治18年11月11日	横継紙	1通	催合講会案内	(端裏書)「市外」
1-26-39	記(代金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	「一、金五拾五円 講主払出」	
1-26-40	〔窪津大紀外三十三名宛林源十郎書状〕	年未詳11月29日	横継紙	1通	催合講案内	罫紙
1-26-41	〔各人宛林源十郎書状〕	丁丑年12月	横継紙	1通	通・金子お渡し依頼	
1-26-42	〔大橋友三外十二名宛林源十郎書状〕	明治18年11月12日	横継紙	1通	趣法講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 市中 (印字)備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治十五年十一月廿四日」(端裏書)「市内」
1-26-43	〔大橋友三外十九名宛林源十郎書状〕	辛巳年11月17日	横継紙	1通	趣法講会案内状	包紙あり(包紙上書)「市中 講会御案内 林源十郎」(端裏書)「町」
1-26-44	〔大橋友三外十六名宛林源十郎書状〕	明治16年11月15日	横継紙	1通	趣法講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 市中 (印字)備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治十六年十一月十五日」(端裏書)「市中」
1-26-45	〔槇尾伝次郎外十二名宛林源十郎書状〕	明治16年11月14日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 市外 (印字)備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治16年11月14日」(端裏書)「市外乙」
1-26-46	〔窪津大紀外二十六名宛林源十郎書状〕	明治15年11月24日	横継紙	1通	催合講案内	封筒あり(上書)「講会御案内 市外 (印字)備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治十五年十一月廿四日」(端裏書)「郊外」
1-26-47	〔小野隆太郎外七名宛林源十郎書状〕	明治15年11月24日	横切紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「講会御案内 前取仕分 (印字)備中倉敷本町 林源十郎」(裏書)「明治十五年十一月廿四日」(端裏書)「別」
1-26-48	〔小野隆太郎外七名宛林源十郎書状〕	年未詳10月24日	横切紙	1通	催合講会案内	包紙あり(上書)「講会御案内」
1-26-49	〔大橋友三外二十名宛林源十郎書状〕	庚辰年11月	横継紙	1通	趣法講会案内	包紙あり(上書)「講会御案内」
1-26-50	〔大橋友三外二十九名宛林源十郎書状〕	丙子年11月21日	横継紙	1通	趣法講会案内 出金書1通同封	
1-26-51	〔岡島寿太郎外七名宛林源十郎書状〕	年未詳11月29日	横継紙	1通	催合講会案内	包紙あり(上書)「講会御案内」(端裏書)「乙」罫紙
1-26-52	〔講会案内状〕	年未詳11月		1包(3通)		1-26-52-1~3一袋 包紙あり(上書)「庚辰 講会御案内」
1-26-52-1	〔窪津大紀外三十名宛林源十郎書状〕	年未詳11月20日	横継紙	1通	催合講会案内	
1-26-52-2	〔神崎貞三郎外六名宛林源十郎書状〕	年未詳11月22日	横継紙	1通	催合講会案内	
1-26-52-3	〔小野隆太郎外七名宛林源十郎書状〕	年未詳11月20日	横継紙	1通	催合講会案内	
1-26-53	〔大橋友三外二十二名宛林源十郎書状〕	卯年10月29日	横継紙	1通	趣法講会案内	(端裏書)「卯」
1-26-54	〔大橋友三外二十六名宛林源十郎書状〕	戊寅年11月14日	横継紙	1通	趣法講会案内	
1-26-55	〔屋萱外十名宛林源十郎書状〕	丙子年1月4日	横継紙	1通	催合講掛金お渡し依頼	
1-26-56	〔大橋友三外二十六名宛林源十郎書状〕	丁丑年11月29日	横継紙	1通	趣法講会案内	罫紙
1-26-57	〔小野隆太郎外二名宛木山精一書状〕	明治22年11月	縦紙	1通	林源十郎催合講開設につき	封筒あり(上書)「各位 木山精一」
1-26-58	〔大塚精一外四名宛木山精一書状〕	明治22年11月	縦紙	1通	林源十郎催合講開設につき	罫紙
1-26-59	〔林源十郎宛木山精一書状〕	年未詳12(力)月	横切紙	1通	勿金等の事について	封筒あり(上書)「木山精一(抹消)「様」(朱筆)「林様」親展」(裏書)「(朱筆抹消)林源十郎」
1-26-60	〔大橋友三外二十五名宛黒瀬道次郎外二名書状〕	年未詳1月3日	横継紙	1通	林源十郎講会案内	包紙あり(上書)「御案内」
1-26-61	〔牧丈平外十四名宛倉敷村植田甚三郎書状〕	年未詳12月1日	横継紙	1通	催合講会案内	包紙あり(上書)「御案内」(端裏書)「丙」罫紙
1-26-62	〔各人宛林源十郎書状〕	明治22年12月25日	横切紙	1通	催合講前取勿金支払いにつき 記1通同封	
1-26-63	〔各人宛倉敷村林源十郎書状〕	明治13年12月25日	縦紙	1通	催合講前取勿金支払いにつき 記1通同封	罫紙
1-26-64	〔大橋平右衛門外六名宛林源十郎書状〕	明治22年12月5日	横継紙	1通	趣法講の一時割戻金を請け取り願ひ	封筒あり(上書)「各様 林源十郎」
1-26-65	十九年十二月御金扣	明治19年12月25日	縦紙	1通	代金書上と勿金支払の願ひ	封筒あり(上書)「各様 林源十郎」
1-26-66	〔小野隆太郎外一名宛林源十郎書状〕	明治17年12月25日	横切紙	1通	催合講勿金・通帳お渡し依頼	封筒あり(上書)「各様」(裏書)「十七年十二月廿五日 備中倉敷 林源十郎」
1-26-67	〔小野隆太郎外七名宛林源十郎書状〕	年未詳11月17日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「各様 林源十郎」(端裏書)「別之分」
1-26-68	〔各様宛林源十郎書状〕	明治16年12月30日	横切紙	1通	講勿金につき 記1通同封	1-26-68-1~2一袋 封筒あり(上書)「各様 林源十郎」
1-26-69	〔各人宛林源十郎書状〕	明治14年12月24日	縦紙	1通	催合講前取御金支払い願	封筒あり(封筒上書)「各様 林源十郎」罫紙
1-26-70	〔大橋友三外十八名宛林源十郎書状〕	明治21年11月24日	横継紙	1通	趣法講会案内 記1通同封	(端裏書)「市中」
1-26-71	〔各人宛林源十郎書状〕	明治18年1月25日	縦紙	1通	前取御金と通帳お渡し依頼	
1-26-72	〔村田茂平外六名宛林源十郎書状〕	明治17年12月24日	横切紙	1通	催合講の勿金と通帳お渡し依頼	封筒あり(上書)「各様」(裏書)「備中倉敷本町式百三拾壹番地 林源十郎」
1-26-73	〔窪津大紀外三十一名宛林源十郎書状〕	戊寅年11月13日	横継紙	1通	催合講会案内	
1-26-74	〔林源十郎宛神戸市中村源蔵書状〕	明治24年1月2日	横継紙	1通	講金返金願ひ 催合講受取通同封	

1-26-75	[石井英太郎外二十名宛幹事河島丈四郎・木村光太郎・植田甚三郎書状]	明治10年12月	横継紙	1通	林源十郎講会決議事項の通知	包紙あり(上書)「回章」
1-26-76	[楠戸外十一名宛林源十郎書状]	明治10年1月7日	横継紙	1通	催合講掛金お渡し願	包紙あり(上書)「回章 林源十郎」
1-26-77	[各人宛林源十郎書状]	年未詳11月17日	横継紙	1通	仕法講割戻金請取願	包紙あり(上書)「回章」
1-26-78	[窪津大紀外二十七名宛林源十郎書状]	己卯年10月28日	横継紙	1通	催合講会案内	封筒あり(上書)「回章 倉敷 林源十郎」
1-26-79	[小野隆太郎外七名宛林源十郎書状]	戊寅年11月13日	横継紙	1通	催合講会案内	
1-26-80	[代金書上]	年月日未詳	横継紙	1通	「一、八円廿三銭三厘 廿八年 減七円六銭貳厘」	
1-26-81	[松原昭夫外三十一名宛講主林源十郎書状]	丑年1月	横継紙	1通	催合講の渡金と通帳お渡し依頼	
1-27	[諸書類]			1箱(仮3冊119通2枚3袋1冊)		1-27-1~128一箱 (上書)「(印字)手許箱 平安象彦 印」
1-27-1	封筒	年月日未詳		1枚		封筒あり(上書)「請取証」中身なし
1-27-2	[金子受取外一括]			1袋(33通1袋)		1-27-2-1~34一袋 茶封筒入り(上書)「年度不詳分」
1-27-2-1	[林宛清二郎書状]	年未詳10月16日	横継紙	1通	金子融通お礼 覚など2通同封	1-27-2-1~3一袋 封筒あり(上書)「元林様 為是御証文入」(裏書)「平田廣四郎」
1-27-2-2	[林宛清二郎書状]	年未詳10月12日	横継紙	1通	新規積金振替借債について	包紙あり(上書)「大阪屋様 清二郎」
1-27-2-3	[林源十郎宛高尾仙作書状]	年未詳2月9日	横切紙	1通	赤木講之義について	
1-27-2-4	記(金子勘定)	年未詳10月29日	横切紙	1通	林源十郎→山川	
1-27-2-5	[原田広四郎宛林源十郎書状]	明治26年8月6日	横継紙	1通	取替金証文書替について	
1-27-2-6	記(金子受取)	年未詳8月5日	横切紙	1通	山本三代治→林源十郎	
1-27-2-7	記(金子受取)	明治22年2月28日	横切紙	1通	木山精一→林源十郎	
1-27-2-8	記(金子受取)	年未詳12月31日	横切紙	1通	楠戸常三→林源十郎	
1-27-2-9	証(借用証)	明治12年10月9日	横切紙	1通	上田庄助・木村義助→林源十郎	
1-27-2-10	覚(振替金差引分受取)	辰年8月18日	横継紙	1通	木山精一→林源十郎	罰紙
1-27-2-11	記(印紙代外代金書上)	年月日未詳	横切紙	1通		
1-27-2-12	記(本代受取)	年未詳4月30日	横切紙	1通	黒瀬与三郎→林孚一	
1-27-2-13	記(金子受取)	年未詳4月1日	横切紙	1通	木山精一→林	
1-27-2-14	記(多田廻りの金落手)	辰年2月13日	横継紙	1通	木山精一→林源十郎	罰紙
1-27-2-15	記(年賦金受取)	明治11年3月9日	横継紙	1通	□より入白神佐一郎→林源十郎	
1-27-2-16	記(硝酸代金受取)	年未詳6月18日	横切紙	1通	藤波二郎三郎代理→林源十郎	
1-27-2-17	記(代金受取)	年未詳2月14日	横切紙	1通	宮路克己→林源十郎	罰紙
1-27-2-18	記(共有地に係る諸税半額受取)	明治21年5月29日	横継紙	1通	森祺二→高橋	罰紙
1-27-2-19	[金子御渡シ依頼]	年未詳10月12日	横切紙	1通	向市場大工房太郎→本町林御代	罰紙
1-27-2-20	記(講金受取)	年未詳9月	横切紙	1通	廣田佐治郎→林	
1-27-2-21	記(代金請取)	年未詳5月11日	横継紙	1通	児原常三・山本信三→林	罰紙
1-27-2-22	記(金子受取)	年未詳閏7月10日	横切紙	1通	名井養富→林源十郎	
1-27-2-23	仮証(播龍間増株金受取)	年月日未詳	横切紙	1通	幹事多田与一・岡田義平→林源十郎	
1-27-2-24	記(講落札金差引受取)	年未詳12月30日	横継紙	1通	松原昭夫→林源十郎	
1-27-2-25	記(金子受取)	年未詳5月25日	横切紙	1通	井田徳兵衛→林源十郎	罰紙
1-27-2-26	記(地子領掌)	年未詳2月21日	横切紙	1通	森脇恵蔵→林御陰居	
1-27-2-27	記(代金受取)	年未詳6月4日	横切紙	1通	中川横太郎→林源十郎	
1-27-2-28	記(金子受取)	年未詳1月20日	横切紙	1通	守屋甚三郎→林源十郎	
1-27-2-29	記(雲山翁より馬場敏助へ送付金預置について)	年未詳10月14日	横切紙	1通	惣社森本朴齋→倉敷林源十郎	
1-27-2-30	記(催合講落札諸出金差引残受取)	明治16年12月31日	横切紙	1通	高谷栄三→林源十郎	
1-27-2-31	[借用証]	年月日未詳	横切紙	1通	白井氏二→平尾竹露→林御店	
1-27-2-32	拝呈	年未詳4月3日	横継紙	1通	木村亀太郎へお金御渡し依頼 上田庄介→林源十郎	
1-27-2-33	[木村儀助・木村亀太郎両名御渡願]	年未詳4月10日	横継紙	1通	上田庄介→林源十郎	(端裏書)「林様 上田庄介 添書」
1-27-2-34	記(海軍利足・過金・証券二通返上について)	年未詳11月11日	横切紙	1通	大橋良平→林源十郎・林醇平	
1-27-3	証(義捐金受取)	明治30年8月6日	横切紙	1通	郷学設立浄捨義捐金第二回分 郷学発起者高橋宇一→林	
1-27-4	預金証文之事	明治26年11月1日	横切紙	1通	預り主林源十郎→山川清平	封筒あり(上書)「明治廿六年十一月金八百円預証巻通 林源十郎」
1-27-5	預金証文之事	明治26年2月	横切紙	1通	林源十郎→お清	包紙あり(上書)「廿六年二月 金七拾円〇〇五厘預証 林源十郎」墨線抹消
1-27-6	海軍公債証書借用証	明治26年3月14日	横紙	1通	借用人林醇平・林源十郎→大橋良平	
1-27-7	海軍公債証書借用券	明治26年3月8日	横紙	1通	借用人林醇平・同林源十郎→大橋良平	
1-27-8	預金証文之事	明治25年10月24日	横紙	1通	金預り主林源十郎→山川鍊蔵	封筒あり(上書)「明治二十五年十月林源十郎 金壹千円預証券 巻通 廿六年十月限」
1-27-9	預り金証文之事	明治25年11月1日	横切紙	1通	金預り主林源十郎→甲村孫市	包紙あり(上書)「明治廿五年十一月 預金証券巻通 林源十郎」
1-27-10	証(家賃受取)	明治25年1月20日	横切紙	1通	木村理吉→林御陰居	
1-27-11	記(仕方講落札金受取)	明治22年11月30日	横切紙	1通	原田廣四郎→林源十郎	
1-27-12	記(舟倉藤原宅地租税村費受取)	明治24年2月28日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	罰紙
1-27-13	受領書(駅待合室売薬広告料受取)	明治24年11月11日	横切紙	1通	倉敷駅長中西一基→林源十郎	山陽鉄道会社便箋
1-27-14	証(救助料借用)	明治24年11月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平	
1-27-15	証(大塚ヨより出金無之につき金子借用)	明治24年3月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-16	記(清音村負傷者救助義捐金の請取・送達について)	明治24年6月25日	横切紙	1通	木山精一・林醇平→林孚一・林源十郎	
1-27-17	受領証(吉備津神社保存会費寄附金)	明治24年10月20日	横切紙	1通	倉敷町長小山慎平→林源十郎	

1-27-18	記(大塚ヨリ出金無之二付金子借用)	明治24年2月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-19	領收証(倉敷停車場道路新設費寄付金)	明治24年4月28日	縦切紙	1通	倉敷村長植田年→林源十郎	窪屋郡倉敷村役場専用罫紙
1-27-20	記(潤筆料領収)	明治24年9月1日	19.1×16.8	1通	巖谷 執事→林	
1-27-21	記(救助料借用)	明治24年8月7日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平	
1-27-22	記(救助料受取)	明治24年5月2日	横継紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	救助料借用書付あり
1-27-23	記(救助料借用)	明治24年9月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平	
1-27-24	記(大塚ヨリ出金無之につき救助料借用)	明治24年4月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-25	記(救助料受取)	明治24年7月4日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	救助料借用書付あり
1-27-26	記(救助料受取)	明治24年2月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-27	記(救助料受取)	明治24年4月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-28	記(救助料借用)	明治24年10月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平	
1-27-29	記(金子請取)	明治20年12月16日	横切紙	1通	林庸之助→林御主人	
1-27-30	覚(義倉金御渡し依頼)	明治20年4月26日	横切紙	1通	植田孫太郎→林孚一	
1-27-31	記(金子請取)	明治20年12月16日	横切紙	1通	林庸之助→林御主人	
1-27-32	口上(預ケ金石井氏へ御渡し依頼)	明治20年12月31日	横切紙	1通	原田廣四郎→林源十郎	
1-27-33	記(講金受取)	明治19年2月7日	縦紙	1通	賀陽郡惣社村講主赤木朴斎→窪屋郡倉子城村林源十郎	封筒あり(上書)「林源十郎 受領証在口」(裏書)「高尾仙作」
1-27-34	覚(道具代請取)	明治19年10月22日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
1-27-35	覚(道具売却代武儀三郎へ御渡し依頼)	明治19年9月26日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
1-27-36	録(道具代残金受取)	明治19年11月2日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	罫紙
1-27-37	請取証(落札金請取)	明治16年1月3日	横切紙	1通	屋葺恒衛→林源十郎	
1-27-38	記(催合講金受取)	明治19年1月22日	縦紙	1通	子位庄村 窪津大紀→倉敷村林源十郎	罫紙
1-27-39	記(溝堀浚夫賃受取)	明治18年6月10日	横切紙	1通	亀山村右代理受取人平松平八→倉敷本町林	
1-27-40	口上(差引不足金入手)	明治18年10月10日	横切紙	1通	原田廣四郎→林源十郎	
1-27-41	証(石碑代金請取借用)	明治18年6月28日	横切紙	1通	藤田市太郎→林	
1-27-42	明治十八年月給通	明治18年5月8日	横折紙	1通	石坂堅壯	林源十郎の給金預り書付あり
1-27-43	証(金子請取、預り証紛失)	明治17年9月30日	縦紙	1通	室山久三→林源十郎	罫紙
1-27-44	仮証(倉敷分署新築費寄附金半額受取)	明治17年8月	横切紙	1通	発起総代林醇平・木山精一・黒瀬道次郎・木村光太郎	
1-27-45	仮証(警察倉敷分署新築費寄附金受取)	明治17年6月3日	横切紙	1通	発起者総代林醇平・木山精一・黒瀬道次郎・木村光太郎→林源十郎	
1-27-46	仮証(警察倉敷分署新築費寄附金受取)	明治17年6月3日	横切紙	1通	発起者総代林醇平・木山精一・黒瀬道次郎・木村光太郎→林孚一	
1-27-47	仮証(倉敷分署新築費寄附金半額受取)	明治17年8月	横切紙	1通	発起総代林醇平・木山精一・黒瀬道次郎・木村光太郎→林孚一	
1-27-48	記(原田廣四郎指引之金額受取)	明治17年7月14日	縦紙	1通	窪津大紀→林源十郎	
1-27-49	記(原田氏外四名地租割第一期受取)	明治17年8月25日	縦紙	1通	難波茂太郎→林源十郎	罫紙
1-27-50	証(招魂祭永遠継続費金寄附領収)	明治17年4月11日	横切紙	1通	招魂祭結社 幹事→林源十郎	
1-27-51	[物品売渡書付]	明治23年10月15日	縦切紙	1通	石本内 寿夫→林源十郎	罫紙
1-27-52	証(救助料借用)	明治23年11月30日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-53	証(金子借用)	明治23年1月7日	横切紙	1通	甲村孫市→林御主人	
1-27-54	領受証(金子請取)	明治23年9月26日	横継紙	1通	児玉東順→林源十郎	
1-27-55	証(救助料受取)	明治23年11月30日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-56	証(大塚ヨリ出金之無につき救助料借用)	明治23年12月15日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-57	証(救助料受取)	明治23年12月15日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-58	仮受領証(勸業会有志醸金領収)	明治23年2月17日	縦切紙	1通	植田年→林源十郎	
1-27-59	記(借用証)	明治23年2月	横切小切紙	1通	「一、害人」左官藤吉	
1-27-60	株割御出金記(校費株割出金依頼)	明治22年6月30日	縦切紙	1通	岡山薬学校→林源十郎	岡山薬学校専用罫紙
1-27-61	記(預ケ金子差引残請取)	明治22(力)年8月26日	縦切紙	1通	林庸之助→林源十郎	
1-27-62	記(屋葺恒衛構元掛金受取)	明治22年1月1日	縦切紙	1通	該講幹事高尾仙作・江口品次郎→林源十郎	
1-27-63	仮請取証(精思小学校楽器購入義捐金)	明治22年2月19日	縦切紙	1通	石川主一・藤田歳太→林孚一・林源十郎	
1-27-64	仮証(株割御出金受取)	明治22年3月	縦切紙	1通	岡山薬学校→林源十郎	岡山薬学校専用罫紙
1-27-65	証(薬学校維持費株割御出金受取)	明治22年12月22日	横切紙	1通	岡山薬学校 事務職 菅半一郎→林源十郎	
1-27-66	仮証(薬学校別途寄附金請取)	明治22年1月9日	縦切紙	1通	石井辰次郎→林源十郎	
1-27-67	記(頼母志講金受取)	明治22年1月	横切紙	1通	講主 国府次郎→林	
1-27-68	記(仕法講金受取)	明治21年1月9日	横切紙	1通	原田廣四郎→林源十郎	
1-27-69	記(仕法講金受取)	明治21年7月	横切紙	1通	購主 高田謙三郎・三宅庄治郎→林源十郎	
1-27-70	証(救助料受取)	明治24年3月1日	横切紙	1通	林侃一→林源十郎・林醇平・羽栗純次	
1-27-71	請取証(株券登記手数料)	明治21年4月6日	横切紙	1通	山陽鉄道会社会計課→林源十郎	
1-27-72	[登記料及手数料領収書]	明治21年2月6日	横切紙	1通	窪屋郡倉敷登記所→林源十郎	
1-27-73	証(四ツ塚山畑代金受取)	明治21年12月1日	縦紙	1通	森祺二→高橋甫三	
1-27-74	記(趣法講落札金差引受取)	明治21年12月31日	縦紙	1通	松原讓・門野久代理兼 松原昭夫→林源十郎	罫紙
1-27-75	記(催合講落札金請取)	明治21年12月31日	縦紙	1通	高杉一郎→林源十郎	罫紙
1-27-76	証(招魂祭永遠継続費金寄附領収)	明治17年4月11日	横切紙	1通	招魂祭結社 幹事→林孚一	
1-27-77	記(金子請取)	明治17年3月19日	横切紙	1通	津好宗八→林源十郎	
1-27-78	記(金子受取)	明治17年12月31日	横継紙	1通	大塚精一→林源十郎	罫紙
1-27-79	[養生料受取]	年未詳1月25日	縦折紙	1通	宗三代口→林源十郎	
1-27-80	記(金子掌握)	明治17年2月7日	横切紙	1通	大石秀五郎→林	



1-27-81	証(当座預り金受取)	明治17年6月9日	横切紙	1通	第二十二国立銀行→林源十郎	
1-27-82	証(当座預り金受取)	明治17年6月27日	横切紙	1通	第二十二国立銀行→林源十郎	
1-27-83	録(借入金差引過金請取)	明治17年8月23日	横継紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
1-27-84	証(故朗廬阪谷先生建碑資金領収)	明治16年6月1日	19.7×15.2	1通	後月郡梶江村金預人渡辺昌一郎・同郡西江原村山成五兵衛→窪屋郡倉敷村林孚一	印刷物
1-27-85	証(故朗廬阪谷先生建碑資金領収)	明治16年6月1日	19.7×15.2	1通	後月郡梶江村金預人渡辺昌一郎・同郡西江原村山成五兵衛→窪屋郡倉敷村林源十郎・林醇平	印刷物
1-27-86	証(年賦金受取)	明治16年4月3日	横切紙	1通	上田庄介→林源十郎	
1-27-87	請取証(講落札金請取)	明治16年12月30日	縦紙	1通	木村九三郎→林源十郎	
1-27-88	記(催合講落札差引残金受領)	明治16年12月31日	縦紙	1通	羽島村 積尾伝次郎→倉敷村林源十郎	罫紙
1-27-89	記(金子受納)	明治15年2月	横切紙	1通	武守泰治→林御隠居	
1-27-90	記(金子受納)	明治15年2月	横切紙	1通	武守泰治→林	
1-27-91	証(代金受取)	明治15年3月31日	13.0×15.3	1通	道修町三丁目津好宗八→林源十郎	
1-27-92	記(金子請取)	明治15年1月2日	横切紙	1通	植田孫太郎内加藤平吉→元林	
1-27-93	証(頼母志講元掛金受領)	明治15年2月	横切紙	1通	子位庄村林義平→林源十郎	
1-27-94	記(講落札金差引受取)	明治15年12月31日	縦紙	1通	森光太郎→林源十郎	
1-27-95	証(金子請取)	明治15年12月9日	縦紙	1通	木村理吉・証人木山精一→林源十郎	
1-27-96	通知(大阪興亜分会常議員改選につき)	明治14年5月11日	縦紙	1通	第二十二国立銀行→林孚一 会員名簿など同封	罫紙
1-27-97	記(金子請取)	明治14年4月16日	縦切紙	1通	津好宗八・手代元七→林源十郎	
1-27-98	記(本安次郎講金受取)	明治14年8月11日	横継紙	1通	植田甚三郎→林	
1-27-99	記(山本三代治講加入金請取)	明治14年1月23日	横継紙	1通	福田古新田村小野為太郎→林源十郎→木目村石井章二	
1-27-100	受取之証(弁柄代金)	明治14年2月3日	縦紙	1通	吹屋村片山浅次郎代早島新田村片山精吾→倉敷村林源十郎	罫紙
1-27-101	証(金子・地券証受取)	明治14年3月5日	縦紙	1通	平田芳太郎親類笹沖村高戸元徴→林源十郎	
1-27-102	証(割納分金子請取)	明治14年9月11日	横切紙	1通	津好宗八→林源十郎	
1-27-103	記(取替金請取)	明治14年5月15日	横継紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	罫紙
1-27-104	確証(金子受取)	明治14年9月12日	横継紙	1通	木村儀助・上田庄助→林源十郎	
1-27-105	証(催合講得番金受取)	明治13年12月31日	縦切紙	1通	三輪村神々和太郎→林源十郎	
1-27-106	記(預り金請取)	明治13年8月31日	横継紙	1通	木山精一→林源十郎	
1-27-107	記(小作米領収)	明治23年4月4日	横継紙	1通	木山精一→林源十郎	
1-27-108	記(山本三代治講金請取)	明治13年2月5日	縦紙	1通	福田古新田村 小野為太郎→林孚一	
1-27-109	金請取証(行運社株金)	明治13年2月12日	縦紙	1通	行運社々長小松原英太郎代理板野錠平→林源十郎	罫紙
1-27-110	証(金子請取)	明治13年1月13日	半・縦	仮1冊	岸田定八→林源十郎	罫紙
1-27-111	証(預け金差引残金受取)	明治13年2月1日	縦紙	1通	木村理吉・証人木村精一→林源十郎	
1-27-112	証(割納金請取)	明治12年2月8日	横切紙	1通	津好宗八→林源十郎	
1-27-113	受取証(為替金)	明治12年1月29日	縦紙	1通	受取主岸田定八→林源十郎	
1-27-114	証(証書紛失につき受取証差出)	明治11年6月12日	横切紙	1通	内藤段蔵・取次代書兼木山精一→林源十郎	
1-27-115	録(半鐘代金受取)	明治11年11月6日	縦紙	1通	観音院現住巖室弁道→窪屋郡役所	
1-27-116	明治拾七年五月廿二日 壺号 金銭請取帳	明治17年5月22日～9月6日	半・横半折	1冊	植田孫太郎→林源十郎	
1-27-117	証(多田興一より負債受取)	明治10年11月12日	横切紙	1通	黒瀬道次郎→林醇平	罫紙
1-27-118	証(年賦分金子請取)	明治10年9月5日	横切紙	1通	津好宗八→林源重郎	
1-27-119	記(講落札金請取)	明治20年1月19日	横切紙	1通	子位庄村窪津大紀→林源十郎	
1-27-120	金子借用証書	明治10年4月29日	縦紙	1通	借用主北畝村山本三代治→倉敷林源十郎	
1-27-121	明治九年子十二月 趣法金利子請取通	明治9年12月～14年4月	半・横長	仮1冊	植田孫太郎→林源十郎	封筒あり(上書)「明治九年丙子十二月 植田孫太郎 御趣法金利子請取通 林源十郎殿」
1-27-122	記(講金請取)	明治20年1月10日	横切紙	1通	守屋甚三郎→林源十郎	
1-27-123	請負定約之証	明治20年4月13日	半・縦	仮1冊	瓦葺土蔵製調請負人山本房太郎・証人武儀助→林源十郎	罫紙
1-27-124	仮受領証(倉敷電信局創設寄付金)	明治23年10月6日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村長植田年→林源十郎	窪屋郡倉敷村役場用紙
1-27-125	記(金子請取借用)	明治8年2月14日	横切紙	1通	植田甚三郎→林孚一	封筒あり(上書)「植田甚三郎殿証書」
1-27-126	差入申約定書(為替金の返済について)	明治8年9月	縦紙	1通	林孚一・林源十郎→岸田定八御引受	罫紙(証券界紙)
1-27-127	[包紙力]	年月日未詳	縦切紙	1枚		(上書)「仮約定書 岸田定八請取証」
1-27-128	書入申証券(居合金通済について)	明治8年11月19日	縦紙	1通	福田新田北畝山本三代治→倉敷瀬良伝吉	
1-28	幕府代官交代・県令交替録	(明治5年)	半・縦	1冊		罫紙、いわゆる「倉敷県交替録」
1-29	[林孚一書状下書集]	年月日未詳	半・縦	1冊	堀清一郎外34名宛	
1-30	冬川集 一	慶応3年	半・縦	1冊	詠草など 林源介	
1-31	古い日本の開拓者であった医師ジョン・シー・ペリー医学博士のお話	昭和24年2月20日	半・縦	1冊	第二篇 岡山 第一章 玩具の如き家での生活	キャサリン ペリー著 更井美子訳 印刷物(表紙裏)「(昭和二十四年二月二十部発行)」
1-32	[詠草・日記]	嘉永5年～慶応3年	半・縦	1冊	日記は湯原へ湯治のこと	
1-33	役所日記 辛巳之一	明治14年2月24日～12月31日	半・縦	1冊		罫紙
1-34	随聴録	年月日未詳	半・縦	1冊	明治廿五年第四議會々員去就、続義倉記、林氏孺人之墓な	
1-35	恭賀新正	年月日未詳	17.4×48.8	1通	一山昌衛外169名姓名(イロハ順)	印刷物
1-36	鈴木重胤翁消息	明治43年2月15日	半・縦	1冊		印刷物 著作兼発行者 鈴木謙吉
1-37	鈴木重胤先生百年祭記念 林斤二伴臣生涯之心得 養心	昭和38年10月27日	17.2×17.8	5冊	鈴木重胤の遺墨を収めたもの	印刷物 解説 谷省吾
1-38	[桐陰林翁旌徳碑 拓本]	年月日未詳	折本	1冊		
1-39	[林先生甲墨書]	年月日未詳	13.2×33.5	1枚	「記曾昔…」	付紙あり「林源十郎詠史」

1-40	〔臥虎山人漢文〕	嘉永2年12月	180.8×46.0	1枚	「黄備上成…」	(端書)「晚翠亭記」
1-41	〔帳面断簡〕	年未詳	豎紙	1枚	白紙	印刷物 解説 谷省吾
1-42	梧蔭林君墓碣	(明治29年11月)	45.5×30.4	1重ね(13枚)	西毅一撰の墓碣と人物写真	印刷物 13枚同じものが入っている
1-43	明治三年八月ヨリ明治五年十月迄 梧蔭居日記 全七冊之第一巻	明治3年8月～5年10月	半・豎	1冊		罫紙
1-44	明治六年一月ヨリ明治十二年八月迄 梧蔭居日記 全七冊之第二巻	明治6年1月～12年8月	半・豎	1冊		罫紙
1-45	明治十二年八月ヨリ明治十五年十二月迄 梧蔭居日記 全七冊之第三巻	明治12年8月～15年12月	半・豎	1冊	明治13年9月28日～12月31日欠	罫紙
1-46	明治十六年一月ヨリ明治十八年十二月迄 梧蔭居日記 全七冊之第四巻	明治16年1月～18年12月	半・豎	1冊		罫紙
1-47	明治十九年一月ヨリ明治二十一年十二月迄 梧蔭居日記 全七冊之第五巻	明治19年1月～21年12月	半・豎	1冊		罫紙
1-48	明治二十二年一月ヨリ明治二十四年十月迄 梧蔭居日記 全七冊之第六巻	明治22年1月～24年10月	半・豎	1冊		罫紙
1-49	明治二十四年十月ヨリ明治二十五年九月迄 梧蔭居日記 全七冊之第七巻	明治24年10月～25年9月	半・豎	1冊		罫紙
2-1	〔林孚一古稀関係書類〕	文久2年8月～明治13年3月		1括(16通3枚1包)		2-1-1～20一括
2-1-1	〔帯封〕	年月日未詳	6.1×31.1	1枚		(帯封上書)「孚一様 古稀 傘寿御祝」
2-1-2	借用証文之事	文久2年8月	豎継紙	1通	借主柳田村与一右衛門・親類同周造・右地所支配人同桑八・証人木目村寛二→倉鋪児島屋光太郎	(奥書)「稗田村名主 保太郎・同善次郎→宛名なし」
2-1-3	〔包紙〕	年月日未詳	豎紙	1枚		包紙のみ(上書)「祝詞」
2-1-4	〔林孚一の古稀の祝辞〕	明治13年3月13日力	豎紙	1通	石川湛	
2-1-5	〔林翁八旬ノ賀誕開催の通知〕	明治23年3月13日	豎紙	1通	植田年	
2-1-6	祝辞	明治17年4月16日	豎紙	1通	辱友高尾仙作 林孚一八十歳の祝辞	
2-1-7	〔祝詠の長歌・短歌〕	年月日未詳	豎紙	1通	植田口年	包紙あり(上書)「上 祝詠長歌并短歌」
2-1-8	〔林孚一八十歳の祝辞〕	庚寅(明治23)年3月13日	豎紙	1通	辱知 生枕水岸鼎	
2-1-9	祝詞	明治23年3月13日	横折紙	1通	安田右平 林孚一八十歳の祝詞	
2-1-10	〔林孚一八十歳を祝う賦〕	庚寅年3月力	豎紙	1通	辱知 梧李学人貞固	
2-1-11	〔高尾仙作外祝辞〕	明治23年3月力		1包(2通)		2-1-11-1～2一包 包紙あり(上書)「祝辞」
2-1-11-1	奉賀林太翁八十之寿齡	年月日未詳	豎紙	1通	秋岡素平	罫紙
2-1-11-2	〔林孚一八十歳の祝辞〕	明治23年3月13日	豎紙	1通	高尾仙作謹白	
2-1-12	〔封筒〕	年月日未詳	20.7×7.5	1枚		封筒あり(上書)「窪屋郡倉敷村林孚一殿 妻木狷介 野崎万三郎 新展」(裏書)「風呂敷巴壺ツ添」
2-1-13	奉祝(短歌)	年月日未詳	豎紙	1通	惟亮上	
2-1-14	謹賀 林翁寿齡	明治23年3月13日	横継紙	1通	西山澄 漢詞	包紙あり(上書)「祝詞」
2-1-15	〔林孚一宛中村正蔵漢詩送状〕	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	中村正蔵→林孚一	封筒あり(上書)「備中倉敷本町林源十郎様 要用至急」(裏書)「讃岐鶴足郡土居村中村正蔵 三月七日投函」別紙漢詞1枚あり「讃岐中村桑→仙松松翁」
2-1-16	〔林孚一八十歳の祝詠〕	23年3月13日力	横継紙	1通	大阪寓 佐々井徹	封筒あり(上書)「窪屋郡倉敷村妙見山閣耕楼 本日御賀宴幹事御中」岡山市門屋敷宇津木口吉方ニテ 佐々井徹 三月十三
2-1-17	祝辞	明治23年3月13日	豎紙	1通	風早雲嶂 林孚一八十歳の祝辞	包紙あり(上書)「祝辞」
2-1-18	奉賀	年月日未詳	横切紙	1通	大橋五郎再拜	包紙あり(上書)「奉賀 大橋五郎」
2-1-19	寿(林孚一の八十歳を祝したもの)	年月日未詳	横切紙	1通	七十七齡 本城口	
2-1-20	〔林孚一宛野崎武吉郎書状〕	23年3月21日	横切紙	1通	祝の品(末広・生鯛外)送付	封筒あり(上書)「林孚一様 御侍史」(裏書)「野崎武吉郎 二十三年三月廿一日」
2-2	〔神社関係文書外一括〕			1括(25通仮7冊2袋1括り)		2-2-1～35一括
2-2-1	〔神社関係文書外一括〕			1袋(6通仮1冊)		2-2-1-1～7一袋 白封筒入り 白封筒の中に二重に封筒あり(白封筒上書)「(鉛筆)神社関係文書 倉敷市か」(外封筒上書)「林源十郎様 差上置」(外封筒裏書)「植田年」(内封筒上書)「県社願之草稿」
2-2-1-1	〔林宛植田年書状〕	年未詳1月28日	横切紙	1通	県社加列願添書類の返上について	
2-2-1-2	〔阿知神社県社加列願〕	年月日未詳	豎紙	1通		罫紙
2-2-1-3	足高神社県社列御願	明治11年9月20日	半・豎	仮1冊	足高神社祠官井上泰憲・祠官惣代西山茂・氏子惣代筒井桑三郎・小野円之助・戸長神崎貞三郎→岡山県令 高崎五六	(奥書)「区長 林孚一→宛名なし」(奥書)「書面願之趣聞届候事 明治十二年四月廿九日 岡山県令高崎五六」窪屋郡葦高村役場罫紙
2-2-1-4	阿知神社由緒	年月日未詳	豎紙	1通		罫紙
2-2-1-5	〔阿知神社県社加列願〕	年月日未詳	横切紙	1通		
2-2-1-6	書付(神社祭神・境内・建物等について)	年月日未詳	横継紙	1通	「窪屋郡倉敷産土神」外	
2-2-1-7	〔阿知神社県社加列願外〕	年月日未詳	豎紙	1通(2枚)	阿知神社の祭神・本社についての記述等あり	罫紙
2-2-2	〔金子借用書外一括〕	安政5年5月～明治5年8月		1括り(8通1包)		2-2-2-1～9一括り 綴じ紐あり
2-2-2-1	〔金子借用書〕	年未詳11月21日	横折紙	1通	原宗平	

2-2-2-2	預証文之事	文久3年3月25日	縦継紙	1通	預り主大坂屋源介・証人淡路屋与右衛門→植田助右衛門	包紙あり(上書)「文久三年癸亥三月廿五日 大坂源介 御隠居御名跡金預手形書通 有良能舎当」
2-2-2-3	書付(買物代借用)	明治〇年11月	縦継紙	1通	借主勝田頼造→種玉堂	包紙あり(上書)「上 書附 巻札」虫損あり
2-2-2-4	記(金子請取)	年未詳8月5日	横切紙	1通	中野屋→林	
2-2-2-5	差入申証書之事	明治5年8月	縦紙	1通	菓種代金支払の件 備後粟田村本人京川大玄・同請人笹尾平兵衛・同川西村証人藤川熊吉→備中倉敷大阪屋源助	包紙あり(上書)「証文書通」(裏書)「明治五年壬申八月 備後ぬ可郡 本人京川・受人笹尾・証人藤川」
2-2-2-6	借用申金子之事	明治2年12月	縦紙	1通	借主木目村寛二・証人借家甚五郎→倉敷大阪屋源介	包紙あり(上書)「明治二年己巳十二月廿七日 証書一通 午七月切 木目 寛二」
2-2-2-7	預り証文之事	安政5年5月	横切紙	1通	預主沢屋善平・大坂屋源介・証人さめき屋与右衛門→植田助右衛門	封筒あり(上書)「板屋与八郎名跡金預 植田助右衛門跡当案文沢屋善兵衛殿 大坂屋源介 謹岐与右衛門」
2-2-2-8	金子借用証文之事	文久3年7月	縦切紙	1通	木目村寛二→倉敷大阪屋源介	包紙あり(上書)「文久三亥七月 証文書通 木目寛二」
2-2-2-9	[年賦証文外一括]	慶応4年4月		1包(3通)		2-2-2-9-1~3一包 包紙あり(上書)「福山土居屋 房助年賦証
2-2-2-9-1	差入申年賦証文之事	慶応4年4月	縦紙	1通	借主土居屋房助・証人義三郎→大坂屋源助	
2-2-2-9-2	口上之覚(金子借用金払い入れ方)	慶応4年4月	縦紙	1通	福山吉津町土居屋房助→大坂屋源助	
2-2-2-9-3	年賦金割合書之事	慶応4年4月24日	縦紙	1通	借主土居屋房助・同証人→大坂屋源助	
2-2-3	質入申田并建家之事	明治5年1月	縦継紙	1通	借主大橋善兵衛・証人林孚一→林正太郎	包紙あり(上書)「証文書通」(奥書)「庄屋 大橋平蔵→宛名な封筒あり(上書)「講主 西山澄 明治六年癸酉一月 催合講金取引通 林源十郎殿」
2-2-4	催合講金取引通	明治6年1月	美・横長	仮1冊	溝手萬三外3名→林源十郎	封筒あり(上書)「和田〇〇・幹事 趣法講金請取通 林源十郎様」(裏書)「明治十六年四月」虫損あり
2-2-5	趣法講金請取通	明治16年	美・横長	仮1冊	講主和田行蔵・幹事惣代木村光太郎・窪津大紀→林源十郎	封筒あり(上書)「和田〇〇・幹事 趣法講金請取通 林源十郎様」(裏書)「明治十六年四月」虫損あり
2-2-6	椀(力)講掛金御通	明治12年12月	横折紙	1通	〇〇福屋甚十郎→林御氏	
2-2-7	講銀受取通	嘉永元年1月	美・横長	仮1冊	林俊蔵→大坂屋源十郎	帯封あり(上書)「嘉永元申巻月 川升 林 講銀受取通 大坂屋源十郎様」
2-2-8	証(金子受取)	年未詳11月4日	横切紙	1通	四神殿修繕費外 小田県教院会計課→林源十郎	
2-2-9	請取通	丁未年9月	美・横長	仮1冊	誓願寺→大坂屋源十郎	封筒あり(上書)「誓願寺 通 大坂屋源十郎殿」
2-2-10	請取通	丁未年9月	美・横長	仮1冊	誓願寺→大坂屋源十郎	封筒あり(上書)「誓願寺 通 大坂屋源十郎殿取次」
2-2-11	記(撰米百石預り証券)	癸酉年11月19日	縦切紙	1通	林孚一→児原常三取次	
2-2-12	講金請取渡通	明治20年5月	美・横長	仮1冊	児島輝太郎→林源十郎	封筒あり(上書)「児島 明治廿年講通袋 林様」
2-2-13	共同蓄積会積金受領之証	明治19年4月	縦紙	1通	会主高尾右平次→窪屋郡倉敷村林孚一	封筒あり(上書)「金主 高尾右平治 明治十九年四月 共同蓄積会通 林孚一殿」
2-2-14	講金受取通	明治12年12月	横折紙	1通	誓願寺→林孚一	
2-2-15	醸金受取通	明治15年9月	美・横長	仮1冊	終要社幹事→林孚一	封筒あり(上書)「壬子九月 終要社 通袋 林孚一殿」
2-2-16	[詠草]	明治25年	縦紙	1枚	「御歌会 日出山」として短歌二首あり	(封筒上書)「竹原十郎摺 同十二行 半紙八行」
2-2-17	[和歌事書]	年月日未詳	17.8×17.4	1通	廿四番	色紙 2-2-18の事書
2-2-18	[歌合わせ短歌二首]	年月日未詳	17.8×17.4	1通	「夜旅」廿四番 左秋郎 右あい子	色紙
2-2-19	[和歌事書]	年月日未詳	17.8×17.4	1通	七番	色紙
2-2-20	[和歌二首]	年月日未詳	17.8×17.4	1通	「窓月」七番 左秋郎 右光子	色紙
2-2-21	覚(金子預り)	年未詳10月26日	横継紙	1通	和氣屋竹蔵→菱屋 藤次郎	
2-2-22	覚(金子請取)	年未詳7月13日	横切紙	1通	よしま屋吉右衛門→正持	
2-2-23	[長涼(纏)お渡し依頼]	年未詳2月9日	横折紙	1通	倉しきにて高松ノ陶浜→中島ノ播磨林七	
2-2-24	記(金子借用)	年月日未詳	横折紙	1通		
2-2-25	[御主人宛ふ口書状]	年未詳10月1日	横切紙	1通	通商の金250両について	(上書)「御主人様 ふ口 玉座下」(裏書)「略封御仁免可被下
2-2-26	覚(代銀請取)	酉年12月	横切紙	1通	翁屋嘉助→森田	
2-2-27	覚(釘外代銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通		
2-2-28	覚(ちようず鉢外代金算用書)	年未詳1月27日	横折紙	1通	増田屋喜之介→板屋	
2-2-29	覚(初縁外代金書付)	辰年〇月27日	横切紙	1通	宇治菱屋藤右衛門→宗澤屋仁兵衛	
2-2-30	証(細布添状)	年未詳12月2日	横切紙	1通	難波殿・御隠殿 松原長太夫→佐藤理三郎	
2-2-31	口上(金子御渡依頼)	年未詳10月29日	横継紙	1通	大島屋仲二→林	包紙あり(上書)「十月廿九日出 倉敷本町林様 笠岡二而大島屋仲二」
2-2-32	覚(御茶・めし代外代金請取)	年未詳11月28日	横継紙	1通	よし吉→お客様	
2-2-33	御請書(金子預り)	丙子年7月7日	横切紙	1通	黒瀬道次郎→林源十郎	
2-2-34	謝書(書籍返却について)	明治9年8月	縦紙	1通	大野穰→林氏内代理林徳三郎	
2-2-35	申上(金子について)	年未詳10月25日	縦切紙	1通	仲二→林	包紙あり(上書)「林様 笠岡二而仲二 十月廿五日出」
2-3	[林源十郎宛書状外一括]	嘉永6年~明治 年		1括(27通4袋1括り1包)		2-3-1~33一括
2-3-1	[金子請取証外一括]	嘉永6年12月~明治7年12月		1包(2通)		2-3-1-1~2一包 包紙あり(上書)「御請入」
2-3-1-1	証(金子受取)	明治7年12月27日	縦紙	1通	榊原伊助代理岡本弥兵衛→林源十郎	
2-3-1-2	差入申一札之事	嘉永6年12月	縦切紙	1通	講銀差出について 粒浦利太郎→倉敷沢屋善兵衛	
2-3-2	記(金円受取)	乙亥年9月3日	横切紙	1通	義倉年番井上亮三→林源十郎	
2-3-3	[御旦那宛てる書状]	年月日未詳	横継紙	1通		
2-3-4	[書状]	年未詳9月2日	横継紙	1通	返事が遅れた事に対するお詫び等	
2-3-5	[若旦那外1名宛春助書状]	年未詳1月11日	横継紙	1通	お伺いできなかった事についてのお詫び等	封筒あり(上書)「槇野屋二而尊若旦那様 貴下 [ ]屋春介様」(裏書)「午後第七時」

2-3-6	[中川馬嶺宛岡屋忠左衛門書状]	年未詳9月28日	横継紙	1通	藤江松衛という書家について	封筒あり(上書)「東讃高松新長家町 中川馬嶺様 岡屋忠左衛門 平安梧下」封筒裏書あり(端裏書)「中川好行」
2-3-7	[林若旦那宛春介書状]	戌年1月11日	横継紙	1通	金子借用の件について	封筒あり(上書)「榎野屋ニ而林若旦那様 口口屋春介足下」
2-3-8	[松葉屋友蔵宛岡屋忠左衛門外1名書状]	年未詳2月15日	横継紙	1通	京都小菅喜七という表具師について	
2-3-9	[大源殿御代理宛高田隼書状]	年未詳3月17日	縦紙	1通	書籍代について	
2-3-10	[村屋宛小玉書状]	年月日未詳	横継紙	1通		
2-3-11	[藤江宛安德書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	隷書揮毫依頼について	(上書)「藤江君足下 安德様 紙添」
2-3-12	[林源十郎宛書状外一括]			1袋(2通2袋)		2-3-12-1~4一袋 白封筒入り
2-3-12-1	記(ガルハエレキ外代金支払願)	10年2月3日	横継紙	1通	エレキ器械師宮政克己→林源十郎	
2-3-12-2	[林源十郎・淳平宛竹内隼太・要助書状外]	年未詳5月15日~21日		1袋(2通)		2-3-12-2-1~2一袋 封筒あり(上書)「備中倉敷 林源十郎様 平安信」(裏書)「五月廿一日 備後尾道 竹内隼太」
2-3-12-2-1	[林源十郎・淳平宛竹内隼太・要助書状外]	年未詳5月21日	横切紙	1通	椽尻回金受取	
2-3-12-2-2	記(水製器械代価請取)	年未詳5月15日	横切紙	1通	竹内二郎	
2-3-12-3	[林源十郎宛林外江書状]	年未詳9月28日	縦紙	1通	金子請取外について	包紙あり(上書)「倉舗 林源十郎様 成羽林外江 要用書 平
2-3-12-4	[林源十郎宛林外江書状]	年未詳12月20日~21日		1袋(2通)		2-3-12-4-1~2一袋 封筒あり(上書)「倉敷ニテ林源十郎様 笠岡製糸場 林外江 待史」(裏書)「十二月廿一日」
2-3-12-4-1	[林源十郎宛林外江書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	金子借用願外	
2-3-12-4-2	副書	年未詳12月21日	横切紙	1通	「山蚕養法」外の出版について 林外江→林源十郎	
2-3-13	取替金請取証	明治8年12月30日	縦紙	1通	酒津村都志一郎→倉敷林源十郎	封筒あり(上書)「黒瀬様 原田広四郎 御依頼書」(裏書)「(朱書)証出不房二付定約書兼受取証」
2-3-14	誌(森田翁招魂碑建築地料受取)	年未詳8月19日	横継紙	1通	教善寺住職諦住→林源十郎	罫紙
2-3-15	記(撰米質入)	癸酉年5月29日	横切紙	1通	協同社→大橋精二	「月番林孚一」の裏書あり
2-3-16	取替金受取証	明治8年12月30日	縦紙	1通	中島村白神佐一郎・倉敷証人木山精一・同黒瀬与三郎・同江口千代吉→倉敷村林源十郎	包紙あり(上書)「年賦定約証 受取書 白神佐一郎 書通」
2-3-17	請取証	明治15年6月	横切紙	1通	頼母子講金員受取主舟越秋夫・世話人多田与一→林源十郎	
2-3-18	講金御加入仮請取証	明治15年8月	横切紙	1通	講主林正太郎→林源十郎	
2-3-19	[石坂講関係覚外一括]	安政2年1月8日		1袋(3通)		2-3-19-1~3一袋 封筒あり(上書)「石坂氏 頼母子講寄(力)取渡方請取書在中 安政二卯壱月八日」
2-3-19-1	覚(石坂氏講卯年割戻し金預り)	乙卯年1月8日	横切紙	1通	金主文介→大阪屋源介	
2-3-19-2	覚(石坂講割戻り銀受取)	安政2年12月8日	横切紙	1通	東大橋→本町大阪屋	
2-3-19-3	覚(金子請取)	年未詳12月8日	横切紙	1通	祐安屋章介・児島屋和右衛門→大阪屋源介	
2-3-20	覚(六国史拝借)	申年9月22日	横切紙	1通	堀清一郎→御郷校 御掛	包紙あり(上書)「明倫館六国史 惣社堀清一郎 取替候願書
2-3-21	[田地年貢勘定書]	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷 林源八	
2-3-22	亀山村御年貢米請取通	元治元年11月	横継紙	1通	庄屋見習栄太郎・同後見平松六郎右衛門→倉敷村大坂屋源	
2-3-23	[西山澄講払い出し金計算書]	明治18年力	横切紙	1通		(上書)「協同社儀介様 陶浪保太」罫紙
2-3-24	[癸酉租税皆済金外書付一括]	成年力		1括り(7通)		2-3-24-1~7一括り 綴じ紐あり
2-3-24-1	[平田芳太郎分癸酉山畑租税村費共書付]	戌年3月12日	横切紙	1通	「一. 八拾三錢五厘七毛 平田芳太郎」	
2-3-24-2	[癸酉御租税皆済金書付]	戌年3月12日	横切紙	1通	「一. 金廿八錢八厘六毛 平田芳太郎」	
2-3-24-3	[癸酉水夫御役金書付]	戌年3月12日	横切紙	1通	「一. 金拾錢八厘五毛 林文二」	
2-3-24-4	[癸酉山畑租税村費共書付]	戌年3月12日	横切紙	1通	「一. 貳錢七厘五毛 林文二」	
2-3-24-5	[癸酉田租税皆済金書付]	成年力	横切紙	1通	「一. 金壹円三錢六厘三毛 林正太郎」	
2-3-24-6	[癸酉山畑租税村費共書付]	成年力	横切紙	1通	「一. 六錢壹厘三毛 林源十郎」	
2-3-24-7	[癸酉御租税皆済金書付]	成年力	横切紙	1通	「一. 金廿九錢五厘八毛 林源十郎」	
2-3-25	差入申一札之事	明治4年7月	横継紙	1通	金子落手 興行主 中野屋茂吉・証人 備中屋嘉吉→地蔵院・林御氏	包紙あり(上書)「上 (朱書)「中野屋茂吉」」
2-3-26	[活版関係代金請取書一括]			1袋(3通)		2-3-26-1~3一袋 封筒あり(上書)「小田県官員 河野節造 活版代金受取」
2-3-26-1	記(活版摺立紙代料請取)	9年11月8日	縦紙	1通	元活版局掛り 多田省一→林孚一	小田県専用罫紙
2-3-26-2	記(活版器械代請取)	明治9年2月10日	縦紙	1通	多田省一→林孚一	小田県専用罫紙
2-3-26-3	記(器械代外代金書付)	明治9年1月22日	縦紙	1通	河野節造→林孚一	
2-3-27	御下ヶ金内受取書之事	壬申年9月28日	縦紙	1通	(受取人)原田仲次→林源十郎	罫紙
2-3-28	記(英和辞典請取)	酉年6月28日	横切紙	1通	鳥屋吉兵衛→大阪屋源十郎	
2-3-29	寄瓢智仁勇	年月日未詳	横切紙	1通		(端裏書)「トヨトミ」(裏書)「君」
2-3-30	[藤田長大夫宛奥村官蔵外一名書状]	年未詳11月9日	横折紙	1通	短冊5枚の取計らいについて	
2-3-31	[金子請取証外一括]	明治		1袋(31通)		2-3-31-1~31一袋 (上書)「請家 請取証書」「備中倉敷板屋」の印あり
2-3-31-1	覚(金子入手紙受取)	子年8月25日	横継紙	1通	まつや政治→本大坂屋	
2-3-31-2	仮請取(負債残金之内受取)	明治9年8月31日	横切紙	1通	黒瀬道次郎→林源十郎	
2-3-31-3	記(年貢請取)	明治6年1月29日	横切紙	1通	会所→林	
2-3-31-4	記(金子勘定)	乙亥年8月18日	横切紙	1通	山川伝(力)蔵→林	
2-3-31-5	覚(金子受取)	亥年1月4日	横切紙	1通	木山精一→林源十郎	(上書)「林源十郎様」
2-3-31-6	証(金子請取)	年未詳5月15日	横切紙	1通	十六丸 源助→林氏	(上書)「林氏様」
2-3-31-7	記(小栗氏預金利子受取)	明治8年8月3日	横継紙	1通	同氏会計関り木山精一→林源十郎	
2-3-31-8	記(林源十郎預ヶ金之内請取)	明治8年12月17日	横継紙	1通	高梁加治町大和屋喜代→倉敷本町木綿屋徳三郎	
2-3-31-9	記(金子請取)	亥年8月23日	横切紙	1通	木綿屋 理吉→林	

2-3-31-10	記(金子書入依頼)	甲戌年2月13日	横切紙	1通	植田方忠→林	
2-3-31-11	記(金子請取・精算依頼)	戌年1月13日	横切紙	1通	小野蔚→林源十郎	包紙あり(上書)「請取書」
2-3-31-12	覚(金子請取)	亥年10月22日	横切紙	1通	和泉国熊の町脇回(力)喜八郎→林源十郎	
2-3-31-13	[屋賃受取書付]	年月日未詳	縦切紙	1通		宛名・差出人なし
2-3-31-14	記(戌年利足請取)	亥年1月28日	横切紙	1通	小野蔚→林源十郎	包紙あり(上書)「請取書」
2-3-31-15	[有城村久右衛門・三郎右衛門呼出状]	年未詳6月8日	横継紙	1通	倉敷県鞆口掛→右役人	
2-3-31-16	記(帯江長瀬氏癸酉年利足之内請取)	明治7年1月20日	横切紙	1通	小野蔚→林源十郎	包紙あり(上書)「請取書」
2-3-31-17	仮証(孚一より御負債御弁金受取)	明治9年11月30日	横切紙	1通	黒瀬道次郎→林源十郎	
2-3-31-18	覚(金子受取)	申年4月2日	横継紙	1通	道二郎→林	
2-3-31-19	記(講掛金受取)	年未詳8月20日	横切紙	1通	亀山村小村喜作→林源十郎	
2-3-31-20	記(戌年利息請取)	乙亥年1月26日	横切紙	1通	小野蔚→林源十郎	包紙あり(上書)「請取書」
2-3-31-21	覚(金子受取)	戊辰年12月5日	横切紙	1通	西坂(力)屋牧右衛門→江口屋千代吉	
2-3-31-22	記(講割辰金請取)	戌年5月25日	横切紙	1通	亀山村小林喜作→林源十郎	
2-3-31-23	覚(代金勘定)	辛未年7月	横継紙	1通	差出人不明→大坂屋	
2-3-31-24	[金子借用依頼]	年未詳8月15日	縦紙	1通	郡屋にて八藤太→大坂屋	(上書)「大坂屋様 郡屋二而八藤太 貴下内用書」
2-3-31-25	記(金子請取)	丑年2月9日	横継紙	1通	原田広四郎→林源十郎	
2-3-31-26	記(西郡守安氏取替金之内受取)	明治7年9月24日	横切紙	1通	石井又三郎→林孚一	
2-3-31-27	記(金子請取)	戌年3月18日	横切紙	1通	中村店→植田	
2-3-31-28	覚(賄料外請取)	子年3月	縦切紙	1通	芳橋楼吉右衛門→佐藤利三郎	
2-3-31-29	証(衣類御売代金預り)	亥年12月20日	横切紙	1通	黒瀬道二郎→林源十郎	
2-3-31-30	覚(宿料受取)	申年5月3日	縦紙	1通	水沼勘左衛門→佐藤利三郎	
2-3-31-31	記(小学校積立金端金請取)	戌年2月13日	横切紙	1通	木村光太郎→林源十郎	(上書)「林源十郎殿」
2-3-32	記(慶夜新文百六部受取)	年未詳10月13日	横切紙	1通	本城朝夫→林源十郎	
2-3-33	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	三宅氏己之一軸の内容等について	
2-4	[諸書類]	弘化2年～明治6年		1括り(73通13冊)		2-4-1～86一括り
2-4-1	覚(金子預り)	壬申年4月1日	横切紙	1通	四書五経代金 明義堂→大源	
2-4-2	差入申証書之事	明治元年12月	縦紙	1通	薬種代割払について 借主山根屋与十郎外1名→大坂屋源介	包紙あり(上書)「明治元辰十二月 金廿六両証文 山根屋与十郎 明治二年巳正月三月限」
2-4-3	覚(代金落手)	子年12月	横切紙	1通	当子暮御掛銀 上三和加藤杏齋→倉敷本町林源助	
2-4-4	覚(金子算用書)	年月日未詳	横切紙	1通	相続銀につき	
2-4-5	覚(代金受取)	年未詳4月1日	横切紙	1通	板屋政太郎→大坂屋	
2-4-6	覚(代金受取)	年未詳5月4日	横切紙	1通	板屋政太郎→薬大坂屋	
2-4-7	覚(薬種代勘定期限)	年未詳9月5日	横切紙	1通	渡辺→大源	
2-4-8	質入金子借用証文之事	嘉永6年11月	縦紙	1通	金12両、質物業預帳5冊 質主実屋幸右衛門・証人大坂屋源介→吉井屋小右衛門	包紙あり(上書)「嘉永六丑十一月 薬種帳質入証文一通」
2-4-9	[大坂屋・吉井屋貸借関係書類]	嘉永～安政		1袋(5通)		2-4-9-1～5一袋 封筒あり(上書)「実屋孝右衛門 売薬帳面典物二而借用致タル証書」
2-4-9-1	借用申金子之事	嘉永7年12月5日	縦紙	1通	金12両、売薬帳面差入 借主大坂屋源介外1名→吉井屋幸右衛門	
2-4-9-2	借用申金子之事	安政2年11月	縦紙	2通	金12両、売薬帳面差入 借主大坂屋源介外1名→吉井屋小右衛門	
2-4-9-3	覚(利金受取)	寅年3月7日	横切紙	1通	吉井屋 小右衛門→大坂屋源助	
2-4-9-4	覚(金子受取)	午年1月10日	横切紙	1通	吉井屋 小口→大坂屋源助	
2-4-9-5	覚(利息受取)	年未詳12月2日	横切紙	1通	吉井屋→大坂屋	
2-4-10	[森田節齋墓石関係書類]	亥年		1袋(2通)		2-4-10-1～2一袋 封筒あり(上書)「戸川家へ相渡候金子受取并二右関係書類在中」
2-4-10-1	記(石代金など書上)	亥年8月	横切紙	1通	森田先生石塔代金 石屋恒松→林	
2-4-10-2	覚(代金請取)	年未詳2月8日	横切紙	1通	涼廬ツクロイ代等 陶浜→大坂屋源介	
2-4-11	覚	辰年6月7日	横切紙	1通	借金返済につき 長瀬景二郎→大坂屋	
2-4-12	覚(金子請取)	丑年正月4日	横切紙	1通	金100両 成拝屋与三右衛門→大坂屋素介	
2-4-13	質入申水夫屋敷并建家之事	明治4年12月	縦継紙	1通	本町北側水夫屋敷1畝6歩および建家1か所、質金140両 質入主今崎や五平→親族今崎や弥平→大坂屋文二	
2-4-14	覚(金子請取)	未年9月2日	横切紙	1通	松山永銭144匁 岡田庄屋→倉敷大坂屋	
2-4-15	覚(講銀算用)	丑年11月	横切紙	1通	粒浦権四郎→大坂屋源介	
2-4-16	覚(講銀書上)	申年	横継紙	1通		
2-4-17	覚(講銀算用)	亥年11月	横継紙	1通	小川	
2-4-18	酉年勘定	酉年	横継紙	1通		
2-4-19	[入札書類]	寅年	横継紙	2通		
2-4-20	覚(講金請取)	午年正月	横切紙	1通	講主冬輔→林源介	
2-4-21	覚(講金受取)	戊辰年1月29日	横切紙	1通	講主冬輔→林源介	
2-4-22	覚(講金受取)	丙寅年1月晦日	横継紙	1通	講主冬輔→林	
2-4-23	記(講銀分配)	酉年9月3日	横継紙	1通	猶吉講世話方→林	
2-4-24	覚(講金請取)	巳年正月28日	横継紙	1通	講主冬輔→林源介	
2-4-25	覚(講銀算用)	年未詳6月	横切紙	1通	直介→各様	

2-4-26	記(趣法講掛金請取)	慶応元年12月	横切紙	1通	守谷与介→林源介	
2-4-27	記(催合講掛金受取)	甲戌年8月28日	横継紙	1通	神崎貞三郎→林源十郎	
2-4-28	六会月落札	年月日未詳	横継紙	1通	講金算用	
2-4-29	己巳年未進	年月日未詳	15.7×11.8	仮1冊	小作米力	罫紙
2-4-30	覚(申正月割戻し指引残金送付)	申年2月3日	横切紙	1通	酒津誠治→林源十郎	
2-4-31	覚(講金受取)	卯年2月6日	横切紙	1通	講主冬助→林源介	
2-4-32	記(講銀算用)	子年8月17日	横折紙	1通	山北三輪村加藤 杏部講 中村永太郎 金預り惣代→倉敷	
2-4-33	覚(講銀算用)	卯年2月9日	横継紙	1通	染次→源介	
2-4-34	[林源介宛加藤杏齋書状]	年未詳12月9日	横継紙	1通	講会案内	
2-4-35	覚(金子借用依頼)	年未詳8月27日	横切紙	1通	銭屋紋次郎→さね屋 辰蔵	
2-4-36	覚(趣法講掛銀請取)	亥年12月	横継紙	1通	講主加藤杏齋・銀預り惣代 中村永太郎→林源介	
2-4-37	[講金算用]	子年11月26日	横切紙	1通	講主冬輔→宛名なし	
2-4-38	記(講金割戻)	戌年4月26日	横切紙	1通	講主誠治→林	
2-4-39	覚(講金落札)	子年1月3日	横切紙	1通	粒浦権四郎→大阪屋源介	
2-4-40	[借用手形]	万延2年2月		1包(2通)		2-4-40-1~2一包 包紙あり(上書)「万延二年酉 手形書通」
2-4-40-1	借用手形之事	万延2年2月	横継紙	1通	319匁 借用主丹波屋松助→大坂屋源助	
2-4-40-2	借用申手形之事	万延2年2月	縦紙	1通	金95両 借用主丹波屋松助・同親政吉→大坂屋源助	
2-4-41	覚(難渋人助情方出金請取)	寅年7月9日	横切紙	1通	金10両 倉敷村役人惣代原唯介・勝之丞・仁左衛門→大坂屋源介	
2-4-42	覚(金子受取)	年未詳1月2日	横切紙	1通	金300両 橋本屋善吉→大坂屋	
2-4-43	[金子請取証]	年未詳4月23日	横継紙	1通	大介→大阪屋	
2-4-44	覚(金子受取)	巳年7月13日	横切紙	1通	板屋謙次→大阪屋源介	
2-4-45	覚(金子受取)	文久3年12月24日	横継紙	1通	30両 本城新兵衛→林源介	包紙あり(上書)「受取書 書通 本城新兵衛」
2-4-46	覚(漆器代金)	丑年11月	横継紙	1通	八松木屋→大坂屋源助	
2-4-47	[金子預り外一括]	明治1年		1包(2通)		2-4-47-1~2一包 包紙あり(上書)「書付入 国重屋弁次郎」
2-4-47-1	覚(国重屋弁治郎の借金について)	未年1月25日	横切紙	1通	新見新町梶屋栄三郎→大坂屋源助	
2-4-47-2	覚(金子預り)	明治1年11月	縦継紙	1通	金28両 新見新町国重屋弁治郎→大阪屋源介	
2-4-48	[書付]	壬戌年9月25日	横切紙	1通	大坂屋源助 水夫屋敷銀	
2-4-49	[金子借用覚]	文久3年12月		1包(2通)		2-4-49-1~2一包 包紙あり(上書)「文久三癸亥十二月 金壹両 証書一通 播州竜野御藩中 柴原順次様」
2-4-49-1	覚(金子借用)	文久3年12月	横切紙	1通	柴原順次→大阪屋源介	
2-4-49-2	覚(金子借用)	文久3年12月	横切紙	1通	柴原順次→大阪屋源介	
2-4-50	借用申金子之事	慶応3年1月	縦切紙	1通	大阪屋素介→大阪屋源介	包紙あり(上書)「慶応三年 金百両手形一通」
2-4-51	銀子借用証文之事	明治元年6月1日	縦紙	1通	銀札400目 亀山村借用主孫太郎・同村証人忠右衛門→倉敷村大坂屋	包紙あり(上書)「証文一札入」
2-4-52	借用申金子之事	安政3年11月	縦紙	1通	借主大坂屋源介・証人河口屋千代七→吉井小右衛門	包紙あり(上書)「安政三丙辰十一月 金拾両借用手形通 大阪屋源介 巳十一月 葉帳差入」
2-4-53	為替手形之事	巳年7月25日	縦切紙	1通	大和屋堺平兵衛→くら敷大坂屋源助	
2-4-54	覚(金子受取)	慶応2年12月28日	横切紙	1通	池田氏へ用立金子年賦戻につき 広江屋又介→大坂屋	包紙あり(上書)「御受取書 又介」
2-4-55	為替手形之事	明治4年5月晦日	横切紙	1通	坂本村西江原源一取組、金100両 吹屋村 片山浅次郎→林源介	包紙あり(上書)「為替手形書通 片山浅二郎」
2-4-56	覚(金子預り)	慶応4年7月27日	横継紙	1通	金20両 中田屋儀三郎→大坂屋源助	包紙あり(上書)「預り書 書通 中田屋義三郎」
2-4-57	覚(代金受取)	慶応4年8月7日	横継紙	1通	東備銀札2貫850匁 倉敷井上町西屋鯛介→葉大坂屋	
2-4-58	覚(代銀請取)	年未詳4月5日	横継紙	1通	左伝校本代 玉島寺沢→倉敷大坂屋	
2-4-59	証(金子落手)	巳年11月18日	横切紙	1通	和気屋廻金請取 仁口空→大坂屋源介	
2-4-60	借用申金子之事	文久3年12月	縦継紙	1通	借主北畝時太郎・同人判元紋治郎 奥書北畝秀治郎→倉敷大坂屋源介	包紙あり(上書)「証書書通 一 銭屋時太郎」
2-4-61	借用申金子之事	慶応3年5月	縦切紙	1通	葉種代20両 新見山根屋与十郎→倉敷大坂屋源助	包紙あり(上書)「慶応三卯十一月 山根屋与十郎 金貳拾両証」
2-4-62	玉泉講銀受取通	安政6年5月	横折紙	1通	講主林文甫外3名→林源介	
2-4-63	覚(金子受取)	巳年7月1日	縦切紙	1通	金4両 板屋政太郎→大阪屋	
2-4-64	覚(金子請取)	年未詳2月28日	横切紙	1通	金札100両 忠七→大坂屋	
2-4-65	為替手形之事	辰年7月26日	横切紙	1通	大和屋平兵衛→大阪屋源助	
2-4-66	借用申金子証文之事	安政6年12月	縦継紙	1通	金18両、質地畑2筆 借主福田新田北畝紋次郎外2名→倉敷大坂屋源助 奥書北畝名主寿太郎外1名	包紙あり(上書)「質地証文 書通」
2-4-67	質入申畑之事	安政6年6月	縦継紙	1通	畑1筆、質入金3両2分 質入主 大島屋治郎右衛門外1名→大坂屋源介	包紙あり(上書)「証文書通 安政六年 巳未墓地之畑 質入証書 大島屋 次郎右衛門」
2-4-68	講銀請取通	嘉永6年2月	半・横長	仮1冊	地蔵院→大阪屋	封筒あり(上書)「嘉永六丑二月 地蔵院 講銀請取通 大阪屋」
2-4-69	規定書之事	文久3年3月	縦継紙	1通	葉種代銀につき 借用主松山児島屋雄平外1名→大坂屋源助	包紙あり(上書)「文久三年辛酉三月 松山児島屋雄平殿 規定書書通」
2-4-70	講銀請取通	弘化3年	半・横長	仮1冊	和田備宗殿 講世話人壽輔→大坂屋源介	(袋上書)「和田氏講銀渡通 大坂屋 源介」
2-4-71	大阪屋講銀落札方渡帳	弘化4年11月	半・横長	仮1冊	大阪屋源介	
2-4-72	明治三年庚午閏十月 続義倉聚金控帳 本町幹事	明治3年閏10月	美・横長	1冊		
2-4-73	深切講銀請取通	文久2年4月	美・横長	仮1冊	今崎屋弥兵衛→大阪屋	(袋上書)「文久二年戊四月 今崎屋弥兵衛 深切講銀請取通 大阪屋様 御引受」
2-4-74	催合講銀請取通	慶応3年11月	美・横長	仮1冊	講主笹沖神崎市郎右衛門外1名→倉敷林源介	

2-4-75	六拾人講掛銀請取通	安政2年12月	半・横長	仮1冊	田辺口左衛門外1名→林源介御取次	袋あり(上書)「六拾人講通袋 大坂屋様 御取次」
2-4-76	講銀請取通	安政3年	美・横長	仮1冊	世良春洞→林源介	袋あり(上書)「通 倉敷 大坂屋様」
2-4-77	三會目丙寅落札	丙寅年	横切紙	1通	講主冬輔	
2-4-78	講銀請取通	嘉永6年3月	美・横長	仮1冊	大内屋徳次郎→大阪屋源介 寛1通同封	
2-4-79	深切講銀請取通	文久2年4月	美・横長	仮1冊	今崎屋弥兵衛→大阪屋	袋あり(上書)「文久二年壬戌四月 今崎屋 弥兵衛 深切講銀請取通 大阪屋様」
2-4-80	石坂氏講銀半口分落札方渡帳	弘化4年11月	半・横長	仮1冊	大坂屋源介	袋あり(上書)「弘化四丁未十一月 石坂氏講銀落札方渡帳 大坂屋源介」
2-4-81	覚(講銀算用)	寅年11月	横継紙	1通	金一郎→林源介	
2-4-82	差入申規定書之事	慶応3年5月	縦紙	1通	菓種取引勘定方につき 新見山根屋与十郎→倉敷大阪屋源	包紙あり(上書)「新見 山根屋与十郎・請人 風木屋久三郎 一
2-4-83	[諸書類]	年月日未詳		1包(10通)		2-4-83-1~10財布入
2-4-83-1	覚(食事酒肴代)	年未詳11月晦日	横継紙	1通	金比羅内町よし吉→先生	
2-4-83-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	八丁目天明根町塩屋庄作	
2-4-83-3	覚(アヘン外数量)	年月日未詳	横継紙	1通		包紙あり(上書)「午四月六日 寺沢証文」(包紙裏書)「太田孝蔵引受」
2-4-83-4	為替手形之事	巳年7月25日	縦切紙	1通	金札10両 大和屋堺善兵衛→倉敷大坂屋源助	
2-4-83-5	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	豊後藤今四郎につき	
2-4-83-6	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	家伝秘方疥癬御湯薬 大坂屋源助	
2-4-83-7	[印判見本]	年月日未詳	縦切紙	1枚	尾張町二丁目 奥川楽水	
2-4-83-8	[印判見本]	弘化5年4月11日	縦切紙	1枚	雲州母里家中代官 米田口五右衛門 石刻	
2-4-83-9	記(永春講掛金請取)	戌年1月18日	横切紙	1通	龜山村清太郎→林源十郎	
2-4-83-10	[諸税納付書]	明治5年~6年	横切紙	10通	林正太郎・平田芳太郎外	
2-4-84	年貢通并二会所書	年月日未詳		1袋(91通2冊)		2-4-84-1~86袋入
2-4-84-1	[宗一宛与一書状]	年未詳2月29日	縦継紙	1通	年貢上納の件	
2-4-84-2	覚(龜山先生名跡・銀貸廻し)	卯年10月	横継紙	1通	原→大坂屋	
2-4-84-3	覚(納米代金請取)	年月日未詳	横切紙	1通		
2-4-84-4	[田畑高反別成米小作人書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
2-4-84-5	覚(大坂屋源十郎町役銭割賦)	弘化2年	横切紙	1通	庄屋丹右衛門 銀札308匁	
2-4-84-6	丁未米糶納入用当面割賦請取通	丁未年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外1人→大坂屋源助	
2-4-84-7	当亥酒津安江堤大夫御普請入用請取通	亥年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-8	[大阪屋宛竹口書状]	年月日未詳	縦切紙	1通	役判の件	
2-4-84-9	[諸税納付書]	弘化3年~明治6年	横切紙	45通		
2-4-84-10	覚(年貢金請取)	未年2月27日	横切紙	1通	要助・正太郎→沢屋芳太郎	
2-4-84-11	覚(畑高反別)	年月日未詳	横切紙	1通		
2-4-84-12	[書付](田高反別)	年月日未詳	横切紙	1通		
2-4-84-13	覚(米代請取)	年未詳6月13日	横切紙	1通	稗田鳶屋熊五郎→柏池桑八	
2-4-84-14	[水夫屋敷反別]	年月日未詳	木札	1枚	源十郎	
2-4-84-15	覚(汐川堀浚入用受取)	辰年11月11日	横切紙	1通	会所理吉→大坂屋	
2-4-84-16	御年貢米取立通	辰年12月	横切紙	4通	名主保太郎→源介	外3通巻込み
2-4-84-17	龜山村御年貢米請取通	文久3年11月	横継紙	1通	庄屋受持永瀬市太夫外1人→倉敷村大坂屋源介	
2-4-84-18	御年貢米取立通	慶応1年12月	横切紙	1通	名主保太郎→良平	
2-4-84-19	西川堤御普請入用	年未詳閏10月26日	横切紙	2通	倉敷村大坂屋源助→龜山村庄屋	外1通巻込み
2-4-84-20	御年貢米銀請取通之事	慶応3年	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-21	御年貢米銀請取通之事	嘉永1年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-22	御年貢米銀請取通之事	弘化4年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-23	御年貢米銀請取通之事	慶応1年	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-24	御年貢米金請取通之事	明治3年	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門→林正太郎	
2-4-84-25	御年貢米銀請取通之事	弘化3年	横切紙	1通	庄屋丹右衛門外2人→大坂屋源十郎	
2-4-84-26	御年貢米金受取通之事	明治4年	横切紙	1通	庄屋大橋平蔵・同助勤林孚一→沢屋芳太郎	
2-4-84-27	御年貢米金受取通之事	明治4年	横切紙	1通	庄屋大橋平蔵・同助勤林孚一→塚屋正太郎	
2-4-84-28	御年貢米銀請取通之事	嘉永2年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-29	御年貢米銀請取通之事	文久1年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外3人→大坂屋源助	
2-4-84-30	御年貢米銀請取通之事	弘化2年	横切紙	1通	庄屋丹右衛門外2人→大坂屋源十郎	
2-4-84-31	御年貢米金請取通之事	明治3年	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門→平田芳太郎	
2-4-84-32	御年貢米銀請取通之事	明治1年	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門→塚屋正太郎	
2-4-84-33	御年貢米金受取通之事	明治5年	横切紙	1通	戸長原唯七→平田芳太郎	
2-4-84-34	御年貢米金受取通之事	明治5年	横切紙	1通	戸長原唯七→林源十郎	
2-4-84-35	御年貢米金受取通之事	明治5年	横切紙	1通	戸長原唯七→林正太郎	
2-4-84-36	御年貢米銀請取通之事	文久3年	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門外1人→大坂屋源介	
2-4-84-37	御年貢米銀請取通之事	元治1年	横切紙	1通		
2-4-84-38	御年貢米銀請取通之事	嘉永3年	横切紙	1通	庄屋助右衛門外1人→大坂屋源助	
2-4-84-39	石代間欠金請取	明治2年	横切紙	1通	龜山村庄屋龜山菊太郎→倉敷村林源介	
2-4-84-40	林氏講銀渡勘定通	嘉永2年~安政3年	美・横長	仮1冊	大坂屋源介	袋入
2-4-84-41	聚金請取通	明治3年	折紙	1通	続義倉幹事→林源介	袋入
2-4-84-42	講銀通	年月日未詳	折紙	1通	瀬口口洞→林源介	

2-4-84-43	佐藤氏講銀渡通	嘉永5年	半・横長	仮1冊2通	大坂屋源介	袋入 覚2通とも
2-4-85	商用雜記	明治21年～22年	豎半帳	1冊		
2-4-86	[書画・茶事につき覚書]	年月日未詳	豎半帳	1冊		
2-5	[年貢通・講金請取など諸書類]	明治6年～明治11年		1括り(36通1)		2-5-1～37一括り
2-5-1	[林宛三郎書状]	年月日未詳	横切紙	1通	明朝出直しのこと	
2-5-2	覚(大橋預之利息受取)	辛未年12月30日	横継紙	1通	小野蔚→林	
2-5-3	記(銀子借用)	甲戌年1月11日	横切紙	1通	奥筋御帳面にて 広屋音介→林源十郎	
2-5-4	[川崎善平宛見尾善助書状]	年未詳9月24日	横継紙	1通	葉種注文の件	封筒あり 覚2通同封
2-5-5	[黒瀬道次郎宛木村光太郎書状]	年未詳3月9日	横継紙	1通	西大橋より通金持帰りなど	
2-5-6	[石川英太郎宛土屋貫三書状]	年月日未詳	横切紙	1通	買掛残金払出延引の件	
2-5-7	借用申金子之事	明治7年3月1日	豎紙	1通	208円余借用 鴨方屋善平→林源十郎	
2-5-8	[借用証]	年月日未詳	豎紙	1通	家財一切書入 借用主平市兵衛→林	
2-5-9	証	明治12年9月28日	横切紙	1通	金13円余入手 津好宗八→林源十郎	
2-5-10	[道路修築献納金納入書]	年未詳7月9日	横切紙	1通	林源十郎	
2-5-11	[林源介宛升真介書状]	年未詳2月2日	横切紙	1通	金子返済の件	
2-5-12	覚	辛未年12月6日	横切紙	1通	岡田様より礼儀類典514巻返却につき金105両請取 本家御取次分郡屋多作→大坂屋源十郎	
2-5-13	覚(金47円請取)	子年4月7日	横継紙	1通	柳原喜兵衛→林蘇太郎	
2-5-14	[大源宛高田隼書状]	年月日未詳	横切紙	1通	書籍代残金延引の件	
2-5-15	覚(鉄砲代受取)	年未詳10月4日	横切紙	1通	竹田屋和太郎→上	
2-5-16	記(金子入手)	年未詳11月26日	横切紙	1通	西山修→林源十郎	
2-5-17	証(中島宮神佐一年賦金)	丁丑年3月30日	横切紙	1通	黒瀬道次郎→林源十郎	
2-5-18	記(金50円請取)	明治8年8月22日	横切紙	1通	小野蔚→林源十郎	包紙あり
2-5-19	記(金12円余請取)	亥年11月10日	横切紙	1通	木村理吉→黒瀬	包紙あり
2-5-20	[金子請取証]	年未詳9月26日	横切紙	1通	島口屋嘉口	
2-5-21	分与金受取証	明治9年1月4日	豎紙	1通	金200円 林文二外1人→林源十郎	包紙あり
2-5-22	証(薬代金10円借用)	子年11月7日	横切紙	1通	新見町葉種所 児玉与十郎→林源十郎	
2-5-23	記(年賦金請取)	明治10年10月1日	横切紙	1通	白神佐一郎→林源十郎外1人	
2-5-24	証(26円余入手)	明治11年9月1日	横切紙	1通	津好宗八→林源十郎	
2-5-25	覚(金子請取)	壬申年3月28日	横切紙	1通	黒瀬道二郎→林源十郎	
2-5-26	覚(金5円請取)	年未詳9月10日	横切紙	1通	森田佐平→林	
2-5-27	覚(金子請取)	明治3年2月15日	横切紙	1通	道次郎→源介	
2-5-28	記(催告講金請取)	乙亥年12月30日	横切紙	1通	神崎貞三郎→林源十郎	
2-5-29	証(明石退蔵よりの紙幣10円落手)	年未詳6月12日	横切紙	1通	石坂堅壯→林源十郎	
2-5-30	記(永寿講掛金請取)	戊年5月14日	横切紙	1通	亀山村小林喜作→林源十郎	
2-5-31	記(長瀬氏よりの請取金)	明治10年1月21日	横切紙	1通	小野八重代小野蔚→林源十郎	
2-5-32	記(大坂中村正兵衛分請取)	明治10年6月24日	横切紙	1通	岡山佐藤甚八郎→倉敷林源十郎	
2-5-33	記(水沢氏より寄付金請取)	酉年5月4日	横切紙	1通	藤波尚七郎→林	
2-5-34	覚(金10両請取)	酉年3月14日	横切紙	1通	早島大森甚平→林源十郎	
2-5-35	記(林氏預け金請取)	明治10年9月	豎紙	2通	金森二平→黒瀬道次郎	包紙あり 証1通同封
2-5-36	[年貢通]	明和～寛政		1袋(27通)		2-5-36-1～27袋入
2-5-36-1	御年貢米銀請取通之事	天明6年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-2	御年貢米銀請取通之事	天明1年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋仙蔵	
2-5-36-3	御年貢米銀請取通之事	明和6年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	
2-5-36-4	御年貢米銀請取通之事	寛政1年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-5	御年貢米銀請取通之事	明和7年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	
2-5-36-6	御年貢米銀請取通之事	天明3年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-7	御年貢米銀請取通之事	寛政3年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-8	御年貢米銀請取通之事	寛政2年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-9	御年貢米銀請取通之事	明和7年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→山手屋源右衛門	
2-5-36-10	御年貢米銀請取通之事	明和8年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→山手屋源右衛門	
2-5-36-11	御年貢米銀請取通之事	寛政6年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-12	御年貢米銀請取通之事	寛政5年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-13	御年貢米銀請取通之事	天明5年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-14	御年貢米銀請取通之事	天明4年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-15	御年貢米銀請取通之事	安永9年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋仙蔵	
2-5-36-16	御年貢米銀請取通之事	明和6年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→文右衛門	
2-5-36-17	御年貢米銀請取通之事	天明2年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-18	御年貢米銀請取通之事	安永2年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	
2-5-36-19	御年貢米銀請取通之事	天明8年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-20	御年貢米銀請取通之事	明和9年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	
2-5-36-21	御年貢米銀請取通之事	安永4年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	
2-5-36-22	御年貢米銀請取通之事	安永3年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	
2-5-36-23	御年貢米銀請取通之事	明和6年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→山手屋源右衛門	
2-5-36-24	御年貢米銀請取通之事	明和8年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋源十郎	



2-5-36-25	御年貢米銀請取通之事	寛政4年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→大坂屋千蔵	
2-5-36-26	御年貢米銀請取通之事	明和9年	横切紙	1通	庄屋孫太夫→山手屋源右衛門	
2-5-36-27	[諸税納付書]	年月日未詳	横切紙	4通	大坂屋源介	
2-5-37	記(林源十郎へ預け金)	明治8年12月2日	横切紙	1通	羽栗洲→黒瀬道次郎	
2-6	[諸書類]	嘉永7年～明治16年		1括り(21通18冊)		2-6-1～39一括り
2-6-1	[拓本]	□□11年	縦継紙	1枚	何か不明	何か不明、要検討
2-6-2	住古備中国国分寺瓦	年月日未詳	縦紙	1枚	瓦の図	
2-6-3	[借用銀質物書上]	年月日未詳	半・横長	1冊	はやし	
2-6-4	[田反別取米など書付]	年月日未詳	横切紙	25通	倉林源八	
2-6-5	覚(永寿講金)	年未詳11月15日	横切紙	1通	亀山村小林喜作→林源十郎	
2-6-6	記(基金会資本)	明治13年1月	横切紙	1通	幹事林醇平外2人→林孚一	
2-6-7	六拾人講掛銀請取通	安政2年	半・横長	1冊	田辺亭左衛門外1人→倉敷林源助	袋入
2-6-8	[諸税納付書]	明治9年1月	横切紙	1通	平田芳太郎	
2-6-9	[椀講書類]	嘉永～万延		1袋(5通)		2-6-9-1～5一袋
2-6-9-1	椀講通	万延1年	折紙	1通	ノ松木屋→大坂屋	
2-6-9-2	覚(椀など品書)	辰年12月13日	横切紙	1通	松木屋佐平二→大坂屋	
2-6-9-3	椀講通	嘉永6年11月	横切紙	1通	ワシマ松木屋→大坂屋	
2-6-9-4	家具代銀請取通	未年11月	横切紙	1通	能登輪島家具師 松木屋佐平次→大坂屋	
2-6-9-5	家具代銀請取通	亥年12月	横切紙	1通	能登輪島家具師 松木屋佐平次→大坂屋	
2-6-10	覚(金20両落手)	年未詳1月28日	縦紙	1通	金堂→林	
2-6-11	灰貝蒔附二付議定	明治9年10月	半・縦	1冊	林孚一外9人、乙島海面干潟にて灰貝蒔付試業につき	
2-6-12	証(薬種仕入方定約)	申年8月	縦紙	1通	真島士族医山口丹下外1人→倉敷大坂屋源十郎	包紙あり
2-6-13	[煙草入袋]	年月日未詳	23.0×16.0	1枚	漢文書付あり	袋のみ
2-6-14	[浅原寺跡瓦の図]	丁酉年1月28日	縦紙	1枚		
2-6-15	[詠草]	年月日未詳	横切紙	1枚	古門	
2-6-16	覚(宿料8両1歩請取)	子年12月28日	縦紙	1通	丸亀伊予屋安右衛門→佐藤理三郎	
2-6-17	[短冊入袋]	年月日未詳	35.0×6.0	1枚	漢詩書付あり	袋のみ
2-6-18	雲鶴の詞	年月日未詳	短冊	1枚	いと子	
2-6-19	我書備我健忘	年月日未詳	半・縦	1冊	白痴、四国各地などの文人、書物名	
2-6-20	浅原寺古瓦之図	年月日未詳	縦紙	1枚		
2-6-21	克堂様稿	元治頃	半・縦	1冊	森田節齋を送る文など	
2-6-22	備後三郎高德將軍肖像記	嘉永7年2月	縦紙	3枚	作府文学昌谷碩漢、藤井徳書	
2-6-23	催合講銀落札方渡通	嘉永6年	半・横長	1冊	大坂源介→三宅久太郎	袋あり
2-6-24	戎町地子	明治4年	半・横長	1冊	屋敷地11筆分	
2-6-25	知所仕出書	年月日未詳	横継紙	1通	田畑高反別物成	
2-6-26	詠史百首	年月日未詳	半・縦	1冊		
2-6-27	[日本書紀伝断簡]	年月日未詳	縦紙	1枚		
2-6-28	旧倉敷支配所学制沿革調書	年月日未詳	半・縦	1冊	明倫館につき	
2-6-29	珠算略法雑題	明治11年11月	半・縦	1冊	目黒篤敬→学区取締林孚一	生坂小学の罫紙
2-6-30	旧何藩学制沿革取調要目	明治16年2月	半・縦	1冊		
2-6-31	森田先生再週忌併招魂碑会計書類	明治3年		1袋(6通1冊)		2-6-31-1～7袋入
2-6-31-1	森田先生再週忌并二招魂碑	明治3年7月26日	半・横長	1冊	備物など書上	
2-6-31-2	覚(飯代請取)	午年9月29日	横切紙	1通	倉敷本町宗津屋二兵衛→和栗・林	
2-6-31-3	覚(酒肴代請取)	年未詳7月27日	横切紙	1通	倉敷向市場 惣社屋万吉→大坂屋	
2-6-31-4	覚(飯料)	年未詳7月晦日	横切紙	1通	宗津屋二兵衛→和栗・大坂屋	
2-6-31-5	覚(飯代・泊代など)	午年9月29日	横切紙	1通	宗津屋二兵衛→森田	
2-6-31-6	証(森田節齋招魂碑敷地譲渡)	明治8年6月	縦紙	1通	教善寺15世住職千葉諦住→林源十郎・福島政平	包紙あり
2-6-31-7	記(席料・招魂碑永代掃除料拝納)	明治11年5月14日	縦紙	1通	教善寺→福島収平	
2-6-32	式内神社菅生神社書上考録	明治7年9月	半・縦	1冊	窪屋郡子位庄村ノ内祐安、戸長窪津大紀外1人	
2-6-33	質入申水夫屋舗并建家之事	元治1年12月	縦紙	1通	水夫1畝3歩、瓦造1か所、質金80両 質入主水沢遠三郎外2人→今崎屋五兵衛	
2-6-34	催合講趣法議定書	明治6年12月	半・縦	1冊	講主福島政平	
2-6-35	頼母志講申定	年月日未詳	半・縦	1冊	講主林俊哉	
2-6-36	御蔵米御切手不渡り分	明治2年12月	半・縦	1冊	有城村友太郎	
2-6-37	乍恐以書附奉歎願候	巳(明治2)年11月	横継紙	1通	帯江札引替の件 札場掛り加須山村保太・同沖新田村栄八→倉敷県御役所	包紙あり
2-6-38	御借上銀并三御札場懸り二付差出シ年賦其俣二相成候分	明治2年12月	半・縦	1冊	有城村友太郎	
2-6-39	催合講議定仮帳	年月日未詳	半・縦	1冊	講主林源十郎	
2-7	帯江札場貸付一件、麴獄掛	弘化4年～明治10年		1袋(31冊16通1袋)		2-7-1～48袋入
2-7-1	[人別年賦金書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
2-7-2	拝借証文之事	慶応3年12月晦日	縦紙	3通	金38両2歩 拝借主金田村幸吉→御札場貸付方佐藤栄八	包紙あり 覚2通同封
2-7-3	覚(人別返上銀札)	壬申年2月19日	横継紙	1通	二日市村庄屋惣平外1人→倉敷県庁	
2-7-4	覚(返上銀札)	申年3月2日	横切紙	1通	加須山村庄屋亀五郎外1人→倉敷県庁	

2-7-5	銀子借用証文之事(写)	丁未(弘化4)年	縦紙	2通	戸川より村々へ入用銀調達仰付につき植田より銀12貫借用のこと 戸川因幡守知行所10か村庄屋・年寄・百姓惣代→植田武右衛門 奥書岸常右衛門外6人 裏書因幡	包紙あり 別紙同封
2-7-6	[歎願書綴]	明治3年5月	美・縦	仮1冊	帯江手形札場より借入金返納の件 二日市村弥作・嘉助・市右衛門、有城村新七、沖新田村治左衛門、亀山村弥吉、二子村信太郎→倉敷御役所	
2-7-7	覚(帯江札算用)	午年6月	横切紙	1通	有城村久右衛門外1人→上	
2-7-8	覚(金子算用)	年末詳12月晦日	横継紙	1通	山村屋逸蔵	
2-7-9	覚(五日市村多蔵地頭家札場より拝借札返納)	明治3年5月	縦紙	1通	五日市村庄屋惣平→倉敷御役所	
2-7-10	歎願書	庚午(明治3)年	美・縦	1冊	帯江札場より借用の手形札返上につき年賦願 二日市村庄屋六郎右衛門外1人→倉敷御役所	
2-7-11	元地頭家札場銀拝借之者取調書上	明治2年11月	半・縦	仮2冊	沖新田村治左衛門・永八・逸蔵の拝借銀につき 沖新田村庄屋良作外1人→倉敷御役所	
2-7-12	帯江札場貸付有札勘定書抜	巳(明治2)年	美・縦	仮1冊	札場懸り栄八・保太	
2-7-13	乍恐以書付奉歎願候	午年6月12日	美・縦	仮1冊	先地頭家蔵方より拝借の御米代金上納猶予願 有城村久右衛門・三郎右衛門→倉敷御役所	
2-7-14	[歎願書]	巳(明治2)年12月	美・縦	仮1冊	元地頭家札場よりの拝借金を村内弥助へ貸付の件 二子村庄屋信太郎→倉敷御役所	
2-7-15	御願	明治10年5月31日	半・縦	仮1冊	村費の成規外出金拒否の旨 倉敷村大橋平蔵代理大橋友蔵→岡山県令高崎五六・奥書林孚一外1人	
2-7-16	[都宇・窪屋郡反別・人口]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		
2-7-17	[都宇・窪屋郡村名]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		
2-7-18	[歎願書]	明治2年12月10日	美・縦	仮1冊	繰綿売払正金を元地頭家札場へ用立てのところ札潰れにて迷惑、その後借用の新札返納方につき 二子村 浅右衛門→倉敷御役所	
2-7-19	帯江札場貸付書類	明治5年3月		1袋(2冊1通)		2-7-19-1~3袋入
2-7-19-1	拝借金年賦証文	明治5年3月	美・縦	1冊	旧御地頭家拝借金年賦返納の件 二子村弥助外1人→倉敷御役所	
2-7-19-2	拝借金返納御日延之儀二付御請書之事	明治5年3月2日	美・縦	1冊	元地頭家札場より拝借銀返納につき 有城村久右衛門・三郎右衛門、庄屋有木源一→倉敷御役所	
2-7-19-3	[拝借金につき書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
2-7-20	乍恐以書附奉申上候	明治2年11月	美・縦	仮1冊	帯江札場より拝借の手形札返納の件 早島郷前瀧村万之助外2人→倉敷御役所	
2-7-21	乍恐以書付奉歎願候	明治2年12月	美・縦	仮1冊	帯江札場よりの拝借金返納の件 二日市村 嘉助→倉敷御役所	
2-7-22	乍恐以書付奉申上候	午年5月22日	縦紙	1通	五日市村与五兵衛が地頭家にて借用の手形札返納の件 五日市村庄屋惣平→倉敷御役所	
2-7-23	乍恐以書付奉申上候	巳年11月30日	縦紙	2通	亀山村仲右衛門・弥吉が帯江元御札場にて拝借の銀札返納方 亀山村役人惣代年寄喜右衛門→倉敷御役所	
2-7-24	乍恐以書付奉願上候	午年5月	美・縦	仮1冊	五日市村豊次郎・金田村幸吉の帯江置表手形札場銀など返済の件	
2-7-25	乍恐以書附奉申上候	午年5月	美・縦	仮1冊	都宇郡二子村龍之助・信太郎、五日市村多蔵、有城村友太郎の元地頭家札場より拝借銀返納の件	
2-7-26	歎願書	明治3年5月15日	半・縦	1冊	帯江札場取立引替願 帯江札場掛り加須山村保太・沖新田村栄八→倉敷御役所	
2-7-27	歎願書	己巳(明治2)年12月	美・縦	仮1冊	2-7-5の件につき、返済方30年賦願 二日市村市右衛門→同村庄屋・年寄→倉敷御役所	
2-7-28	年割上納金奉書上候	明治3年12月	縦紙	1通	帯江新田村 役人惣代内田良作→倉敷御役所	
2-7-29	乍恐以書附奉申上候	明治2年11月晦日	美・縦	仮1冊	元地頭家札場より拝借銀札返済の件 五日市村与五兵衛・豊次郎・多蔵→倉敷御役所	
2-7-30	帯江札場去辰正月より手続	巳(明治2)年11月9日	美・縦	1冊	札場掛り永八・保太、岡山藩による鎮撫以降の札場の諸事情を詳細に記す	
2-7-31	乍恐以書附奉申上候	明治3年7月	美・縦	仮1冊	置表売買につき借用の前帯江札場銀手形札返済の件 金田村幸吉→倉敷御役所	
2-7-32	乍恐以書付奉申上候	午年7月	縦紙	1通	元地頭家御札場銀返納の件 二子村年寄龍之助→倉敷御役所	
2-7-33	乍恐以書付奉申上候	庚午年7月	縦紙	仮1冊	亀山村仲右衛門の帯江札場手形札返納の件	
2-7-34	請取書上	明治2年12月15日	美・縦	1冊	二日市村礼三郎外4人分不渡金 帯江札場掛保太・栄八→倉敷御役所	
2-7-35	歎願書	明治2年12月2日	美・縦	1冊	元地頭家札場手形札返納の件 加須山村九平外6人→倉敷御役所	
2-7-36	乍恐以書付奉歎願候	午年5月	美・縦	仮1冊1通	加須山村曾右衛門外2人の元地頭家手形札返納の件	覚1通巻込み
2-7-37	[歎願書綴]	明治2年12月	美・縦	仮1冊	加須山村尾崎嘉藤太・羽島村六蔵外の元地頭家札場手形札返納の件	
2-7-38	乍恐以書附奉申上候	明治2年12月12日	美・縦	仮1冊	元地頭家札場銀札返納の件 五日市村 多蔵→倉敷御役所	

2-7-39	歎願書	明治2年12月	美・豎	1冊	帯江手形札返済の件 二日市村 弥作→倉敷県御役所	
2-7-40	乍恐以書附奉願上候	明治3年1月	豎継紙	1冊	豊表商売問屋渡世につき借用の帯江豊表代銀融通手形札場銀返納の件 金田村幸吉→倉敷県御役所	
2-7-41	差上申御請書之事	卯年8月29日	豎紙	1冊	金田村幸吉の帯江札場銀札返納につき質地証文下渡しの件	
2-7-42	乍恐以書附奉申上候	明治2年11月	豎紙	1通	金田村幸吉の帯江札場手形旧札返納の件	
2-7-43	乍恐以書付奉願上候	午年8月28日	美・豎	1冊	帯江札場銀返納の件 金田村幸吉→倉敷県御役所	
2-7-44	〔願書〕	巳年12月	豎紙	1通	先地頭家手形札返納の件 二子村龍之助→倉敷県御役所	
2-7-45	帯江札場貸附人取調	年月日未詳	美・豎	1冊		
2-7-46	覚(銀高書上)	年未詳9月7日	折紙	1通	金弾村幸吉	
2-7-47	覚(地頭家札場拝借金上納)	庚午年5月	豎紙	1通	加須山村庄屋見習林右衛門→倉敷県御役所	
2-7-48	乍恐以書付奉申上候	庚午年4月2日	豎紙	1通	帯江札場手形札返納の件 二日市村庄屋六郎右衛門→倉敷県御役所	
2-8	〔諸書類〕	天保15年～明治15年		1括り(9冊6括り 2通2枚2袋)		2-8-1～21一括り *2-8-1は返却(小野組為替金不渡につき嘆願書、明治7年)
2-8-2	〔藤江松涛・森田節齋関係書類〕	天保15年～文久2年		1括り(11通)		2-8-2-1～11一括り
2-8-2-1	〔藤江松涛先生著作紹介〕	嘉永7年11月5日	横継紙	1通	古今堂定前(みよしの住人)	
2-8-2-2	往来手形之事	天保15年3月	豎紙	1通	拙者弟藤江松涛学道のため諸国遊歴につき 御本丸表御坊主江戸芝赤羽根組屋敷岩原良伯→諸国関所・番所	包紙あり
2-8-2-3	〔藤江先醒宛阿部徹蔵書状〕	年未詳4月1日	横切紙	1通	今日式日登城につき後刻罷出	
2-8-2-4	〔藤江松涛印判見本〕	弘化3年	横切紙	3枚		包紙あり
2-8-2-5	〔漢詩〕(松涛先生につき)	年月日未詳	横切紙	1枚	大隅玄勝	
2-8-2-6	〔松涛宛克堂書状〕	年未詳2月14日	横切紙	1通	出発にあたり菓子料進呈	
2-8-2-7	〔大地震につき狂歌など〕	年月日未詳	横継紙	1通		
2-8-2-8	〔大坂屋主人宛琴書状〕	壬戌(文久2)年1月2日	豎紙	1通	琴は森田節齋の妻力、家計不如意につき相談	
2-8-2-9	〔松涛宛堅齋書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	明日御出立の由、拙宅へ滞留願	
2-8-2-10	〔松涛宛謙次書状〕	年未詳2月	横切紙	1通	腰折呈上	
2-8-2-11	〔松涛宛一誠書状〕	年未詳4月13日	横切紙	1通	楠公の碑銘恵投くだされ深謝、拙刻の印呈上のことなど	
2-8-3	〔書状類〕	年月日未詳		1括り(7通)		2-8-3-1～7一括り
2-8-3-1	〔大坂屋隠居宛板倉太田屋平四郎書状〕	年未詳1月25日	横切紙	1通	金借用御礼	
2-8-3-2	〔大坂屋源助宛新見山根屋与十郎書状〕	年未詳5月1日	横切紙	1通	注文のこと	
2-8-3-3	〔大坂屋源助宛加賀屋徳平書状〕	年未詳12月1日	横継紙	1通	瓶・ふらすこなど注文につき	
2-8-3-4	〔大坂屋宛森田内琴書状〕	年未詳12月晦日	折紙	1通	諸家への払金、町内入用などのこと	包紙あり
2-8-3-5	口上	年未詳10月1日	横継紙	1通	薬種入用の件 なつ川中尾屋→大坂屋	
2-8-3-6	覚	年未詳12月18日	横切紙	1通	渡辺工掛り金11両、来春真島藩より払渡のこと 行願院→大坂屋	
2-8-3-7	〔大坂屋宛口書状〕	年未詳7月25日	横継紙	1通	借金依頼	
2-8-4	〔諸書類〕	明治3年～15年		1括り(19通4)		2-8-4-1～23一括り
2-8-4-1	現今民間實際ノ悪弊	明治10年5月16日	半・豎	1冊	代言代書人の詐欺行為について 備前国・備中国正副区長総代→岡山県令高崎五六	
2-8-4-2	記(大塚寿七よりの預り勤)	明治8年12月	豎紙	1通	同正太郎→林孚一	
2-8-4-3	借用申金子之事	明治3年12月	豎紙	1通	金150両 質物畑2筆 借用主難波増次郎外1人→倉敷村林孚一取次	
2-8-4-4	覚(100両借用)	寅年7月28日	横切紙	1通	倉子城讃岐屋与右衛門→孚一	
2-8-4-5	記(金1円請取)	明治14年4月12日	横切紙	1通	厳島神社社務所→林孚一	
2-8-4-6	〔林孚一宛大森彦三郎書状〕	年未詳11月7日	豎紙	1通	大森は東京神田区三崎町森田巳之助方に寄留中、徴兵免役の手段につき相談	
2-8-4-7	〔林孚一宛二日市市長瀬惣平書状〕	年未詳1月31日	横切紙	2通	旧郡中へ立替金の件	包紙あり 金請取証同封
2-8-4-8	古磚記	明治10年2月29日	美・豎	仮1冊	津田要識、衣笠豪谷が万里の長城より持ち帰った古磚につき	
2-8-4-9	口上	年未詳7月10日	横切紙	1通	金借用の件 光蔵→不一	
2-8-4-10	〔俳句〕	年月日未詳	横切紙	1枚	梅垣	
2-8-4-11	生々社金請取通	明治9年10月	美・横長	1冊	倉子城林孚一	袋あり
2-8-4-12	〔林孚一写真〕	明治10年7月23日	写真	2枚	岡山天瀬裏写真師稲岡英谷	
2-8-4-13	〔林宛島田泰夫書状〕(東京より)	年未詳12月10日	横継紙	1通	秋田県に奉職のこと、坂谷朗盧と面会のことなど	
2-8-4-14	〔林宛八田部村清一郎書状〕	年未詳11月11日	横切紙	1通	沢屋よりの預金の件	
2-8-4-15	〔林孚一宛堀和介書状〕	年未詳6月19日	横継紙	1通	房屋の金18両入手	封筒あり
2-8-4-16	御年貢借用証文之事	明治4年2月5日	豎紙	1通	年貢米7斗1升6合 三之割仙吉外1人→林	
2-8-4-17	記(預金返金)	明治9年1月17日	横切紙	1通	陶浪保太→林孚一外2人	
2-8-4-18	記(帯江札場下金預り)	明治9年1月17日	横切紙	1通	佐藤栄八→林孚一外2人	
2-8-4-19	金子請取証書	明治9年1月29日	豎紙	1通	明治5年戸川錦造への下渡金172円余の件 羽島村岸鼎外1人→林孚一	包紙あり
2-8-4-20	〔林孚一宛岸鼎書状〕	年未詳1月29日	横継紙	1通	金子落手の件	
2-8-4-21	差入申約定書	明治8年9月	半・豎	2冊	林家負債のため家事改革につき金1506円請取 岸田定八→木村光太郎	包紙あり
2-8-4-22	講金御加入仮請取証	明治15年8月	横切紙	1通	仕法講金20円 講主林正太郎→林孚一	包紙あり

2-8-4-23	金子借用証書之事	明治3年11月	縦継紙	1通	正金500両、質物田畑別帳の通 借用主備前下加茂村畠山三郎外2人→倉敷林孚一	
2-8-5	〔漢詩・和歌〕	文化11年～天保6年		1括り(1冊2通3枚)		2-8-5-1～6一括り 旧蔵者の上田氏は森田節齋あるいは鈴木重胤の筆と推定
2-8-5-1	唐口五七選	年月日未詳	縦半帳	1冊	漢詩集	
2-8-5-2	〔漢詩〕	乙未(天保6)年4月23日	堅切紙	1通	六甲山人有馬作、京師医官昆台	
2-8-5-3	〔漢詩〕	文化(11)年	堅切紙	1通	林衡敬	
2-8-5-4	〔漢詩・和歌〕	年月日未詳	堅紙	2枚		
2-8-5-5	〔和歌〕	年月日未詳	横継紙	1枚	尾道出帆上坂のとき	
2-8-5-6	〔和歌〕	年月日未詳	横継紙	1枚	後陽成帝聚楽城へ御幸のとき	
2-8-6	〔林孚一八十才賀祝詞〕	明治23年		1括り(4通)		2-8-6-1～4一括り
2-8-6-1	祝林翁八旬賀	明治23年3月13日	横継紙	1通		包紙あり
2-8-6-2	祝辞	明治23年3月13日	横切紙	1通		
2-8-6-3	祝辞	明治23年3月13日	横継紙	1通	森田佐平	包紙あり
2-8-6-4	賀林翁八十寿	明治23年3月13日	横切紙	1通	小松原慶太郎	
2-8-7	〔版木〕	年月日未詳	版木	1枚	表具師翰墨余香堂、金陵内町松葉屋友蔵	
2-8-8	〔書状類〕	弘化5年		1括り(10通1)		2-8-8-1～11一括り
2-8-8-1	〔長崎今博多町頼川茂藤太宛武州本庄駅本庄俊馬書状〕	年未詳4月19日	横継紙	1通	画工佐藤正持の紹介文	
2-8-8-2	〔長崎真野駿蒼国手宛中山道本庄駅本庄駿馬書状〕	年未詳4月18日	横継紙	1通	画工佐藤正持の紹介	
2-8-8-3	〔大坂道頓堀亀屋伊助宛金毘羅より鎌田久太郎書状〕	年未詳7月20日	横継紙	1通	佐藤正持の紹介文	
2-8-8-4	〔隠岐知々井浦渡辺宛伯州淀江駅より村田章造書状〕	年未詳4月2日	横継紙	1通	藤江松濤の紹介文	
2-8-8-5	〔隠岐焼火山雲上寺老方丈宛伯州淀江駅より村田章造書〕	弘化5年4月2日	横継紙	1通	藤江松濤の紹介文	
2-8-8-6	〔西讃松尾雲湖宛東備西大寺より岡屋忠次郎書状〕	年月日未詳(初冬)	横継紙	1通	藤江松濤の紹介文	
2-8-8-7	〔備中柏島村西山吉之丞宛松尾より菅恒太郎書状〕	年未詳3月7日	横継紙	1通	佐藤正持の紹介文	
2-8-8-8	〔備後福山河相清兵衛宛宝屋信助書状〕	年未詳5月10日	横継紙	1通	正持先生の紹介文	
2-8-8-9	〔平田善兵衛宛小川則太郎書状〕	年未詳12月26日	横継紙	1通	長沢徳太郎講のこと	
2-8-8-10	〔福島収平宛教善寺諦住書状〕	年未詳8月17日	横継紙	1通	建碑地料の件	
2-8-8-11	〔封筒〕	年月日未詳	18.0×5.0	1枚		
2-8-9	乍恐以書付奉歎願候	午年6月12日	美・縦	仮1冊	地頭家蔵方より拝借の米代金上納の件 有城村久右衛門外1人→倉敷県御役所	
2-8-10	乍恐以書付奉申上候	巳年11月	美・縦	仮1冊	地頭家札場銀札上納の件 有城村庄屋源右衛門外1人→倉敷県御役所	
2-8-11	乍恐以書付奉歎願候	午年5月23日	美・縦	仮1冊	元地頭家札場手形札返納の件 五日市村豊次郎→倉敷県御役所	
2-8-12	歎願書	庚午(明治3)年6月	美・縦	1冊	帯江手形返納の件 二日市村弥作外2人→倉敷県御役所	
2-8-13	頼母子講銀渡通	安政4年間5月	美・横長	仮1冊	大坂屋甫蔵→藤屋莊八	袋あり
2-8-14	六拾人講仕法	年月日未詳	美・横長	仮1冊	講主岡田片岡雄七郎	
2-8-15	深切頼母子講通	明治10年6月	折紙	1通	講主葛西太郎外2人→林源十郎	
2-8-16	講銀請取渡通	文久3年1月	美・縦	仮1冊1通	酒津 冬輔→林源介	袋あり 覚1通同封(明治18年)
2-8-17	龜山村三之割小作米算用帳 林氏	明治3年	美・横長	1冊		
2-8-18	備前児島郡穂田村田地肥家得	年月日未詳	美・縦	1冊	小作米算用	
2-8-19	〔下道郡八田部村出土売地塙拓本〕	年月日未詳	66.0×70.0	1枚		
2-8-20	借用証文之事	文久2年11月	縦継紙	1通	金250両、質物田31筆 借主柳田村 与一右衛門外2人→倉敷大坂屋源介	
2-8-21	安全丸御免状并二証書書類在中	明治8年～9年		1袋(仮7冊2通)		2-8-21-1～8袋入
2-8-21-1	売渡証之事	明治8年11月29日	縦紙	1通	商船安全丸売渡、代価2000円 尾道町小川和太郎→多田余三郎	包紙あり
2-8-21-2	蒸気船御免状御願	明治8年11月	美・縦	仮2冊	尾道町小川和太郎所持の蒸気船安全丸譲受につき 倉敷村多田余三郎外3人→大阪府参事内海忠勝	
2-8-21-3	証	明治8年12月3日	縦紙	1通	尾道町小川和太郎より蒸気船買入代価2,000円は貴殿出金のこと 倉敷村多田余三郎外1人→葛西太郎	
2-8-21-4	蒸気船御鑑札御下ケ願	明治8年12月8日	半・縦	仮2冊	倉敷村多田余三郎→小田県参事益田包義	
2-8-21-5	蒸気船御免状御願	明治8年12月	美・縦	仮2冊	倉敷村多田余三郎→小田県参事益田包義	
2-8-21-6	蒸気船御鑑札御下ケ願	明治9年1月23日	半・縦	仮1冊	倉敷村多田余三郎→岡山県令高崎五六	
2-8-21-7	〔多田余三郎宛葛西豪書状〕	年未詳2月3日	横継紙	1通	安全丸のこと	
2-8-21-8	〔書付〕	年月日未詳	縦紙	1通	安全丸譲受につき	
3-1	字本町宅地建家売渡証并附属品売渡証	明治37年		1袋(3通)		3-1-1～3袋入
3-1-1	受領証	明治37年2月15日	縦紙	1通	建家売渡につき 木村徳一郎死後相続人木村辰三郎母木村広外2人→大原孝四郎	罫紙
3-1-2	家屋附属物売渡之証	明治37年4月7日	縦紙	1通	木村辰三郎母木村飛路外1名→林源十郎	
3-1-3	〔建家見取図〕	明治31年12月15日	縦継紙	1通	負債主木村徳一郎 債主大原孝四郎	
3-2	〔郡役所事務分担関係書類〕	明治13年		1袋(仮3冊3通)		3-2-1～6袋入
3-2-1	〔林窪屋郡長宛河島丈四郎書状〕	年未詳7月26日	横切紙	1通		
3-2-2	〔能登原多喜衛書状〕	年未詳旧3月1日	縦紙	1通		
3-2-3	〔郡役所事務分担につき諮問〕	明治13年7月26日	半・縦	仮1冊	郡長孚一→各課長	

3-2-4	〔郡役所事務分担につき建言書〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊	郡書記植田基三郎→林郡長	
3-2-5	〔植田基三郎建言書につき意見書〕	明治13年8月22日	半・竪	仮1冊	郡書記岸鼎→郡長	
3-2-6	〔諸掛名簿〕	年月日未詳	竪紙	1通		
3-3	〔山口県教育会関係書類〕			1通(仮3冊3冊)		3-3-1~6袋入
3-3-1	〔教育会出席者名簿〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊	岡山県学区取締林孚一外中四国各県より30名	
3-3-2	〔各県の教育事情報告〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊		
3-3-3	村落小学卒業後猶進而就学セント欲スル者ヲ待方法之事	年未詳3月28日	半・竪	仮1冊	広島県より提出	
3-3-4	山口紀行	明治11年3月~4月	16.3×12.2	1冊	教育会議に出席のため	
3-3-5	明治十一年四月 山口教育会議	明治11年4月	16.3×12.2	1冊	「議場席 七番 岡山取締 林孚一」とあり	
3-3-6	旅費	年月日未詳	16.3×12.2	1冊	山口行	
3-4	掌中雑記	年月日未詳	17.0×7.5	1冊	窪屋郡各村の戸長名・高・戸数、各郡の郡掛等の書付	
3-5	集翠成裘帖	年月日未詳	16.2×12.0	仮1冊	文人姓名録	
3-6	集翠成裘帳	年月日未詳	16.2×12.0	仮1冊	文人姓名録	
3-7	〔林孚一宛内田美堯書状〕	年未詳7月23日	横切紙	1通	山田方谷の祭、芳烈侯の祭典のことなど	
3-8	〔衣笠豪谷宛中桐星志はがき〕	明治29年12月13日	はがき	1通	愚作高評御礼	
3-9	〔林源十郎宛東京牛込織田完之書状〕	明治30年1月18日	横継紙	1通	衣笠氏眼病の件	封筒あり
3-10	〔林源十郎宛東京牛込織田完之書状〕	明治30年4月12日	横継紙	1通	衣笠氏大病の件	封筒あり
3-11	〔書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	田原兄弟の財産争いの件	
3-12	改正姓名録	年月日未詳	17.5×12.0	1冊		
3-13	〔小学校関係書類〕	明治11年		1袋(4冊2通)		3-13-1~6袋入
3-13-1	嘆願書	明治11年7月21日	半・竪	仮1冊	正心学舎設立により区学校への就学者減少につき 妹尾小学訓導補沢田喬外1人→第二役場戸長浮田治一郎外1人	
3-13-2	巡回訓導御差向願	明治11年7月26日	半・竪	仮1冊	乙種小学に改正要望につき 第八区務所学区取締林孚一→岡山県大書記官津田要	
3-13-3	三進小学分校へ御助金額	明治11年10月15日	竪紙	1通	当村字西村三進小学分校焼失再建につき 子位庄村人民総代高岡常太郎外2人→窪屋郡長林孚一	
3-13-4	〔通知〕	明治11年8月5日	竪紙	1通	女紅伝習所規則につき 岡山県第五課→第八区務所学務所	
3-13-5	御所分御猶予願	明治11年7月25日	半・竪	仮1冊	民費未納につき 日畑村惣爪村へ出作人民惣代赤木清次郎外1人→倉敷警察署	
3-13-6	御届	明治11年8月7日	半・竪	仮1冊	惣爪村民費未納者23名 惣爪村正副戸長→倉敷警察署	
3-14	〔林源十郎宛中桐弥作書状〕	年未詳2月28日	横継紙	1通	織田完氏、豪谷兄のことなど	
3-15	〔諸書類〕	明治		1袋(3冊9通2袋)		3-15-1~14袋入
3-15-1	〔源十郎宛孚一書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	献立の相談	
3-15-2	易安か失策	年月日未詳	竪紙	1通(2枚)	義卿の不品行につき	罰紙
3-15-3	〔林源十郎外4名宛衣笠豪谷書状〕	明治25年5月21日	竪紙	1通	山陽亭にて送別会開催の御案内	
3-15-4	〔醇平関係書類〕	年月日未詳		1袋(8通7枚)		3-15-4-1~15袋入 (袋上書)「醇平書付」
3-15-4-1	記(畳・建具等見積り書)	年未詳1月16日	横切紙	1通	醇平→尊大人	
3-15-4-2	記(博覧会辰金など)	年未詳12月25日	横切紙	1通	醇平	
3-15-4-3	御届(ひな型)	年月日未詳	横切紙	1通	印鑑及び改印届の様式	
3-15-4-4	〔詠草〕	年月日未詳	竪紙	1通	和歌10首	朱筆で「十点」等の記述あり 罰紙
3-15-4-5	〔詠草〕	年月日未詳	横切紙	1通	和歌4首	
3-15-4-6	〔人名書付〕	年月日未詳	竪紙	1通	「一月七日 二 彦次郎守義」外12筆	
3-15-4-7	〔封筒〕	年月日未詳	21.0×7.9	7枚		
3-15-4-8	〔如珊履歴〕	年月日未詳	横切紙	1通		
3-15-4-9	謹領書	明治14年1月20日	竪切紙	1通	別居につき畳建具新調代70円 不肖醇平→家大人	封筒あり
3-15-5	〔諸書類〕	年月日未詳		1袋(2冊2通)		3-15-5-1~4袋入
3-15-5-1	互市之心得	年月日未詳	横継紙	1通	交易の心得	
3-15-5-2	〔茶事的心得〕	年月日未詳	16.9×11.9	1冊		
3-15-5-3	〔浅原村溜池記念碑草稿〕	明治21年12月	竪紙	1通	林孚一撰	
3-15-5-4	御一新之実事	年月日未詳	15.5×11.6	1冊	明治維新による世相の変化さまざま	
3-15-6	〔茶道的心得〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊		
3-15-7	〔大人宛醇平書状〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊	郡長辞職の件	封筒あり
3-15-8	〔詠草〕	年月日未詳	横継紙	2通	孚一	
3-15-9	〔吉備津神社につき文稿〕	辛卯年9月	横継紙	1通	八十一老人林孚一	
3-15-10	〔山田方谷の教訓〕	年月日未詳	15.0×12.0	仮1冊	林孚一	封筒あり
3-15-11	〔子孫への教訓〕	年月日未詳	横切紙	1通	孚一	
3-15-12	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	おしどりの衾について	
3-15-13	〔黒瀬与三郎外9人宛林孚一廻状〕	明治3年(春)	横継紙	1通	世の中について語る懇親会開催の呼びかけ(力)	封筒あり(封筒上書)「温盟会発起の回状の草稿」
3-15-14	〔林孚一履歴書〕	明治15年	竪紙	1通		
3-16	上申	明治10年4月30日	竪紙	1通	倉敷村戸長原唯七を村老に伝命願 区長林孚一→長官	
3-17	〔井上信一郎外1人宛林孚一書状〕	年未詳12月26日	竪紙	1通	大橋家内紛につき	
3-18	〔倉敷村衛生問題につき意見書〕	年月日未詳	半・竪	仮1冊		
3-19	具状	丁丑(明治10)年3月	竪紙	1通	区長林孚一 以左為人(力)身元保証の件	
3-20	合併村改名可否具状	明治10年3月15日	半・竪	仮1冊	真壁村の村名につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五	

3-21	[盗賊追放につき意見書]	年月日未詳	豎紙	1通		
3-22	四方界至見込書上	明治9年12月	半・豎	仮1冊	錯雑した村境の改正につき 窪屋郡区長林孚一→長官	
3-23	[殖産政策に協力候補者書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	古新田村浮田治一郎外9人	
3-24	徴兵署之儀御届	明治10年2月	半・豎	仮1冊	徴兵検査準備につき 窪屋郡林孚一→第一課戸籍科	
3-25	名代之儀二付具状	年月日未詳	半・豎	1通	民費節減につき	
3-26	総代人議員之區別伺	明治11年2月	半・豎	1通	区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-27	具状	明治11年2月16日	半・豎	仮1冊	区長林孚一、木村光太郎を村老に任命願	
3-28	具状	明治11年1月	半・豎	仮1冊	赤山敏平の家塾願につき 第八区務所学区取締林孚一→岡山県令高崎五六	
3-29	[誓約書]	年月日未詳	豎紙	1通	平松清次郎跡山川文二後見同人母八重帳簿清算につき裁判所にて過言の件	
3-30	翠葺襍抄	丙寅年4月16日	半・豎	仮1冊	湯武論など抜書	
3-31	葭生地拝借願	明治11年8月1日	半・豎	仮1冊	葭生場所は不残上郷村々へ拝借願 第八区務所詰区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-32	八月廿六日暴風之景況上申	明治10年8月27日	豎紙	1通	区長兼勸農掛林孚一→岡山県令高崎五六	
3-33	具状	明治10年6月8日	半・豎	仮1冊	辞職引き止めの件 都窪郡長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-34	伺書御指令願	明治10年8月22日	豎紙	1通	各区よりの伺書に対する返答洩れをなくす件 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-35	御指令拝願御届	明治10年9月1日	豎紙	1通	3-34の件、採用につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-36	藻刈之儀上申	年未詳8月19日	豎紙	1通	広島県より藻拾い船につき 林孚一→岡山県大書記官津田	
3-37	合併村改称成否御達願	明治10年12月1日	半・豎	仮1冊	軽部村の内柿木を三輪村に合併の件 第八区務所詰区長林孚一→岡山県大書記官津田要	
3-38	立入副戸長増給願	明治10年12月5日	半・豎	仮1冊	惣爪村紛擾につき加茂村より和気俊郎戸長に立入の件 第八区務所詰区長林孚一→岡山県大書記官津田要	
3-39	煮茶謹之口道路修繕願	明治11年7月	半・豎	仮1冊	酒津村字煮茶謹青山半腹の難路修繕につき 第八区務所詰区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-40	県税掛人撰上申	明治10年8月18日	豎紙	1通	副戸長大久保尚平を推薦 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-41	区費之月表御督促二付上申	明治10年8月18日	豎紙	1通	窪屋郡区長林孚一→第三課民費掛	
3-42	口口村後職上申	明治10年3月	半・豎	仮1冊	口口村新民古民紛議につき戸長辞職の件 区長林孚一→岡山県令高崎五六	身分関係
3-43	角田釵次郎煙草廃業願添書	明治10年8月15日	豎紙	1通		
3-44	作物生立御届	明治10年8月18日	半・豎	仮1冊	虫害の件 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-45	待罪書	明治10年11月22日	豎紙	1通	窪屋郡宿銅鉦試掘につき取調疎漏の件 第八区務所詰区長林孚一→岡山県大書記官津田要	
3-46	起業公債募集	年月日未詳	半・豎	仮1冊	倉敷村大原荘平外14人	
3-47	具状	明治11年8月8日	豎紙	1通	倉子城校教員簿給につき退校の件 第八区務所学区取締林孚一→岡山県大書記官津田要	
3-48	御扶助料御給与願	明治10年8月23日	半・豎	仮1冊	俸甚蔵西南の役にて戦死のため落胆老衰につき扶助願 倉敷村字船倉仁科美津→長官	
3-49	[三条教則・五箇条誓文]	年月日未詳	半・豎	仮1冊		
3-50	府代米之儀伺	明治11年8月18日	豎紙	1通	福田新田開発につき上郷村々へ相渡条約の府代米の件	
3-51	民蓄方法御届	明治9年11月	半・豎	仮1冊	地租改正により窪屋郡増税となり困窮につき	
3-52	堤防之儀二付至急御伺	明治13年8月6日	半・豎	仮1冊	富井村堤防噴出箇所修繕の件 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-53	旧小田県学校貯蓄金之儀御下問二付上申	明治10年10月8日	半・豎	仮1冊	区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-54	大生徒申合之儀御届	明治10年9月8日	半・豎	仮1冊	盗賊追放につき 窪屋郡区長林孚一→長官	
3-55	虎列刺医師御手当之儀二付伺	明治13年7月30日	豎紙	1通	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-56	商法見込之儀御願書	明治6年1月	半・豎	仮1冊	通商会社取立につき 酒津村・倉敷村5人→小田県権令矢野光儀	
3-57	師範学校費明細表御下願	明治10年6月13日	豎紙	1通	区長林孚一→第五課	
3-58	[淫祠廃止につき意見書]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	窪屋郡 林孚一 酒津村青江山金陽物大明神のことなど	
3-59	上申	明治11年1月29日	豎紙	1通	笹沖・四十瀬・沖村三校合併の件 区長学区取締林孚一→岡山県第五課	
3-60	[通達]	明治11年1月18日	半・豎	仮1冊	地所売買につき差縫れの件 区務所詰林孚一→福山彦六・片山升平	
3-61	具状	明治11年2月	半・豎	仮1冊	横田定次郎家相続問題 区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-62	大生徒申合之儀伺書	明治10年7月	半・豎	仮2冊	盗賊追放の件 窪屋郡区長林孚一→長官	
3-63	弊風矯正之義上申	明治10年5月	半・豎	仮1冊	村吏退職の際の文書引継につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-64	戦死御届	明治10年6月30日	半・豎	仮1冊	白楽市村武内半平、西南の役にて戦死	
3-65	私塾願出し二付御伺	年月日未詳	豎紙	1通	元寺子屋教師失業につき	
3-66	合併村々名之儀御願	明治10年7月7日	半・豎	仮1冊	真壁村外4か村合併につき 区長林孚一→大書記官津田要	

3-67	具状	明治10年1月19日	縦紙	1通	十七小区副戸長辞職につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-68	格眼紙御下渡願	明治9年12月	半・縦	仮1冊	旧藩領取調につき 窪屋郡長林孚一→第三課地籍掛
3-69	会議所心得	明治10年3月	半・縦	仮1冊	
3-70	[書状]	年月日未詳	縦紙	1通	潮上勘吉金談の件
3-71	印紙貼用之儀伺書	明治10年9月3日	半・縦	仮2冊	窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-72	地籍図清書之儀二付伺	明治12年3月	縦紙	1通	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六
3-73	悪弊御洗除之儀伺書	明治10年8月22日	縦紙	1通	山伏取締につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-74	区戸長心得次第十九条之儀伺	明治10年11月15日	縦紙	1通	区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-75	[区戸長・教員・大生徒心得]	年月日未詳	縦紙	仮1冊	
3-76	御改正二付愚意上申	明治10年10月24日	半・縦	仮1冊	正副戸長給料につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五
3-77	具状	年月日未詳	半・縦	仮1冊	区長林孚一 墮胎禁止につき
3-78	月給減額願	(明治12年)	半・縦	仮1冊	私(郡長)の給料を減らし、他吏員を増給するように要望
3-79	鉱山試掘奥書手続書	明治10年11月7日	半・縦	仮1冊	二十六小区風早保太郎外3人よりの試掘願につき 区長林孚一→第二課
3-80	具状	明治10年7月	半・縦	仮1冊	石川莫太郎巡查取立願 区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-81	窪屋郡難渋所御検査願	明治10年11月8日	半・縦	仮1冊	地租改正により租額増大のため難渋の件 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-82	具状	年未詳1月	縦紙	1通	抵当米俵製の件 区長林孚一→長官
3-83	[淫祠廃止につき意見書]	年月日未詳	縦紙	1通	
3-84	村字記載之儀御願	明治11年1月	縦紙	仮1冊	旧岡山藩領村々の地名表記慣行につき 区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-85	奥書難仕二付伺書	明治11年2月22日	半・縦	仮1冊	有城村祈禱者藤原万衛入門届につき 第八区務所区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-86	悪弊御洗除願	明治10年6月15日	縦紙	仮1冊	山伏取締願 窪屋郡区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-87	奥書手続再上申	明治10年11月14日	縦紙	仮1冊	二十六区銅鉱試掘願につき 区長林孚一→岡山県第二課
3-88	[伺書の迅速処理につき意見書]	年月日未詳	縦紙	1通	
3-89	上申	明治11年7月3日	縦紙	1通	高谷幾太郎のこと 区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-90	[地租改正による増租につき意見書]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	
3-91	[小川嘉平宛林孚一書状]	年未詳7月7日	縦紙	1通	転勤の件
3-92	議題	年月日未詳	縦紙	1通	興行免許につき
3-93	蝗虫之景況上申	明治11年7月27日	半・縦	仮1冊	藺草の虫につき 第八区務所詰区長林孚一→岡山県第二課 勸業科
3-94	[諸願綴]	明治8年	半・縦	仮1冊	酒造株の件(左院あて)、中島村の村名の件、道路左側通行の件、三宅定太郎の件など
3-95	黒崎村銅鉱事件伺二付上申	明治11年1月19日	半・縦	仮1冊	第八区務所詰区長林孚一→岡山県令高崎五六
3-96	戸籍編成之儀伺書	丁丑(明治10)年3月13日	縦紙	1通	区長林孚一外2人
3-97	脚夫之儀伺書	明治10年7月4日	半・縦	仮1冊	窪屋郡区長林孚一→岡山県大書記官津田要
3-98	[諸願伺綴]	明治10年	半・縦	仮1冊	村境改正の件、地租改正の件、新平民の件、校長の件、抵当米取調書上、村費節減の件、教員転勤の件、村名改称の件、裁縫師範学校の件など
3-99	有師社之記	年月日未詳	半・縦	仮1冊	懇話会結成につき
3-100	浚河手当貯蓄之儀上申	明治10年8月26日	半・縦	仮1冊	高梁川浚渫につき 区長林孚一→第三課
3-101	具状	明治11年6月18日	半・縦	仮1冊	習字塾再興により小学校衰微の件 八区務所学区取締林孚一→岡山県令高崎五六
3-102	医学研究之儀御願	明治11年6月6日	半・縦	仮1冊	医学講習所廃止反対 第八区務所区長林孚一→長官
3-103	[藤戸村霞生場事件につき意見書]	年月日未詳	縦紙	1通	小田県管下倉敷村林孚一 日々新聞の投書に反論
3-104	開墾之儀御用捨願	明治10年7月16日	半・縦	仮1冊	窪屋郡村々惣代 興除新田堤外附寄洲開墾反対
3-105	脚夫之儀伺書	明治10年7月4日	半・縦	仮1冊	区長林孚一→岡山県大書記官津田要
3-106	上申	明治9年10月	半・縦	1通	区長林孚一 原唯七戸長辞職につき
3-107	陳述	明治13年4月9日	半・縦	1通	倉敷分署巡查世津谷祥策の昇格願 林孚一→高津暉
3-108	流行病之節施薬之儀伺	年月日未詳	半・縦	仮1冊	コレラ流行につき
3-109	柳蔵妻安孝行之儀具状	明治13年4月	縦紙	2通	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六
3-110	阿智神社旧復願添書	明治13年4月24日	縦紙	仮1冊	郷社に復旧願 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六
3-111	戸長職務的任之者上申	明治13年6月21日	縦紙	1通	木山精一を推薦 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六
3-112	種痘之儀二付上申	明治12年2月	半・縦	仮1冊	種痘の謝儀につき 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六
3-113	[興除新田堤外土族授産開拓反対願書]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	
3-114	[若連中の悪弊取締願書]	戊寅(明治11)年5月24日	半・縦	仮1冊	区務所→第七役場
3-115	[明治13年高梁川洪水日録]	(明治13)年6月~7月	半・縦	仮1冊	窪屋郡長林孚一
3-116	銅鉱試掘之場所境界不判然二付奥書相断候儀上申	年月日未詳	縦紙	1通	中庄村字砂場銅鉱の件 第八区務所区長林孚一→岡山県第二課鉱山掛
3-117	奇特之者上申	明治12年2月	半・縦	仮3冊	倉敷村永井伊勢吉井妻霜の親孝行につき 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六
3-118	祠掌之儀具状	年月日未詳	半・縦	仮1冊	神官の人選につき
3-119	蛭巫興廢之儀伺書	明治10年9月	縦紙	1通	窪屋郡区長林孚一→長官

3-120	巫舞之儀二付伺書	明治10年9月15日	豎紙	1通	窪屋郡区長林孚一→長官	
3-121	変則小学校御施行願	年月日未詳	豎紙	1通	小学校習字時間増加につき	
3-122	女紅場二入女子年齢之儀伺	明治11年5月28日	半・豎	1冊	第八区務処詰学区取締林孚一→岡山県令高崎五六	
3-123	上申	明治11年5月	豎紙	1通	孝貞者褒賞願 区長林孚一→長官	
3-124	小学火災二付歎願	年月日未詳	豎紙	1通	子位庄村小学校再建につき	
3-125	社頭衰漸之景況二付上申写	明治10年12月	半・豎	1冊	旧神官を復帰させ一社一神官とすべきこと 第八区務所詰区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-126	入費割賦方伺書	明治11年4月30日	豎紙	1通	輸出入物品取調につき 区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-127	上申	明治11年4月	半・豎	1冊	第七役場合併猶予願 区長林孚一→県令	
3-128	具状	明治10年6月	豎紙	1通	守安寿安より上申の件 林孚一→岡山県大書記官津田要	
3-129	旧学校御下願	明治13年11月	半・豎	1冊	旧学校(玉泉寺)を集会所に利用願 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-130	〔東京府浅草瓦町日報社の記事訂正要求〕	年月日未詳	豎紙	1通	林孚一、児島郡の開墾場相論の記事につき	
3-131	〔回答〕	明治12年1月9日	豎紙	1通	倉敷村永井伊勢吉妻志茂孝養上申の件 窪屋郡役所→倉敷警察署	
3-132	徴兵之儀二付上申	明治15年12月2日	半・豎	1冊	免役規定、検査方法改善要求 窪屋郡長林孚一→岡山県大書記官高津暉	
3-133	〔条約書〕	明治11年5月25日	豎紙	1通	浮田治一郎地所の件 林孚一→石黒武吉外2人	
3-134	上申	明治11年5月	豎紙	1通	井上政吉による貧民救済のこと 区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-135	私家塾規則之儀伺	明治11年9月4日	豎紙	1通	小学生徒の入塾規制につき 第八区務所学区取締林孚一→岡山県第五課	
3-136	上申	年月日未詳	豎紙	1通	中庄村銅山試掘の件 八区務所区長林孚一→岡山県第三課鉱山掛	
3-137	大審院ヨリ御達之儀二付上申	(明治11)年	半・豎	1冊	倉敷村古城榎次郎と野崎武吉郎の葛藤事件を渾大坊埃二が仲裁のこと 第八区務所第七役場詰戸長木村光太郎→岡山県令高崎五六	
3-138	待罪書	明治11年9月13日	豎紙	1通	倉敷村古城榎次郎大審院へ出頭のこと 第八区務所詰区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-139	人民頭髪之儀上申	明治10年8月	半・豎	1冊	寡婦の断髪は法令違反なりや 倉敷村羽栗淵→岡山県令高崎五六	林孚一の上申書合綴
3-140	〔上申〕	明治9年10月	豎紙	1通	大内毅一郎聴訟課にて尋問の件 窪屋郡区長林孚一→岡山県七等判事西毅一	
3-141	上申	明治11年7月	半・豎	1冊	宝師増哲が豪溪天柱石上に金仏を安置し行場を唱えて愚民を煽動の件 第八区務所詰区長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-142	印紙御視査御猶予願	年月日未詳	豎紙	1通	盆前にて人民迷惑につき 窪屋郡区長林孚一→岡山県第三課堀通	
3-143	□□村貧民願ノ具状	明治10年8月17日	豎紙	1通	区長林孚一、□□村新民の取扱につき	身分関係
3-144	印紙罫紙売捌之儀伺	明治12年1月6日	豎紙	1通	窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	
3-145	□□村戸長撰拳二付出願之添書	明治12年1月	半・豎	1冊	投票に不正ある由 窪屋郡長林孚一→岡山県令高崎五六	身分関係
3-146	活語略図	年月日未詳	豎紙	1枚	文法活用表	木版
3-147	奉矢野権令書	明治7年7月5日	半・豎	1冊	小田県第六大区安那郡栗根村窪田次郎 県会開設要求	
3-148	受領証	明治12年1月12日	豎紙	1通	治水関係書類一切引渡 治水担当委員総代西坂村高尾仙作→故治水掛り林孚一	袋入
3-149	〔書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	戸長・保長給につき	
3-150	〔書付〕	年月日未詳	豎紙	1通	灸のすえ方など	
3-151	尊良親王御真跡古今集写	嘉永2年11月	色紙	1枚	空洞先生御恵物	袋入 極書あり
3-152	〔副戸長給料関係書類〕	明治10年	半・豎	1冊		袋入
3-153	〔封筒〕	年月日未詳	27.0×12.0	1枚	「詞華社」	
3-154	〔詞華社上半期決算書〕	明治22年9月4日	17.0×12.0	1冊	林孚一→詞華社	封筒入
3-155	〔倉敷林孚一宛笠岡森田佐平書状〕	年未詳8月30日	横継紙	1通	大旱魃の件	
3-156	名を撰心得	明治20年~29年	横切紙	18通	羽栗義三郎長女の命名書など	袋入
3-157	後水尾院宸筆	年月日未詳	短冊	1枚	和歌	包紙あり
3-158	〔林孚一宛東京富士見町片山重範書状〕	明治11年2月17日	横継紙	1通	森田未亡人のこと、招魂碑募金のことなど	封筒あり
3-159	〔車夫・荷車など通行心得〕	年月日未詳	横継紙	1通		
3-160	〔願書〕	年月日未詳	横継紙	2通	平田村道路修繕に正風社協力のこと	
3-161	〔文法につき書付〕	年月日未詳	豎紙	1枚		
3-162	小学校凡見積	年月日未詳	17.0×12.0	1冊	3間×10間を4棟、400人	
3-163	〔通達〕	明治9年12月28日	豎紙	1通	早災につき貧民貸下金取調 岡山県令高崎五六→各郡正副戸長	封筒あり
3-164	〔甘露庵外8人宛林孚一廻状〕	年未詳6月5日	横継紙	1通	内田翁東京より下向につき尚齒会開催案内	
3-165	〔黒瀬外10人宛林孚一廻状〕	年未詳6月5日	横継紙	1通	内田翁東京より下向につき尚齒会開催案内	
3-166	〔会計報告〕	年未詳8月30日	横継紙	1通	林孚一→黒瀬外13人	封筒あり
3-167	可竹翁追悼	年月日未詳	横切紙	1通	小野春堯→林	
3-168	断魚溪景物	年月日未詳	折紙	1通		



3-169	[林宛春発書状]	年月日未詳	横切紙	1通	和歌の添削	
3-170	[林宛小野春発書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通	訪問の日程、和歌	封筒あり 別紙とも
3-171	[春発書状]	年月日未詳	横継紙	1通	和歌につき	
3-172	断魚溪題詠	明治20年8月	18.0×13.0	1冊	石見国邑智郡井原村野田慎外1人	活版
3-173	[和歌短冊]	年月日未詳	短冊	2枚	義路	
3-174	[大橋外8人宛林孚一書状]	年未詳8月16日	縦紙	1通	小野先生謝礼につき	
3-175	[各様宛林孚一書状]	年未詳1月23日	横切紙	1通	歌会費のこと	
3-176	[森田外7人宛林孚一廻状]	明治23年2月	横継紙	2通	小野大人謝礼、藤原忠朝出府	封筒入
3-177	[林孚一宛警梨郡元沖村藤原忠朝書状]	明治23年12月20日	横継紙	1通	御社中の和歌添削不調法のこと 鉄道工事見物のこと	封筒あり
3-178	[詞華会御社中宛林孚一廻状]	年未詳6月20日	横継紙	1通	出席依頼	封筒あり
3-179	[林源十郎宛東京牛込区衣笠豪谷はがき]	明治25年7月	はがき	1通	為替行達のこと、酒量減少のことなど	
3-180	[林源十郎宛甲府錦町衣笠豪谷はがき]	明治26年4月	はがき	1通	明石展覧会のことなど	
3-181	[林源十郎宛甲州上吉田町衣笠豪谷はがき]	明治26年8月28日	はがき	1通	富士登山のこと	
3-182	[林源十郎宛東京牛込区衣笠豪谷はがき]	明治27年8月2日	はがき	1通	韓廷大改革のことなど	
3-183	[林源十郎宛神戸衣笠豪谷書状]	明治30年2月19日	はがき	1通	昨夜当地着	
3-184	[林源十郎宛京都府北笠置村衣笠豪谷はがき]	明治30年2月21日	はがき	1通	奈良・笠置山など見物	
3-185	[林源十郎宛東京牛込中町衣笠豪谷はがき]	明治30年2月25日	はがき	1通	上野・月瀬・名古屋を経て着京	
3-186	[林源十郎宛織田完之はがき]	明治30年4月16日	はがき	1通	衣笠氏病気のこと	
3-187	[林源十郎宛織田完之はがき]	明治30年4月20日	はがき	1通	衣笠氏病気のこと	
3-188	[香]	年月日未詳		2包		
4-1	[林宛巳口郎書状]	年月日未詳	横切紙	1通	金子御渡し	
4-2	[林源十郎宛植田鶴次郎書状]	甲戌年12月2日	横切紙	1通	西山氏講金算用など	
4-3	記(50円請取)	乙亥年9月5日	横切紙	1通	木山精一→林源十郎	
4-4	記(取替金50円)	明治8年12月1日	横切紙	1通	大原莊平→林正太郎	
4-5	覚(金銭算用)	辛未年8月22日	横継紙	1通	植田助衛→林源十郎	
4-6	記(取替金103円)	明治9年8月28日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
4-7	禄(植木代など算用)	申年3月18日	横継紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
4-8	覚(多田氏へ御用達金80両)	申年4月8日	横継紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
4-9	記(書籍代請取)	明治7年9月6日	横切紙	1通	植田孫太郎→林	
4-10	録(取替金100円)	年未詳12月2日	横切紙	1通	植田孫太郎→林余三郎	
4-11	記(御用達金子300円)	明治6年8月30日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
4-12	録(御用立金101円)	年未詳2月3日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
4-13	覚(金48両請取)	申年3月2日	横切紙	1通	植田孫太郎→林源十郎	
4-14	記(1000円の利足金100円請取)	甲戌年2月13日	横継紙	1通	植田鶴次郎→林源十郎	
4-15	仮受取(取替金50円)	明治8年12月15日	横切紙	1通	大原壯平→木山精一	
4-16	算用書	戌年12月2日	横継紙	1通	植田孫太郎代植田鶴次郎→林源十郎	
4-17	[林源十郎宛植田鶴次郎書状]	亥年2月18日	横継紙	1通	地利米勘定の件	封筒あり 算用書とも
4-18	証(学校資本金40円)	明治9年5月29日	横切紙	1通	木山精一→黒瀬道次郎	包紙あり
4-19	証(半期分手当金10円)	明治9年2月	縦紙	1通	総学区取締後藤樵→第五課	包紙あり
4-20	久里の杖	年月日未詳	19.0×17.0	1枚	俳句	木版 封筒あり
4-21	[源助宛修三書状]	年未詳9月29日	横切紙	1通	刀売得の金不足につき	包紙あり
4-22	[大坂屋源介宛長沢彦太郎書状]	年未詳10月晦日	横継紙	1通	佐々木講出銀につき	包紙あり
4-23	[沢屋吉兵衛宛長沢彦太郎書状]	年未詳10月晦日	横継紙	1通	講出銀延引の件	
4-24	[封筒]	丑年	16.0×5.0	1枚	佐々木講銀につき、天城長沢彦太郎落札、粒浦村利太郎	
4-25	[竜野平井義右衛門宛三宅新右衛門書状]	年未詳10月11日	横継紙	1通	小野より、江戸の画工佐藤正持の紹介状	未開封
4-26	[若松屋喜市宛筑後京屋伊兵衛書状]	年未詳閏5月12日	横継紙	1通	この方は江戸の書家にて(紹介状)	
4-27	[林源十郎宛西山澄書状]	年未詳11月12日	縦紙	1通	講入札につき	
4-28	[林父子宛野上書状]	年月日未詳	横切紙	1通	借金の件	
4-29	[林源十郎宛児玉与十郎書状]	年未詳11月7日	横切紙	1通	薬種代残金の件	
4-30	[林成斎宛植田孫太郎書状]	年未詳11月25日	縦紙	1通	尊家土地売得につき	
4-31	[借金につき書付]	年月日未詳	縦紙	1通	百川元町江戸屋茂左衛門	
4-32	[借金につき書付]	年月日未詳	縦紙	1通	増上寺前寅吉	
4-33	記(小学校入費150円)	戌年2月1日	横切紙	1通	木村光太郎→林源十郎	
4-34	記(本校入費請取)	年未詳9月	横切紙	1通	小学事務→林源十郎	
4-35	覚(授業料請取)	年未詳8月3日	横切紙	3通	小学幹事→林蘇太郎・林義太郎・吉田卯三郎	
4-36	[林家所有地高反別代価書上]	年月日未詳	横長	1通	小七区林文二・源十郎・正太郎	
4-37	請取書	甲戌年	折紙	1通	植田鶴次郎	
4-38	岡山積金扱所通帳	明治14年	折紙	1通	岡山積金扱所→林源十郎	封筒あり 報告書など2通同封
4-39	記(利息請取)	乙亥年3月	横継紙	2通	植田鶴次郎→林源十郎	封筒あり
4-40	記	明治7年1月28日	縦紙	1通	家名再興の心構えにつき申し渡し 孚一→文二	
4-41	禁制 (写)(コピー)	天正6年9月	縦紙	1通	乱坊・伐採など停止 日向守→円通寺	
4-42	[触] (写)(コピー)	天正7年8月24日	縦紙	1通	赤井五郎成敗につき還住のこと 光秀→氷上郡寺庵・高見山下町人外	
4-43	[備作諸城主書上] (写)(コピー)	天正	縦紙	1通	將軍義昭の安芸下向につき 松山城主三村元親外14人	

5-1	〔和歌・花鳥画短冊〕	年月日未詳	短冊	105枚	雲仙・梅因・美堯・義彦・春望・秋郎・空淵・孚一・伴臣・千座・精一・義路・此輩・小諸・羽洲外	箱入
6-1	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、美作に遊して	木箱入 旧番118
6-2	〔書幅〕(和歌)	明治14年12月	掛軸	1幅	孚一筆、新居の飯田氏へよみ遣す	木箱入 旧番112
6-3	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番113
6-4	〔書画幅〕(海老と達磨)	年月日未詳	掛軸	1幅	雲仙筆、孚一賛	木箱入 旧番114
6-5	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番115
6-6	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	年筆	木箱入 旧番116
6-7	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番105
6-8	〔書画幅〕(犬)	年月日未詳	掛軸	1幅	雲仙筆、孚一賛	木箱入 旧番106
6-9	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番107
6-10	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(74才)	木箱入 旧番108
6-11	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番109
6-12	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番122
6-13	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番118 6-13・14・15同じ箱
6-14	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番118
6-15	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番118
6-16	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番119 6-16・17・18同じ箱
6-17	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番119
6-18	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番119
6-19	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番120 6-19・20・21同じ箱
6-20	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番120
6-21	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番120
6-22	〔書画幅〕(紅葉)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番110
6-23	〔書画幅〕(太陽)	年月日未詳	掛軸	1幅	金峨筆、孚一賛(81才)	木箱入 旧番124 6-23・24同じ箱
6-24	〔書画幅〕(月)	年月日未詳	掛軸	1幅	金峨筆、孚一賛	木箱入 旧番124
7-1	〔書幅〕(俳句)	明治16年11月	掛軸	1幅	孚一筆(73才)	
7-2	〔書画幅〕(雛人形・桃)	年月日未詳	掛軸	1幅	菅原(秋山)胤彦筆、孚一賛	
7-3	〔書画幅〕(富士・松原)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	
7-4	〔書幅〕(漢詩)	明治23年10月	掛軸	1幅	梧陰居筆(林孚一)(80才)	
7-5	〔書画幅〕	丙戌年夏	掛軸	1幅	竹露筆、孚一賛(76才)	
7-6	〔書幅〕(長歌)	明治19年1月	掛軸	1幅	林孚一筆、人をいさむる歌	
7-7	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(82才)	
7-8	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	
7-9	〔書画幅〕	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(81才)、節句につき	木箱入
7-10	〔書画幅〕(達磨)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番130
7-11	〔書画幅〕(燕)	年月日未詳	掛軸	1幅	林孚一筆(82才)	木箱入 旧番131
7-12	〔書幅〕(和歌)	明治23年1月	掛軸	1幅	林孚一筆、孫誕生につき	木箱入 旧番132
7-13	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番133
7-14	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(75才)	木箱入 旧番134
7-15	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番135
7-16	〔書幅〕(戯歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	不逸筆、梧蔭翁情歌	木箱入 旧番136
7-17	〔書幅〕	明治23年5月	掛軸	1幅	梧陰居(林孚一)筆、藤本鉄石の追憶	木箱入 旧番137
7-18	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入
7-19	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番138
8-1	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 126.5 × 51.5	1幅	重胤筆	旧番60
8-2	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 137.5 × 14.0	1幅	重胤筆	木箱入 旧番94 8-2・3同じ箱
8-3	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 137.5 × 14.0	1幅	重胤筆	木箱入 旧番94
8-4	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 89.0 × 30.5	1幅	重胤筆、赤心報国	木箱入 旧番90
8-5	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 130.0 × 26.0	1幅	重胤筆、尊氏につき	木箱入 旧番87 8-5・6同じ箱
8-6	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 130.0 × 26.0	1幅	重胤筆、大塔宮につき	木箱入 旧番87
8-7	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.0 × 26.0	1幅	重胤筆、万里小路卿につき	木箱入 旧番88 8-7・8同じ箱
8-8	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.0 × 26.0	1幅	重胤筆、新田中將につき	木箱入 旧番88
8-9	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 130.0 × 26.5	1幅	重胤筆、名和君につき	木箱入 旧番89 8-9・10同じ箱
8-10	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 130.0 × 26.5	1幅	重胤筆、楠公につき	木箱入 旧番89

9-1	〔画幅〕(松)	年月日未詳	掛軸	1幅	古鉄頑氏口幹狀筆、林老古稀	旧番34
9-2	〔書幅〕(漢詩)	年月日未詳	掛軸	1幅	中洲筆、林翁70才	旧番33
9-3	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、僧月照につき	木箱入 旧番12 190×79cm
9-4	〔書幅〕(座右之銘)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(78才)	木箱入 旧番21
9-5	〔書幅〕(長歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(77才)、多田清女42才賀	木箱入 旧番24
9-6	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、西郷隆盛につき	木箱入 旧番9 191×79cm
9-7	〔書幅〕	明治17年5月	掛軸	1幅	林孚一筆、林子平が姪日下久女子に与えた文	木箱入 旧番11
9-8	〔書幅〕	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、嫌物・好物につき	木箱入 旧番97
9-9	〔書幅〕	年月日未詳	掛軸	1幅	林孚一筆(82才)、不飽者につき	木箱入 旧番102
9-10	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(82才)	木箱入 旧番98
9-11	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番101
9-12	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番100
9-13	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(75才)	木箱入 旧番99
9-14	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(82才)	木箱入 箱番103
10-1	〔和歌短冊帳〕	年月日未詳	折本	125枚	円澄・忠朝・薫子・直助・竹香・幸文・浅子・玉樹・美堯・年麻呂・小橋・春発・浜臣・千座・秋郎・清隆・義路・此輩・梅因・広真・月将・聞元・正敬・寛司・正次・正寛・直諒・良江・延平・松霧・寿夫・止月・春成・玉秀・彦夫・知方・惟益・清名・永俊・封拙・掌山・鼎・勉幸・作夫・月岑・祖矩・恒興・精一・岐(立石)・	
10-2	〔和歌短冊帳〕	年月日未詳	折本	100枚	義彦・孚一(林)・惟徳・伴臣	
10-3	〔和歌短冊帳〕	年月日未詳	折本	48枚	織仁(有栖川宮)・実隆・光広・了何・義言・大平(本居)・高尚(藤井)・広足・景樹(香川)・直好・忠友・斐雄・幸文(木下)・季和・直助・忠熙(近衛)・有功(千種)・忠能・隆正(大国)・東雄・忍介・具視(岩倉)・安芳・藹々・蓮月(大田垣)・みち子・竹冷、一鳳、寛斎外	
10-4	〔和歌短冊帳〕	年月日未詳	折本	99枚	孚一(林)	
10-5	〔和歌・絵画短冊帳〕	年月日未詳	折本	121枚	晃山(石川)・景年・雲仙、一碧楼、竹崖、竹隠、忠行、通明、碧海、盛久、通世、安道、経興、蓮月(大田垣)、女式部、隆正(大国)、俊世、景嗣、雅雄、頼覚、素堂、真堂、斐雄、景光、隆衛、長秋、隆璉、良近、幸文(木下)、良国、武文、有敏、不明、守澄、貞幹、明、正樹、高幹、慶徳、厳彦、達世、美穂子(松原)、芳樹、御年、作夫、清綱、義路、霰、此輩、有功(千種)、春望、義彦、信成、直助、正道、重保、久幸、教包、篤胤(平田)、尊孫、国臣(平野)、宣長(本居)、真淵(賀茂)、古松軒(古川)、大平(本居)、年平、依平、諸平、景樹(香川)、元禎、忠熙(近衛)、直入(田野村)、堂彦、英斎、玉江、思斎、胤彦(秋山)、季吟(北村)、芳洲、香雨、千崖、素行、淇竹、士明、千座、哩軒、真事、薫子、興之、真空、景頼、重胤(鈴木)、繁禎、種松、有年、景範、源真彦、清先(小寺)、光敬、曾良(河井)、除風外	
10-6	〔和歌・俳句・絵画短冊帳〕	年月日未詳	折本	100枚	篤胤(平田)、尊孫、国臣(平野)、宣長(本居)、真淵(賀茂)、古松軒(古川)、大平(本居)、年平、依平、諸平、景樹(香川)、元禎、忠熙(近衛)、直入(田野村)、堂彦、英斎、玉江、思斎、胤彦(秋山)、季吟(北村)、芳洲、香雨、千崖、素行、淇竹、士明、千座、哩軒、真事、薫子、興之、真空、景頼、重胤(鈴木)、繁禎、種松、有年、景範、源真彦、清先(小寺)、光敬、曾良(河井)、除風外	
10-7	〔和歌短冊帳〕	年月日未詳	折本	55枚	弓雄、式部、頼孝、方谷(山田)、公允、義彦、壘夫、忠秋、仲聴、美静(福羽)、建通、斐雄、実愛、東雄、千蔭、敦、盛久、玉樹、豊、秀満、義門、隆正、淳子、春発、幸文(木下)、国安、正樹、敬儀、広道、定政、清綱、芳樹、高枝、弘訓(足代)、景樹(香川)、正蔭外	
10-8	〔和歌短冊〕	年月日未詳	折本	63枚	高尚(藤井)、八千房、作夫、淳子、敬儀、清直、小諸、正風、此輩、安道、重胤(鈴木)、芳樹、務(小野)、有功(千種)、忠朝、康親、逸民、正、政章、海重、玄仲、春岡、広道、宗蝶、景敏、克巳、梁岳、直好、綾山、千楯、美穂子(松原)、清之、景賢、蜀山、春望、晚香、大平(本居)、隆正、貞行、南洋外	
10-9	〔和歌色紙〕	年月日未詳	色紙	5枚	寛(与謝野)、旭信、楽翁外	
11-1	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.5×62.0	1幅	孚一筆	木箱入 旧番31
11-2	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.0×61.5	1幅	孚一筆	木箱入 旧番29
11-3	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.0×61.5	1幅	孚一筆	木箱入 旧番32
11-4	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.0×61.5	1幅	孚一筆	木箱入 旧番30
11-5	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番17
11-6	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、木戸公叙位につき	木箱入 旧番27
11-7	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 133.0×65.0	1幅	孚一筆(73才)、木戸公叙位につき	木箱入 旧番19
11-8	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番18

11-9	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 129.0 × 62.0	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番28 11-9~124幅対「春夏秋冬」
11-10	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 128.0 × 63.0	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番23
11-11	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 127.5 × 62.0	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番26
11-12	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 128.0 × 63.0	1幅	孚一筆(81才)	木箱入 旧番25
12-1	〔書幅〕(漢詩)	年月日未詳	掛軸	1幅	森田益(節齋)筆、備後三郎題桜図	木箱入 旧番42
12-2	〔書画幅〕(蟹)	年月日未詳	掛軸 107.0 × 30.5	1幅	孚一筆、春望賛	木箱入
12-3	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸 133.0 × 30.0	1幅	孚一筆	木箱入 旧番91
12-4	〔書幅〕(和歌)	明治23年1月	掛軸 110.0 × 38.5	1幅	孚一筆(80才)、孫誕生につき	木箱入 旧番4
12-5	〔書幅〕	明治16年6月	掛軸 28.0× 45.0	1幅	林易安筆、利休居士壁書	木箱入 旧番6
12-6	〔書画幅〕(孚一像)	明治17年	掛軸 124.0 × 36.0	1幅	東陽筆、孚一賛(74才)	木箱入 旧番10
12-7	〔書幅〕(長歌)	年月日未詳	掛軸 29.5× 47.0	1幅	孚一筆(76才)、紅葉を見て	木箱入 旧番13
12-8	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(79才)	木箱入 旧番37
12-9	〔書幅〕(漢詩)	年月日未詳	掛軸 121.0 × 45.0	1幅	孚一筆力	木箱入 旧番38
12-10	〔書幅〕(長歌・短歌)	明治20年1月	掛軸 111.0 × 49.5	1幅	孚一筆(77才)、酒について	木箱入 旧番39
12-11	〔書幅〕(長歌)	明治18年6月	掛軸 31.0× 55.0	1幅	孚一筆(75才)、父母への思い	木箱入 旧番40
12-12	〔書画幅〕(蘭竹)	癸未年	掛軸	1幅	半閑筆、山屋石井英賛	木箱入 旧番41
12-13	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆	木箱入 旧番61
12-14	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(82才)	木箱入 旧番72
12-15	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆(79才)	木箱入 旧番73
12-16	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、藤原大人の菊見	木箱入 旧番74
12-17	〔書画幅〕(七草)	年月日未詳	掛軸	1幅	雲仙筆、孚一賛(76才)	木箱入 旧番75
12-18	〔書画幅〕(門松)	年月日未詳	掛軸	1幅	雲仙筆、孚一賛(76才)	木箱入 旧番76
12-19	〔書幅〕(和歌)	年月日未詳	掛軸	1幅	孚一筆、開拓使官有物払下につき	木箱入 旧番77
13-1	〔大桂楼の額〕	年月日未詳	扁額	1枚	穂積重胤筆	
14-1	〔天王山合戦図〕	明治17年	巻物	1巻	天正10年、秀吉対光秀 林孚一の略歴あり	
15-1	〔日記〕(作州行)	(明治)	小帳	1冊	(林孚一)	
15-2	名乗即鑑	天明6年	小帳	1冊	命名法につき	木版
15-3	願稟書式	明治11年	小帳	2冊		活版
15-4	訴答必携	明治7年	半・縦	1冊	森田佐平蔵版	活版
15-5	年中行事	明治16年	半・横長	1冊	本家はやし 先祖祥月命日など	
15-6	〔林孚一詠草〕	天保12年~明治24年	半・縦	1冊		
15-7	〔林孚一書状下書集〕	明治5年ごろ	半・縦	1冊	石阪、植田甚三郎、八千房、西村寛太郎、西村敬蔵、安原 備、奉石、秋岡、森田、西山澄、藤井、岡田与三平、安田清太 郎、羽栗、三宅馬雄、長谷川耕太郎、岡良伯、堀清一郎、石 井瘦雄外多数	1-29も同様のもの
15-8	〔林孚一書状下書集〕	明治7年ごろ	半・縦	1冊	清水孫太郎、都志一郎、山本清一郎、松本金一、坂本俊二、 日笠武一郎、小寺山外、小原有一、古城甚介、屋葺富太郎、 香川五平、妹尾一三郎、楠恭平外多数	
15-9	草堂詩集	昭和2年	半・縦	1冊	淡路鈴木謙吉	活版 帙あり
15-10	続桜詞集	明治29年	半・縦	1冊	院庄士族服部謙吉編	活版
15-11	鉄寒土遺印	年月日未詳	小帳	1冊	印譜	帙あり
15-12	花迺面影	明治25年	半・縦	1冊	故金刀比羅宮宮司、水難救済会会長金陵君追悼歌集	活版
15-13	無恙集	明治18年	半・縦	1冊	本城樺翁漢詩集	
15-14	諸家経験方	年月日未詳	半・縦	1冊	薬製法	
15-15	勤皇画家佐藤正持	昭和19年	半・縦	1冊	結城素明	活版
15-16	鈴木重胤の真人物	大正14年	半・縦	1冊	樹下快淳	活版
15-17	贈正五位鈴木重胤真人物	昭和6年	半・縦	2冊	樹下快淳、再販	活版
15-18	鈴木重胤と出雲大社	昭和10年	半・縦	1冊	樹下快淳、島根評論 12-11	活版
15-19	鈴木重胤大人の片影	昭和10年	半・縦	1冊	川島禾舟	活版
15-20	木堂先生と私	昭和8年	半・縦	1冊	倉敷木山巖太郎	活版
15-21	鈴木重胤伝 附門人伝	昭和18年	半・縦	1冊	星川清民	活版
15-22	林翁寿序	明治24年6月	卷子	1巻	微山西毅一撰、於清谿書院 林孚一の略伝	

15-23	林欣二伴臣生涯之心得	文久2年11月22日	卷子	1巻	鈴木勝左衛門(重胤) 歳五十有一	
15-24	[書幅](七言絶句)	年月日未詳	掛軸 131.0 × 32.0	1幅	洞隠(大橋徳蔵)	
15-25	[書幅]	文久2年10月19日	掛軸 35.0× 49.0	1幅	鈴木重胤書状 玉島より、当年世上人気一変、尊王攘夷のこと	
15-26	[書幅]	年未詳4月18日	掛軸 15.0× 52.0	1幅	鈴木勝右衛門(重胤)書状 石坂堅操のことなど	
15-27	[書幅]	嘉永6年	掛軸 28.0× 56.0	1幅	澹如菊地教中、漢文、佐藤北暎先生	
15-28	[書幅]	年未詳4月7日	掛軸 16.0× 47.0	1幅	石坂堅操宛緒方洪庵書状 書箱受贈の礼、大守様御不例のこと、帰坂のことなど	
15-29	[書幅]	年月日未詳	掛軸 22.0× 30.0	1幅	林孚一宛西村敬蔵書状 田中父子埋葬の地に石碑建立のこと	
15-30	[書幅]	年未詳9月15日	掛軸 23.0× 33.0	1幅	西村敬蔵宛田中河内介書状 御約束の件調印につき	
15-31	[書幅]	年未詳11月14日	掛軸 15.0× 55.0	1幅	佐藤理三郎宛野々口正作(大國隆正)書状 金比羅参詣の予定につき	
15-32	[画幅]	年月日未詳	掛軸 127.0 × 56.0	1幅	慶雲齋端木、鶴の絵	
15-33	[書幅]	年未詳12月6日	掛軸 23.0× 60.0	1幅	林孚一宛山中嘉太郎書状 武田耕雲齋登京の件など	
15-34	[富慈石之記]	文久2年12月	卷子	1巻	鈴木重胤	箱入
15-35	養心神訣	文久2年12月1日	卷子	1巻	穂積(鈴木)重胤	箱入
15-36	[林孚一歌集]	明治21年	卷子	1巻		箱入
15-37	老楽くの寝語	明治18年ごろ	卷子	1巻	林孚一和歌集	箱入
15-38	[和歌・絵画短冊]	年月日未詳	短冊	5枚	孚一・秋郎・胤彦(秋山)	
15-39	文化八年かのとひつしの寛政暦	文化8年	横継紙	1枚		木版
15-40	[大御主人宛尾張屋惣兵衛書状]	年未詳7月28日(文久3年力)	横継紙	1通	越州老公上京、南紀へ公卿方下向、長州異艦との戦争のことなど	
15-41	岡熊之助日記(写)	昭和35年	縦紙	5枚	黒川清一→林 慶応1年のもの	封筒あり
15-42	[七言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	千仞	
15-43	[七言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	岡道、授林君	
15-44	[七言絶句及び松の図]	庚午年	横継紙	1通	芳谷陳人、青江	
15-45	[七言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	備中留別、松陽	
15-46	[山水図]	壬申年	縦紙	1枚	松阪幹	
15-47	[山水図]	年月日未詳	縦紙	1枚	山樵	
15-48	[人物図]	年月日未詳	縦紙	1枚	水雲居直外	
15-49	岡山十二勝詩	年月日未詳	縦紙	1枚	南豊中島一鷗	
15-50	[和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	八十翁守雄	
15-51	[五言絶句]	年月日未詳	横切紙	1枚	新里博	
15-52	[七言絶句]	年月日未詳	横切紙	1枚	抑齋	
15-53	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1枚	真澄	
15-54	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1枚	克口	
15-55	[漢文]	年月日未詳	横切紙	1枚	箕齋	
15-56	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1枚	近江の御民豊田候稻	
15-57	[和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	九十翁美堯	
15-58	[七言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	岐蘇道中口齋	
15-59	[五言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	鹿鳴山人	
15-60	[七言絶句]	年月日未詳	横切紙	1枚	暎氷、仲園訪小督図	
15-61	[七言絶句]	年月日未詳	横切紙	1枚	柴和	
15-62	[七言律詩]	年月日未詳	絹布	1枚	松翁多田省、林翁八十にあたり	
15-63	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1枚	緩	
15-64	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1枚		
15-65	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1枚		
15-66	[和歌]	年月日未詳	絹布	3枚	忠順	
15-67	[山水図]	年月日未詳	縦紙	1枚	口塘処士	
15-68	[七言絶句]	明治23年	縦紙	1枚	梧陰林孚一、蘭亭	
15-69	[七言絶句]	年月日未詳	絹布	1枚	林孚一八十寿、空洞山人	
15-70	[七言律詩]	年月日未詳	絹布	1枚	松莊省、祝林老人八十	
15-71	[和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	克口	
15-72	[和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	真澄	
15-73	[書]	壬戌年	縦紙	1枚	七十老人南陽、梅屋本城需	
15-74	[山水図]	年月日未詳	縦紙	1枚	雲口	
15-75	[五言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	静石	
15-76	[五言絶句]	年月日未詳	縦紙	1枚	口漁口	

15-77	〔五言絶句〕	年月日未詳	豎紙	1枚	拙竹	
15-78	〔書〕	明治23年	豎紙	1枚	菊亭女史	
15-79	〔七言絶句〕	年月日未詳	豎紙	1枚	中桐口	
15-80	〔七言絶句〕	年月日未詳	豎紙	1枚	郁口	
15-81	〔書〕	年月日未詳	豎紙	1枚	蘭亭女史	
15-82	〔五言律詩〕	丙戌年	豎紙	1枚	鹿鳴中村貢、奉呈林先生	
15-83	〔七言絶句〕	明治16年	豎紙	1枚	湖南翠松	
15-84	〔五言律詩〕	年月日未詳	豎紙	1枚	朝鮮遊覧人白松坡	
15-85	〔五言律詩〕	年月日未詳	豎紙	1枚	朝鮮散客白鎔巨、為林大雅兄	
15-86	〔漢文〕	年月日未詳	豎紙	1枚	不落齋猿敬、録乾隆帝七情箴	
15-87	〔七言絶句〕	己丑(明治22)年	豎紙	1枚	一鷗	
15-88	〔山水図〕	年月日未詳	豎紙	1枚	石泉	
15-89	〔山水図〕	年月日未詳	豎紙	1枚	松霞山人	
15-90	〔七言律詩〕	明治12年	豎紙	1枚	逸鵬	
15-91	安芸国吉田之邑尼子之城跡略図	年月日未詳	豎紙	1枚	萩野舎直徳	
15-92	広告	明治29年	豎紙	1枚	倉敷酒商組合	活版
15-93	春日同詠松影浮水歌	年月日未詳	豎紙	1枚	林孚一	
15-94	〔座頭・おかめなどの図〕	年月日未詳	豎紙	1枚		
15-95	〔七言絶句および里芋・ぶどう・ざくろの図〕	明治19年	横紙	1枚	竹霞・雪沖 於亀山山荘、為林翁	
15-96	〔和歌〕	年月日未詳	画仙紙	1枚	林翁追悼	
15-97	〔和歌〕	年月日未詳	画仙紙	1枚	林孚一	
15-98	〔人物図〕	年月日未詳	画仙紙	1枚	七十七翁雲仙	
15-99	〔書〕	年月日未詳	画仙紙	1枚	岡山県令高崎五六、賀林翁古稀	
15-100	〔燕と桜桃の図〕	癸巳年5月	横切紙	1枚	成齋	
15-101	橋南溪翁の話	年月日未詳	豎紙	1枚	はやし孚一 読書の作法につき	
15-102	東海道遊歴双六	嘉永5年	豎紙	1枚	一立齋広重、昭和43年復刻	
15-103	〔新聞切抜〕	昭和38年		10枚	倉敷異色医人伝など	
16-1	買弁兼払帳	明治7年～12年	半・横半	1冊	林孚一、諸買物代	
16-2	買弁兼払帳	明治13年～20年頃	半・横半	1冊	林孚一、諸買物代	
16-3	雑費	明治7年～11年	半・横半	1冊	林孚一、地方官会議傍聴につき上京中の諸入用など	
16-4	四番雑費帳	明治14年～16年	半・横半	1冊	林孚一	
16-5	五番雑費録	明治16年～20年	半・横半	1冊	戸さゝすの屋、湯原湯治のことなど	
16-6	両五除金覚	元治元年8月	半・横半	1冊	大坂屋源介、易安、上方諸店支払につき金1両につき5分宛除のこと 大坂道修町大和屋喜兵衛など14家	
16-7	金銀預帳	弘化5年～万延元年	半・横半	1冊		
16-8	為替金勘定帳	明治3年	半・横半	1冊	板屋仁左衛門→大阪屋源介	
16-9	出納概算表	明治6年～8年	半・横半	1冊	伴臣→守成齋 葉種・書籍売買高など	
16-10	金銭出納簿	明治7年～18年	半・横半	1冊	林孚一、国会開設総代入費など	
16-11	春秋日記	文久2年～元治2年	半・横長	1冊	緒方洪庵来訪、麻疹流行、鈴木重胤来訪、京坂の情勢、下津井屋事件など	紙背に明治5年日記など
16-12	二番春秋雑記	慶応2年～明治6年	半・横長	1冊	倉敷浅尾騒動、打ちこわし、洪水、小学校開設、宮坂石段修築、倉敷川通舟、祭礼行事、佐賀の乱、台湾出兵など	
16-13	〔買物帳〕	明治6年～8年	半・横長	1冊		
16-14	記	戊年	半・横長	1冊	買物代金	
16-15	仕切覚	亥年9月11日	美・横長	1冊	津好宗八→林源十郎 一角代など	
16-16	大廟参拝并二阪府滞在之儀願書	乙亥(明治8)年4月	半・豎	1冊	醇平→尊大人・尊大兄 大阪の商家にて見習奉公の希望、保長職固辞の旨など	
16-17	〔会計帳〕	明治8年	半・横長	1冊	借財整理につき	
16-18	〔会計帳〕	明治8年	半・横長	1冊	借財整理につき	
16-19	書目	明治6年	小帳	1冊	林源十郎→葛西、書籍代金	
16-20	典物帳	弘化3年～明治2年	半・横半	1冊	大阪屋源介 書画・道具類、文晁・抱一などあり	
16-21	道具番附帳 問屋	乙亥(明治8)年10月	半・豎	1冊	書画・道具類競売目録 ㄨ733円	
16-22	当家過去帳 林氏	寛保～明治	半・横半	1冊	幸右衛門	
16-23	霊祭祀	明治7年～24年	美・横半	1冊	東林氏、葬式・法事の記録、林醜次郎略伝など	
16-24	諸襍費録	万延元年～明治2年	半・横半	1冊	御礼降りの入費などもあり	厚7cm
16-25	仕法講議定	明治8年11月	半・豎	1冊	金900円、講主林源十郎	
16-26	〔西大寺養春社歌会ほか書類〕	年月日未詳		1袋(15通4枚)		26-1～6袋入
16-26-1	〔林孚一宛西大寺村田中義一書状〕	明治25年5月25日	横切紙	1通	養春社来月分月次兼題	
16-26-2	〔黒瀬・木山・山川・大橋外8人宛林孚一回状〕	年未詳5月23日	横紙	1通	養春社月次兼題回達	
16-26-3	〔渾大坊益三郎宛林孚一書状〕	年未詳8月15日	横切紙	1通	埃二君浪華よりの書状につき	
16-26-4	〔筑前学士貝原氏宛都の遊女よし野書状〕	年月日未詳	横切紙	1通		
16-26-5	〔林孚一印影〕	年月日未詳		4枚		
16-26-6	〔大八洲学会関係書類〕	明治19年～23年	はがき	11通	書籍代金など	
16-27	〔基所関係書類〕	安政～文久		1袋(3通)		27-1～3袋入
16-27-1	質入申畑之事	安政6年6月	横切紙	1通	大島屋治郎右衛門外1人→大坂屋源介	

16-27-2	預り申金子之事	文久元年4月28日	横切紙	1通	板屋治左衛門外1人→観音院講中 大島屋荘右衛門より寄付の祠堂金につき	
16-27-3	[観音寺祠堂金につき書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-28	[借用証など諸書類]	明治3年~32年		1袋(3冊91通10枚)		16-28-1~93袋入 (上書)「戻り証」
16-28-1	売渡申屋敷証文之事	明治9年4月17日	縦継紙	1通	字本町南側屋敷2畝15歩、代100円 売主林源十郎外2人→植田孫太郎	
16-28-2	建家売渡之証文	明治9年4月	縦継紙	1通	瓦葺2階建本屋など10棟、代600円 売渡人林源十郎外2人→植田孫太郎	
16-28-3	[建家図面]	(明治9年)	縦継紙	1通	16-28-2の建家10棟 林源十郎→植田孫太郎	
16-28-4	[年賦関係書類]	明治10年~25年		1包(3通)		16-28-4-1~3一包
16-28-4-1	年賦証文	明治10年4月13日	縦継紙	1通	金400円 借主林源十郎外1人→津好宗八	
16-28-4-2	年賦金請取之通	明治10年	折紙	1通	津好宗八→林源十郎	
16-28-4-3	預金証文之事	明治25年1月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 金900円	
16-28-5	預金証文之事	明治15年10月31日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎	包紙あり
16-28-6	預金証文之事	明治16年5月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→仁科美代 30円	包紙あり
16-28-7	預金証文之事	明治25年2月	縦紙	1通	預主林源十郎→林お清 64円55銭	包紙あり
16-28-8	預金証文之事	明治23年8月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 204円	包紙あり
16-28-9	預金証文之事	明治17年7月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 519円50銭	
16-28-10	預金証文之事	明治17年6月26日	縦紙	1通	預主林源十郎→大桐精二 103円	包紙あり
16-28-11	預金証文之事	明治24年10月28日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 812円80銭	包紙あり
16-28-12	預金証文之事	明治28年3月8日	縦紙	1通	預主林源十郎→笠岡町内海吉平 100円	包紙あり
16-28-13	[預金証文之事]	明治18年6月28日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎	包紙あり
16-28-14	預金証券之事	明治21年4月15日	縦紙	1通	預主林源十郎→多田寧一 206円	包紙あり
16-28-15	預金証文之事	明治19年2月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→安田お勇・耕太 30円	包紙あり
16-28-16	預金証文之事	明治20年11月29日	縦紙	1通	預主林源十郎→内田金衛 100円	包紙あり
16-28-17	預金証文之事	明治18年2月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→神崎愿堂 50円	包紙あり
16-28-18	預金証文之事	明治17年10月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 207円80銭	包紙あり
16-28-19	預金証文之事	明治18年6月28日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 250円	包紙あり
16-28-20	預金証文之事	明治17年2月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→安田壮太郎 105円	包紙あり
16-28-21	預金証文之事	明治18年11月11日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 200円	包紙あり
16-28-22	預金証文之事	明治22年11月6日	縦紙	1通	預主林源十郎→甲村孫市 200円	包紙あり
16-28-23	預金証文之事	明治23年2月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→林お清 55円	包紙あり
16-28-24	借入金証文之事	明治22年7月30日	縦紙	1通	借主林源十郎→大橋良平 300円	包紙あり
16-28-25	預金証文之事	明治20年12月30日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 60円	
16-28-26	預金証文之事	明治20年2月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 600円	包紙あり
16-28-27	預金証文之事	明治20年2月	縦紙	1通	預主林源十郎→お清 44円	包紙あり
16-28-28	預金証券	明治23年11月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→小田郡宇谷村甲村孫一 113円94銭	包紙あり
16-28-29	預金証文之事	明治14年4月15日	縦紙	1通	預主林源十郎→植田孫太郎 500円	包紙あり
16-28-30	預金証券之事	明治16年1月20日	縦紙	1通	預主林源十郎→神崎愿堂 100円	包紙あり
16-28-31	金子預り証文之事	明治16年2月11日	縦紙	1通	林源十郎→室山久三 50円	包紙あり
16-28-32	預金証文之事	明治16年7月1日	縦紙	1通	林源十郎→原田広四郎 313円50銭	
16-28-33	預金証文之事	明治15年11月30日	縦紙	1通	預主林源十郎→羽栗純次 37円20銭	包紙あり
16-28-34	預金証書之事	明治16年6月1日	縦紙	1通	預主林源十郎→原田広四郎 218円	包紙あり
16-28-35	仮証券	明治16年10月4日	横切紙	1通	林源十郎→大橋良平 100円借用	包紙あり
16-28-36	証	明治20年11月24日	縦紙	1通	林源十郎→酒津村原田広四郎 200円借用	包紙あり
16-28-37	[都志一郎宛林源十郎書状]	明治21年11月15日	横切紙	1通	80円借用につき	
16-28-38	証	明治21年7月12日	横継紙	1通	林源十郎→原田広四郎 300円借用	包紙あり
16-28-39	預金証文之事	明治17年6月26日	縦紙	1通	預り主林源十郎→木山精一 391円56銭	包紙あり
16-28-40	記	明治24年11月30日	縦紙	1通	林源十郎→原田広四郎 100円請取	包紙あり
16-28-41	借入金証書	明治23年10月30日	縦紙	1通	借主林源十郎→大橋良平 400円	包紙あり
16-28-42	預り金証券	明治23年7月2日	縦紙	1通	林源十郎→天城玉田卯平 35円70銭	包紙あり
16-28-43	記	明治25年6月17日	縦紙	1通	林源十郎→山川隆蔵 350円借用	包紙あり
16-28-44	証	明治29年11月1日	縦紙	1通	林源十郎→山川清平 800円	包紙あり
16-28-45	借入金証書	明治30年1月1日	縦紙	1通	林源十郎→二十二銀行 700円、抵当倉敷銀行株式	
16-28-46	借入金延期証書	明治30年3月31日	縦紙	1通	林源十郎→二十二銀行	
16-28-47	借入金証書	明治30年2月	縦紙	1通	林甫三→倉敷銀行 1000円	
16-28-48	借入金証書	明治23年12月27日	縦紙	1通	林甫三→二十二国立銀行 300円	
16-28-49	記	明治23年11月18日	縦紙	1通	林源十郎→玉田卯平 36円5銭	
16-28-50	預り手形	明治21年12月3日	横切紙	1通	林源十郎→大桐襄平 繰綿50本	
16-28-51	請取証	明治28年	横切紙	4通	林源十郎→玉田俊蔵	
16-28-52	定約書	明治21年7月18日	縦紙	1通	林源十郎→林孚一・辻英一 旧小田県殖産商社訴訟事件濟方につき	
16-28-53	年賦返金之証	明治14年3月17日	横切紙	1通	林源十郎→白川清兵衛 200円	
16-28-54	証	明治17年8月23日	縦紙	1通	林源十郎→大原孝四郎 1500円、本村地所抵当	

16-28-55	記	年月日未詳	横切紙	1通	金銭算用	
16-28-56	仮借用証	年未詳9月14日	横切紙	1通	林源十郎→原田広四郎 500円	
16-28-57	預金之証	明治22年6月23日	縦紙	1通	林源十郎→玉田卯平 30円60銭	
16-28-58	預金証文之事	明治18年4月26日	縦紙	1通	林源十郎→林醇平 120円	
16-28-59	証	明治18年8月28日	縦紙	1通	林源十郎→神崎愿堂 30円借用	
16-28-60	証	明治18年6月29日	横切紙	1通	林源十郎→羽栗純次 200円	
16-28-61	記	明治18年3月30日	横切紙	1通	林源十郎→原田広四郎 150円借用	
16-28-62	買請証	明治19年3月30日	縦紙	1通	倉敷村薬舗林源十郎→妹尾一三郎 紫粉・水銀・犀角など13品、69円	
16-28-63	身元保証地所書入証書	明治18年6月17日	美・縦	1冊	林源十郎・林孚一→第廿二国立銀行 林源十郎を貴行へ雇入につき都宇郡大福村地所4町6反余書入	
16-28-64	証	明治22年2月	縦紙	1通	林源十郎→林お清 50円預り	
16-28-65	預り金証	明治21年7月14日	縦紙	1通	林源十郎→小谷半次郎 30円	包紙あり
16-28-66	預証券	明治21年2月1日	縦紙	1通	林源十郎→安田お勇・耕太 36円	
16-28-67	登記済ノ証御下附願	明治20年12月5日	半・縦	1冊	林源十郎外1人→玉島登記所 西原村地所1町8反19歩、酒津村原田広四郎より買受につき	
16-28-68	委任状之事	明治18年6月17日	縦紙	1通	林孚一・源十郎 16-28-68の件につき高橋甫三を代理人とす	
16-28-69	証	明治30年3月	縦紙	1通	多賀清→林甫三 頼母子講加入金30円	
16-28-70	証	明治25年8月2日	縦紙	1通	石山常三外1人→吉田熊蔵 5円借用	
16-28-71	〔辞令〕	明治29年7月21日	横切紙	1通	児島鉄道→林甫三 出納係	
16-28-72	証	明治23年9月	横切紙	2通	林源十郎→吉田素三 100円借用	
16-28-73	証	明治30年12月25日	横切紙	1通	二十二銀行出張所→林源十郎 利子33円60銭受取	
16-28-74	証	明治21年	横切紙	3通	林源十郎→原田広四郎 200円借用	
16-28-75	〔原田広四郎宛林源十郎書状〕	明治20年4月27日	横切紙	1通	借用につき	
16-28-76	〔原田宛林源十郎書状〕	年未詳4月28日	縦紙	1通	玉島にて為替取組	
16-28-77	証	明治20年5月4日	横切紙	1通	林源十郎→原田広四郎 400円借用	
16-28-78	証	明治19年2月6日	縦紙	1通	林源十郎→神崎愿堂 80円預り	
16-28-79	仮領収証	明治29年3月23日	横切紙	1通	林醇平→林源十郎 故犬飼先生建碑費5円	
16-28-80	仮受取証	明治30年6月29日	横切紙	1通	発起人惣代林醇平→林源十郎 故犬飼先生建碑費5円	
16-28-81	記	年未詳3月13日	横切紙	1通	加藤磯郎 70銭請取	
16-28-82	〔通知〕	明治30年2月28日	縦紙	1通	二十二銀行→林源十郎 預金勘定	
16-28-83	〔通知〕	明治14年9月30日	縦紙	1通	二十二国立銀行→林源十郎 預金勘定	封筒あり 勘定表同封
16-28-84	借用申義倉金証文之事	明治8年9月	半・縦	1冊	借用主戸田喜三郎外3人→旧義倉幹事井上亮三外2人	封筒あり 書状2通同封
16-28-85	〔林源十郎宛大阪道修町売薬却売株式会社長林栄治郎書〕	明治30年9月4日	横継紙	1通	二十二国立銀行小切手のこと	
16-28-86	〔成斎林老宛植田孫太郎書状〕	年未詳6月30日	横継紙	1通	砂糖会社のこと、肝油購求のこと、新印刷刻のこと	
16-28-87	〔諸道売値段書上〕	年月日未詳	折紙	5枚		
16-28-88	〔奉公人品行書上〕	明治3年	横継紙	1通	伴臣、報償金贈与につき	
16-28-89	〔林源十郎宛足守町有元稔書状〕	明治32年1月4日	はがき	1通	孚一先生真筆4冊返却につき	
16-28-90	〔林甫三宛児島市郎書状〕	年未詳6月30日	横切紙	1通	借用依頼	封筒あり
16-28-91	証	明治30年6月30日	横切紙	1通	岡山市西中山下児島市郎→林甫三 20円請取	封筒あり
16-28-92	〔林甫三宛岡山市西中山下児島市郎書状〕	明治32年1月24日	縦紙	1通	返金につき	
16-28-93	〔空封筒・薬包など〕	年月日未詳		5枚		
16-29	〔白紙〕	年月日未詳		1束		
17-1	〔書画類〕	年月日未詳		1纏め(86枚)		17-1-1~86一纏めにし、台紙に挟んでいる(台紙上書)「京乃千代紙」もとは小屏風に貼付していたもの
17-1-1	〔草花図〕	年月日未詳	絹布	1枚	(谷)文晁	
17-1-2	〔澄正和歌及び秋虫図〕	年月日未詳	絹布	1枚	秋泉	
17-1-3	〔美人図〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
17-1-4	徳津詠上二十首之一	年月日未詳	横切紙	1枚	春兼	
17-1-5	〔白梅に水仙図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	文坐	
17-1-6	〔漢文〕	年月日未詳	横切紙	1枚	抱節	
17-1-7	〔五言絶句〕	年月日未詳	横切紙	1枚	朴富康	
17-1-8	〔花の図〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
17-1-9	〔秋村山水図〕	年月日未詳	絹布	1枚	青江女史	
17-1-10	〔雲折百体図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	社佩	
17-1-11	〔七言絶句及び山水図〕	年月日未詳	絹布	1枚	節翁	
17-1-12	〔和歌〕	年月日未詳	横切紙	1枚	式部	
17-1-13	〔和歌及び草花図〕	年月日未詳	絹布	1枚	芳樹	
17-1-14	〔和歌及び社殿竹の図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	(鈴木)重胤、堂彦	
17-1-15	〔唐風美人図〕	年月日未詳	絹布	1枚	楠堂閑人	
17-1-16	〔山水図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	芥屋	
17-1-17	〔漢文〕	年月日未詳	横切紙	1枚	酔竹間人	
17-1-18	〔和歌〕	年月日未詳	絹布	1枚	真澄	
17-1-19	〔書及び蓮華草の図〕	年月日未詳	絹布	1枚	舞峻	
17-1-20	〔茸取り図〕	年月日未詳	横切紙	1枚		



17-1-21	〔五言絶句〕	年月日未詳	絹布	1枚	宥転	
17-1-22	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚		
17-1-23	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚	島茂	
17-1-24	〔漢文〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	笛浦小史	
17-1-25	〔和歌〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	板屋惟彰	
17-1-26	〔五言絶句〕	年月日未詳	絹布	1枚	節齋	
17-1-27	〔五言律詩〕	年月日未詳	横切紙	1枚	山南老樵	
17-1-28	〔七言律詩〕	甲寅年	横切紙	1枚	鏡湖散人	
17-1-29	金川除求(七言絶句)	年月日未詳	横切紙	1枚		
17-1-30	〔和歌〕	年月日未詳	絹布	1枚	鳧翁	
17-1-31	播州白旗嶽之影	年月日未詳	絹布	1枚	大軍師天中雄	
17-1-32	〔和歌〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
17-1-33	〔漢文〕	年月日未詳	絹布	1枚	松涛	
17-1-34	〔林易安宛書状〕	年月日未詳	横切紙	1枚	拾策の得について	
17-1-35	不如歌	年月日未詳	横切紙	1枚	迂庵	
17-1-36	〔林孚一宛清水貞幹書状〕	年未詳1月22日	横切紙	1通	年始挨拶	
17-1-37	〔漢文〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	榴堂	
17-1-38	弁慶(七言絶句)	年月日未詳	豎切紙	1枚	墨煙	
17-1-39	〔和歌〕	年月日未詳	絹布	1枚	珠数丸	
17-1-40	〔七言絶句〕	年月日未詳	絹布	1枚	雪城	
17-1-41	題酒(五言絶句)	年月日未詳	横切紙	1枚	松風	
17-1-42	〔書〕	年月日未詳	横切紙	1枚	公口	
17-1-43	〔漢文〕	年月日未詳	絹布	1枚	撫松	
17-1-44	〔五言絶句及び山水図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	九珂陳人	
17-1-45	春溪独釣(山水図)	壬子年写	絹布	1枚	竹斎逸人向熙	
17-1-46	〔五言絶句〕	年月日未詳	横切紙	1枚	精堂	
17-1-47	〔山水図〕	年月日未詳	絹布	1枚	耕雲	
17-1-48	〔七言絶句〕	年月日未詳	横切紙	1枚	龍泉山人	
17-1-49	〔和歌〕	年月日未詳	横切紙	1枚	(井上)瑞木	
17-1-50	〔五言絶句〕	年月日未詳	横切紙	1枚	竹香道人	
17-1-51	常磐雪行括弧図(七言絶句)	年月日未詳	横切紙	1枚	双石	
17-1-52	〔山水図〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	春松	
17-1-53	〔山水舟人図〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	空洞白松	
17-1-54	〔草花図〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	田蓑	
17-1-55	小野務歌画	辛亥年7月	豎切紙	1枚		
17-1-56	〔菊花図〕	年月日未詳	豎切紙	1枚		
17-1-57	〔山水図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	澹庵	
17-1-58	〔林苑光右衛門書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	無心のところ早速持参に対する御礼	
17-1-59	〔源介宛又平用状〕	年未詳2月14日	豎紙	1通	石垣一条について延引の詫びと証書遣しのこと	
17-1-60	〔源介宛讓淡書状〕	年未詳12月	横切紙	1通	文蛤への御礼	
17-1-61	〔菊花図〕	年月日未詳	絹布	1枚	(古市)金峨	
17-1-62	〔山水漁人図〕	癸亥年	豎切紙	1枚	国献	
17-1-63	〔山水図〕	年月日未詳	絹布	1枚	吞舟	
17-1-64	〔山水漁人図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	泥甫	
17-1-65	春雨(詩文)	年月日未詳	絹布	1枚	ふちはしの小諸	
17-1-66	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚		
17-1-67	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚	讓	
17-1-68	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚		
17-1-69	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚	定穀	上部破損
17-1-70	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚	承口	
17-1-71	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚		
17-1-72	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚	曳尾	
17-1-73	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚	哥北	
17-1-74	〔和歌〕	年月日未詳	短冊	1枚		
17-1-75	〔漢文等及び茸の図〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	蓬心、倭、木展	
17-1-76	〔花鳥図〕	辛亥年	豎切紙	1枚	半山陳人	
17-1-77	〔五言絶句及び古木図〕	辛亥年	豎切紙	1枚	桂口	
17-1-78	〔和歌及び松の図〕	年月日未詳	豎切紙	1枚		
17-1-79	〔七言絶句〕	年月日未詳	豎切紙	1枚	虬満口	
17-1-80	〔漢文〕	年月日未詳	横継紙	1枚	亀陵野老	
17-1-81	〔印譜〕	丁巳年	豎切紙	1枚	子文 玉浦家中	
17-1-82	〔江陵山水図〕	年月日未詳	横切紙	1枚	陶浜醉	
17-1-83	〔七言絶句〕	年月日未詳	扇面	1枚	廉之	
17-1-84	〔七言絶句及び草花図〕	壬寅年	扇面	1枚	梅圃	
17-1-85	〔漢文〕	年月日未詳	扇面	1枚	篁翁	

17-1-86	碧玉紫英(草花図)	己丑年	扇面	1枚	善雨	
17-2	[吉川先生宛嘉猷書状]	丙寅年6月2日	卷子	1巻	周旋方平井源八郎から宍戸氏生獲の件など長州の難局についての急報があり、長防死守封境の意を述べ、惣督の紀州公の芸州到着などの情勢を報知したもの	箱入り(箱上書)「領岩国吉川家吉川勇記宛書状」
17-3	[書幅]	戊戌年6月12日	掛軸 30.0×40.5	1幅	西村敬蔵宛是枝柳右衛門書状 大坂伊達堀入牢中につき着物金子送付願い 田中父子や諸國有志に関する情勢の報知	(題箋)「是枝柳右衛門書簡」
17-4	[書状]	年月日未詳		1纏め(46通)		17-4-1~46一纏め もとは大屏風に貼付していたもの
17-4-1	[朝美孫六宛伊藤元蔵書状]	年未詳6月28日	横継紙	1通	今日今村へ書状を頼んだとき、勢州へ御家中様依頼の件が不詳のこと	
17-4-2	[理兵衛宛悦翁書状]	壬申年1月	横継紙	1通	日部稿句讀の続稿60巻の借覧許可への礼 明史文花伝の贈下願い 南瀬先生の句讀訓点誤りを直したこと	
17-4-3	[小湊宛嘉助書状]	年月未詳4日	横継紙	1通	当地事情や対藩の事等を申遣いたいので、同伴者一名をつけるように御願い	
17-4-4	[丸川一郎宛岡祈平書状]	年未詳9月10日	横継紙	1通	一条竹処公人へ内談の子細について	
17-4-5	[耕雲宛松奇書状]	年未詳3月20日	横切紙	1通	米船退帆につき警固引上げについての知らせに対する御紙包等調へ分を送付 勇之助竹ノ画完成につき書画帳を広島へ遣すこと 米相場引上げにより残米がわずかのため飯米の借用依頼	
17-4-6	[頼千齡書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	貴国〇〇学校一覧のため出発するので、道筋と学校預人の名姓を三石より知らせるように依頼	
17-4-7	[高尾宛大塩後素書状]	年未詳閏7月8日	横切紙	1通	新御殿小納戸方より頼まれた書物買取の儀につき、金三両	「県璣」は山県半蔵(宍戸璣)カ
17-4-8	[小湊宛景璣書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	貴家逗留及び出立時の心遣いに対する御礼 出石に立寄り豊岡に逗留後無事帰宅のこと	
17-4-9	[近藤龜藏宛猪飼敬所書状]	年未詳6月5日	横継紙	1通	同苗の眼病見舞への御礼 皇朝画史中の図画を姫路より御帰国時に拝見願い	
17-4-10	[佐藤理三郎宛瀧沢太郎與邦書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	添書の画史作者藤井蘇堂(旧号緑筠)の紹介と野崎武吉郎へ蘇堂の紹介依頼	
17-4-11	[林孚一宛坂田丈平書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通		
17-4-12	[書状断簡]	年月日未詳	横継紙	1通		裏張に使用したと思われる書状等約6通分を重ねて貼付けてい
17-4-13	[鶴仙宛章書状]	年月日未詳	横切紙	1通	佐藤正持浪花へ漫遊につき書翰を托したこと また依頼中の仁王像等の図を描かせて進上する旨と正持子の揮毫願いの旨について報知	
17-4-14	[吉井善卿宛春風書状]	年未詳5月11日	横継紙	1通	近作快誦につき返上 勇之助の近作拝見依頼	
17-4-15	[西村敬蔵宛田中河内介書状]	年未詳12月29日	横継紙	1通	甲州蟄居閉門を仰付の件で多忙につき無沙汰の詫びと子細	
17-4-16	[迂斎宛沢公書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	本日早々渡海し、山手の眼科へ参ったこと等	
17-4-17	[頼千齡書状]	年未詳5月6日	横継紙	1通	上方より帰着の報と浄書試作を一閱したこと 祖叔父柯亭の死去に際し、弔書が届いたかの確認	
17-4-18	[大阪屋源介宛阪谷希八郎書状]	年未詳2月27日	横継紙	1通	節翁に手紙を出したことで風聞により心配していた柴原の無事について報知	
17-4-19	[真中治介宛瀧沢篁民書状]	(天保10)年2月7日	横継紙	1通	神社奉物の再造の件で画工佐藤氏と相談するように また、姉孫瀧沢太郎への相続について	
17-4-20	[大阪屋源介宛小郡屋久兵衛(カ)書状]	年未詳4月14日	横継紙	1通	京都大火につき焼失丁数家数等子細の報知	
17-4-21	[佐藤理三郎宛野之口隆正書状]	年未詳5月晦日	横継紙	1通	伊予大三島参詣後、福山に滞在中、催促のため上京する予定 浜田弥原額の事につき伝言願い	
17-4-22	[好卿宛春風書状]	年未詳5月14日	横継紙	1通	近作への批評と励まし	
17-4-23	[吉井藤兵衛宛頼千齡書状]	年未詳2月3日	横継紙	1通	年賀の出来が出来ないため手本遣しのこと 勇之助より賀宴が三日頃と聞いたので白魚進上	
17-4-24	[成斎宛拝山書状]	年未詳7月4日	横継紙	1通	臚として折枝梅小詩を贖す また、輿地史略を返却	
17-4-25	[春風左人書状]	年未詳2月21日	横継紙	1通	浄書・詩稿の批評と御地においてよき友をつくるように教示	
17-4-26	[藤勇嘉宛春風書状]	年未詳6月28日	横継紙	1通	暑中見舞の酒・西瓜への御礼 善卿子からの清書御作を返却 嘉吉からの名字考依頼につき書付遣し	
17-4-27	[快翁宛春風書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	正月餅賞味の感想と御礼	
17-4-28	[林孚一宛剛書状]	年未詳6月5日	横継紙	1通	宗郎事につき心添や帰国日を又玄と打合せするように依頼 また、奈良等へ取調べのため明日より出張のこと	
17-4-29	[大石隼雄宛山田安五郎書状]	年未詳12月6日	横継紙	1通	兵庫廻米売払い子細とあと四百俵未着のこと 吉文字屋へ渡す扶持米を昨年より減らすこと 大小跡付の拝借願い 永銭押掛印を調へにつき、取寄せ差越しの依頼	
17-4-30	[佐藤宛兄瓶書状]	年未詳6月17日	横継紙	1通	東大寺三倉ものの事につき上京の節、穂井田忠友と面会のこと 皇朝画史について賛辞 著書古野若菜巻を滞留地で広めるよう依頼	2枚に分割
17-4-31	[迂庵宛紀選書状]	年未詳12月10日	横継紙	1通	黄葉村舎社中の中秋詩作拝見の感想 仏手柑の詩作等について教示願い	2枚に分割
17-4-32	[孚一宛節翁書状]	年未詳12月31日	縦紙	1通	京都の頼から送られた石摺進上	
17-4-33	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	三谷氏・三木岡氏へ面会時致声願い及び豊岡にて襦袢珍蔵のこと	
17-4-34	[鈴木宛大橋書状]	年未詳6月4日	横継紙	1通	西城の災につき返答	

17-4-35	[林孚一宛岡邨圭三書状]	年未詳7月	横切紙	1通	昨年県への来訪について謝意と欠礼への詫び 難波氏の仲介で求められた拙毫を送したこと	
17-4-36	[ふじ井宛琴江書状]	年未詳4月13日	横切紙	1通	五雲等の近況報告	
17-4-37	[五瓢宛用状]	年月日未詳	横切紙	1通	用済み後上京願い	
17-4-38	[林宛岡村書状]	年未詳6月15日	横切紙	1通	残暑のこと等近況報告と様子伺い	
17-4-39	[宮原謙蔵書状]	年未詳2月10日	横継紙	1通	令息の様子等近況報告	
17-4-40	[吉井藤三郎宛宮原謙蔵書状]	年未詳9月1日	横切紙	1通	令息心得違いの件につき気遣い	
17-4-41	[松涛宛直而(カ)書状]	年未詳4月1日	横切紙	1通	蔵印紙上に押印の上、差上げのこと	
17-4-42	[天庄神宛醜男書状]	年月未詳17日	横継紙	1通	長州一件につき安心のこと フミの司の城代預けについての別紙入手のため写し進上	
17-4-43	[北條宛圭書状]	年月未詳17日	横継紙	1通	別紙を寺島へ届け、佐々木に渡すように伝言の依頼 又、明日時山出立の予定	「圭」は桂小五郎
17-4-44	[易安宛書状]	年月日未詳	横切紙	1通	雨中鶯他一首を詠草	
18-1	御布令 壺	明治3年11月～5年6月12	半・竪	1冊	孚一が書きとめたもの	
18-2	官版英史 二	年月日未詳	22.5 × 15.3	1冊	文部編輯権助大島益纂訳	版本